

# 茨城県自然博物館総合調査報告書

茨城県西部および筑波山の維管束植物  
(2006-2008)

Report of Comprehensive Surveys of Plants, Animals and Geology  
in Ibaraki Prefecture by the Ibaraki Nature Museum

Tracheophyta from the West District and Mt. Tsukuba,  
Ibaraki Prefecture  
(2006-2008)



**Bando, Ibaraki, Japan**  
**March 2011**

## はじめに

ミュージアムパーク茨城県自然博物館では、茨城県内の動物・植物の分布・生態・生息環境の特性、地質・気象などの地学的特性を把握し、それらの相互関係や変遷のメカニズムを解明することを目的とした総合調査研究を実施している。この総合調査は、当館活動の基本方針に掲げた「地域自然の継続的調査研究」を推進し、動植物の分布状況や保全状況を把握すると共に、調査で得られた情報を活用し、地域の自然的特性に応じた生物多様性の保全を図るための活動につなげるものである。

今回発行される総合調査報告書「茨城県西部および筑波山の維管束植物」は、2006～2008年の維管束植物に関する総合的な調査の成果をまとめたものである。

維管束植物は、植物の分類群のひとつで、シダ植物と種子植物からなり、私たちにとって馴染みの深いものが多い。一方で、生育地の減少などの原因により、希少種とされてるものもある。

今回の報告は、一部の地域に限定されたものであるが、このような調査と標本の蓄積を継続し、維管束植物相を明らかにしていくことが植物の全体像やその生態系でのはたらきの解明、さらに生物多様性の保全のための土台になるものと確信している。

最後に、総合調査に参画した多くの方々の地道な調査研究に感謝申し上げますと共に、本書が各方面で広く活用されることを願ってやまない。

ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
館長 菅 谷 博



## 目 次

総合調査研究について	1
総合調査研究における維管束植物分野の調査について	2
〔各論〕	
概説	3
下妻市, 八千代町, 古河市の維管束植物	4
五霞町, 境町, 坂東市, 常総市の維管束植物	19
結城市, 筑西市 (旧関城町, 旧下館市) の維管束植物	47
桜川市の維管束植物	61
筑波山の維管束植物 (第 I 期総合調査地域) 補完調査	73



## 総合調査研究について

ミュージアムパーク茨城県自然博物館が実施している「総合調査研究」は茨城県内の動物、植物の分布や生息環境の特性、地質・気象などの地学的特性を把握し、それらの相互関係や変遷のメカニズムを解明するとともに、自然誌資料の収集を図ることを目的とした調査研究活動である。

当館では、「総合調査研究」を研究活動の中心として位置づけ、博物館が開館した1994年から実施している。1994～2005年の12年をかけた第Ⅰ期総合調査研究では、茨城県全域を4地域に分け第1次から第4次の調査を実施し、県内の動植物と地学的特性についての調査を実施してきた。

2006年から始まった第Ⅱ期総合調査研究では、これまでの調査結果をもとに、以下の点を重視した。

- ・未調査の地域、未確認種を重点的に調査する。
- ・県内全域の動植物相を明らかにし、分類群ごとの目録の完成を目指す。
- ・自然度の高い地域や希少な種については、これまでの調査と比較しその変化を明らかにする。

茨城の自然の現在の姿を記録する総合調査研究は、当館の全ての活動の基礎となるものであり、かつ、人間活動による自然の変化や、地球規模で起きている環境問題の影響を把握する上で欠かせないものである。当館は、県内唯一の総合的な自然史系博物館として、県内の自然に関する情報や標本を蓄積、研究し、その成果を公表することを使命として、この活動を継続実施していく必要がある。

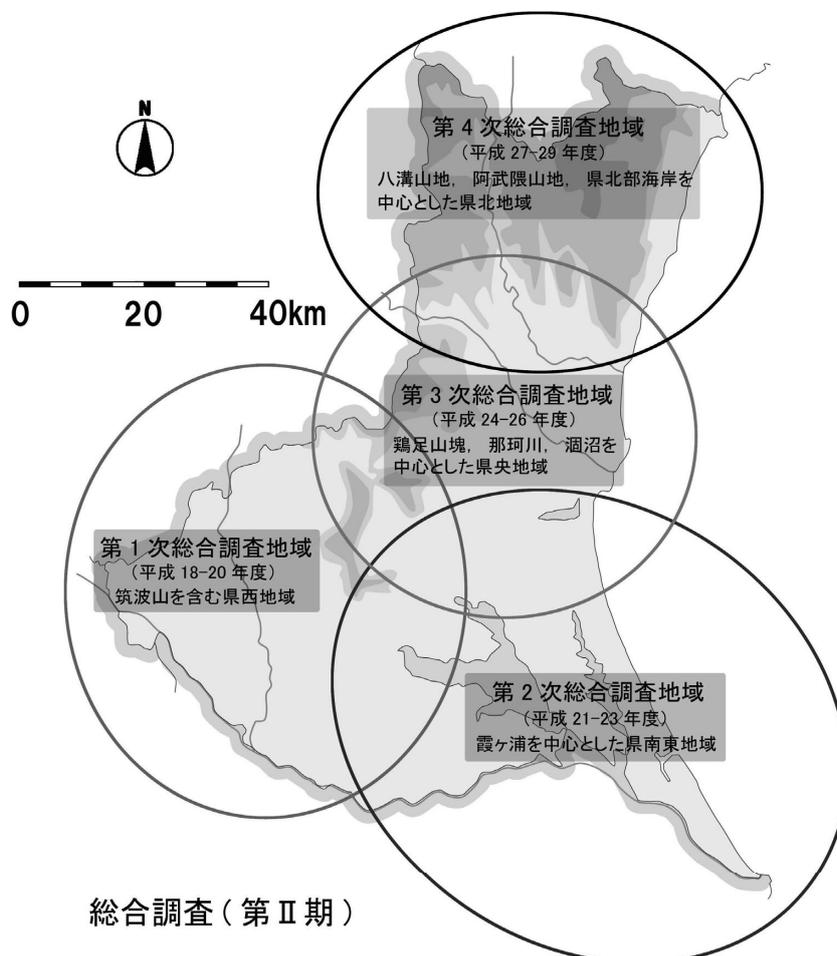
## 総合調査研究における維管束植物分野の調査について

これまでの第Ⅰ期総合調査分野においては、以下の地域についての調査を実施した。

- 第1次 筑波山・霞ヶ浦の維管束植物
- 第2次 茨城県央地域の維管束植物
- 第3次 茨城県北東部地域の維管束植物
- 第4次 茨城県北西部地域の維管束植物

調査地域については、県内を大きく4つの地域に分け、1地域3年の調査期間として、12年で県内を一巡できるように計画した。今回の第Ⅱ期第1次調査では、茨城県西部地域を対象地域として、県西地区里山及び筑波山を調査地とした。

調査は、長年にわたり維管束植物分野において研究を続けてきた専門家10名からなり、茨城県の維管束植物相を調査研究するために組織された団体である茨城維管束植物調査会（代表 鈴木昌友 茨城大学名誉教授）に委託し実施した。



## 茨城県西部および筑波山の維管束植物

茨城維管束植物調査会

### 概 説

本調査は下妻市、八千代町、古河市、五霞町、境町、坂東市、常総市、結城市、筑西市、桜川市の10市町村を含む地域で実施した。この地域の洪積台地には畑地、雑木林、屋敷林、スギ・ヒノキなどの植林地などがある。沖積地には小貝川、利根川、鬼怒川などの河川敷や水田がひろがっている。沖積地と洪積台地の境にある傾斜地には雑木林、スギ・ヒノキなどの植林地などがある。河川敷や菅生沼の湿地には絶滅危惧種が多数生育している。

下妻市、八千代町、古河市の調査地域では洪積台地には畑地、コナラ林、スギ・ヒノキ植林、沖積地には水田がみられる。また洪積台地と沖積地との境にある傾斜地にはシラカシ林、コナラ林、スギ・ヒノキ植林などがある。下妻市や古河市の河川敷では、注目すべき植物として、ミズワラビ、ヌカボタデ、ホソバスイタデ、ノカラマツ、アゼオトギリ、コイヌガラシ、ノウルシ、ミズマツバ、ウスゲチョウジタデ、チョウジソウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、カワヂシャ、フジバカマ、アワボスゲ、アイノコシラスゲなどを確認した。

五霞町、境町、坂東市、常総市の洪積台地では畑地と山林になっているところが多い。山林の多くは、コナラを中心とした雑木林である。一部にはスタジイ林、スギ・ヒノキ植林地が見られる。標高の低い沖積低地には利根川、鬼怒川、小貝川や菅生沼などがある。河川敷や湖岸には、国および県のレッドデータ種に指定されている植物の生育が見られる。また広大な水田が広がっており、絶滅危惧種の生育が見られる。注目すべき植物として、小貝川や利根川の河川敷および菅生沼の湿地ではトネハナヤスリ、ノダイオウ、ヌカボタデ、ホソバスイタデ、アオヒメタデ、ノカラマツ、コウモリカズラ、アゼオトギリ、コイヌガラシ、アズマツメクサ、アリアケスミレ、タコノアシ、ナガボノシロワレモコウ、ナガボノアカワレモコウ、ノウルシ、エキサイゼリ、ウスゲチョウジタデ、シムラニンジン、タチスミレ、チョウジソウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、ゴマノハグサ、キタミソウ、カワヂシャ、バアンブ、ヒメアマナ、ホソバオグルマ、フジバカマ、ニガカシュウ、イヌアワ、マイヅルテンナンショウ、ウキ

シバ、ヌマアゼスゲ、セイタカハリイ、コツブヌマハリイ、アマナ、トネテンツキ、アオテンツキ、コアゼテンツキ、アイダクグ、カンエンガヤツリ、シロガヤツリなど、休耕田や水田ではミズニラ、ミズワラビ、ミズマツバ、ヒメミソハギ、ヒメシロアサザなど、スギ・ヒノキ林内ではメヤブソテツ、コハシゴシダ、フモトシケンダを確認した。

結城市、筑西市（旧関城町、旧下館市）の調査地域は雑木林が多く、市民団体が里山保全活動を行っている場所でもある。注目すべき植物として、キンラン、クチナシグサ、コイヌガラシ、ササクサ、ホソバスイタデ、ミゾコウジュ、オトギリソウ、オミナエシ、カスミザクラ、カタクリ、キクザキイチゲ、キチジョウソウ、コオニユリ、サイハイラン、ササバギンラン、シュンラン、ズミ、センブリ、ネジキ、ノリウツギ、ママコナ、ヤブムラサキ、ヤマラッキョウ、リョウブなどの生育を確認した。

桜川市では高峯、雨巻山、富谷山、雨引山、加波山などの山地林があり、山麓から山頂にかけて落葉広葉樹林、常緑広葉樹林、スギ林などの植林地がある。平地部は水田や畑地が広がるが、休耕田が増えている。かつてのアカマツ林の多くはコナラ・クヌギ林となり、林内は荒れている。この地域では注目すべき植物として、ナガハシスミレ、カゴノキ、コウホネ、ササクサ、レンゲツツジなどの生育を確認した。

同時に、第I期第1次総合調査（平成6～8年度）において実施した筑波山地域についても調査した。今回の調査により、新たにシダ植物14種、種子植物43種、計57種を確認した。また、文献上の記録種についてはシダ植物6種、種子植物54種、合計60種を再確認した。

以上、今回の調査を5地域に分けて調査を行ったが、詳細については各章を参照されたい。

### 執 筆

鈴木昌友（茨城大学名誉教授）

## 下妻市, 八千代町, 古河市の維管束植物

### はじめに

本調査は、茨城県西地区の下妻市, 八千代町, 古河市の3市町村について実施したものである。これら3市町村の植物相についてはまとまった報告がないが、茨城県植物誌(鈴木ほか, 1981)には市町村単位での産地が記録されている。

調査地域の大部分は平坦地に広がる水田地帯に混じってコナラ林, スギ・ヒノキ植林が見られる。

調査地域には一級河川の利根川, 鬼怒川, 小貝川がある。茨城県植物誌(鈴木ほか, 1981)によれば, 河川敷のハンノキ林にはゴマギ, マルバヤナギ, ハングシヨウ, フジバカマ, ノウルシ, アマナ, ヒメヨモギなどの河川敷の植生を特徴づける種類が生育している(図1)。その他の平坦地は, 雑木林, スギ・ヒノキ植林が大部分である。



図1. 小貝川河川敷林

### 調査方法

#### 1. 調査地域

調査は, 下妻市, 八千代町, 古河市の3市町村内の水田, 雑木林, スギ・ヒノキ植林, 河川敷などについて実施した(図2)。

#### 2. 調査期間

調査は2007年, 2008年の2年間で以下の期日に実施した。

2007年

- 3月10日 下妻市粟野
- 3月10日 下妻市新堀
- 3月10日 下妻市鎌庭 香取神社
- 3月10日 下妻市横根
- 3月10日 下妻市加養
- 3月10日 八千代町仁江戸
- 4月19日 下妻市大園木
- 4月19日 下妻市柳原
- 5月16日 古河市駒羽根
- 5月16日 古河市桜町地先
- 6月17日 下妻市桐ヶ瀬
- 6月17日 下妻市大宝
- 6月17日 下妻市二本紀 鬼怒川
- 6月17日 八千代町野爪
- 7月16日 古河市江口
- 7月16日 古河市仁連
- 7月16日 下妻市鎌庭
- 7月16日 古河市恩名
- 7月16日 下妻市大園木

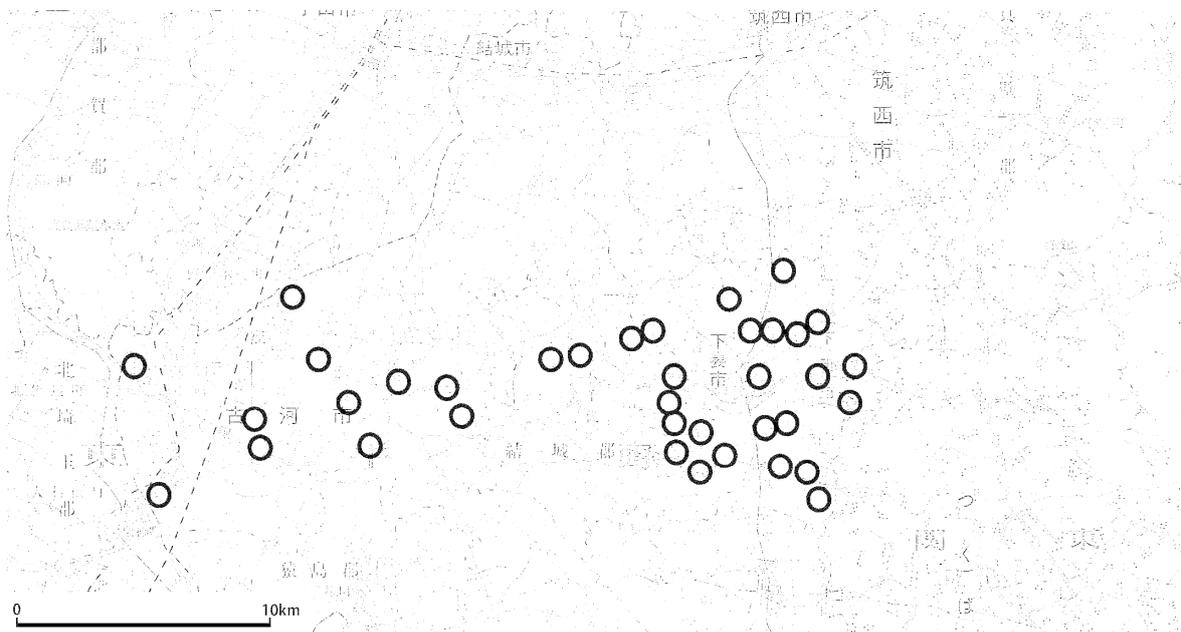


図2. 調査地域 (国土地理院発行 1:200,000 地形図「水戸」,「宇都宮」を一部改変)

7月16日 下妻市見田  
 7月16日 下妻市鯨  
 8月19日 下妻市別府  
 8月19日 古河市恩名  
 8月19日 古河市仁連  
 8月19日 下妻市鯨  
 8月19日 下妻市大園木  
 8月19日 下妻市別府  
 8月19日 古河市江口  
 9月29日 下妻市大園木  
 10月25日 下妻市鯨

2008年

4月14日 下妻市鯨  
 5月6日 下妻市大園木  
 5月16日 八千代町本郷  
 5月16日 八千代町片角  
 5月19日 下妻市下妻  
 5月19日 下妻市筑波島 小貝川  
 5月19日 下妻市福田  
 5月19日 下妻市横根  
 7月31日 古河市駒羽根  
 7月31日 古河市立崎 渡良瀬川  
 7月31日 古河市山田  
 7月31日 古河市小堤  
 7月31日 古河市桜町 渡良瀬川  
 7月31日 古河市本町  
 7月31日 古河市中田地先  
 8月10日 下妻市大木  
 8月10日 下妻市若柳  
 8月10日 下妻市筑波島  
 9月8日 古河市稲宮  
 9月14日 古河市駒ヶ崎  
 9月14日 古河市新和田  
 9月14日 古河市仁連  
 9月14日 下妻市高道祖  
 9月14日 下妻市比毛祝橋  
 9月14日 八千代町管谷  
 9月14日 八千代町兵庫

3. 調査項目

調査対象は、維管束植物（シダ植物、種子植物）とし、植物相と植生の調査を行った。

- (1) 調査地に生育する全植物の確認と記録
- (2) 調査地の植生の概要
- (3) 生育する植物の採集と標本の作製（原則として、

花・実がついている個体を採集)

・確認種 552 種

(4) 生態写真の撮影

結果

確認目録を付表1に示した。

1. 植生の概況

代表的な植生の概況は以下のとおりである。

(1) スギ林（古河市仁連）

高木層はスギの他にコナラ、イヌシデ、ウワミズクラが混じる。亜高木層は貧弱でわずかにシラカシ、アカシデが見られる。低木層も貧弱でわずかにヒノキ、ヒサカキが見られる。草本層の植被率は高く、アマチャヅル、ヒカゲイノコズチ、タチツボスミレ、ヤブミョウガ、ニワトコ、ミゾシダ、ミドリヒメワラビ、アズマネザサ、ムラサキシキブ、ハウチャクソウ、ヤブコウジ、ムクノキ、シラカシ、マンリョウ、タチシオデ、キツタ、ジャノヒゲ、シュロ、スイカズラ、ホソバヒカゲスゲ、イタドリ、シナサルナシ、クサギ、シンミズヒキ、ゴンズイ、シロダモ、ヤマウグイスカグラ、ニガイチゴ、ケチヂミザサ、ハリガネワラビ、ツユクサ、ヌスビトハギ、キカラスウリ、ヤマノイモ、コナラ、ミツバアケビ、タラノキ、ヒヨドリバナ、イヌザンショウ、アオキ、ヒメコウゾ、ウド、ツルニガクサ、ガマズミ、イヌツゲ、ハダカホオズキ、ナキリスゲ、キツネノマゴ、クマノミズキ、ガンクビソウ、ケマルバスミレ、ヌルデ、コブシなどの多数の種類が生育している。

(2) ヒノキ林（古河市仁連）

高木層はヒノキが優占し、スギ、シラカシ、ウワミズヅクラ、亜高木層はわずかにアカシデ、シラカシが見られる。低木層は認められない。草本層の種類は豊富で、ハリガネワラビ、ホソバシケンダ、ヤマノイモ、ニワトコ、シラカシ、アマチャヅル、ジャノヒゲ、ガマズミ、オトコエシ、ベニシダ、ナキリスゲ、キッコウハグマ、ネズミモチ、ヤマコウバシ、マンリョウ、ヒサカキ、イヌツゲ、シナサルナシ、キツタ、コブシ、クモキリソウ、ヤナギイノコズチ、ノキシノブ、ヌルデ、シュロ、コナラ、ナンテン、ネムノキ、ニガイチゴ、ガンクビソウ、タラノキ、ツユクサ、ウド、ケチヂミザサ、ヤマウルシ、コチヂミザサ、ヌスビトハギ、キツネノマゴ、エゴノキ、アカシデ、スギ、アズマネザサ、カラスウリ、ハエドクソウ、ツルウメモドキ、

フタリシズカ、イヌガンソクなどが生育している。

チョウジタデなど。

(3) ケヤキ林 (古河市駒ヶ崎)

高木層はケヤキにモミ、シラカシ、ハリエンジュが混じる。亜高木層の種類は豊富で、アラカシ、アカシデ、コナラ、ムクノキ、イヌザクラ、キツタなどが目立つ。低木層にはシロダモ、ヒサカキ、シュロが見られる。草本層には草丈の低いアズマネザサが侵入して他の植物の生育を妨げている。わずかにシラカシ、ハリエンジュ、ムクノキ、フジ、ナガバジャノヒゲ、アオキ、キツタ、シロダモ、ドクダミ、ヤブコウジなどが見られる。

(4) クヌギ林 (下妻市高道祖)

高木層はクヌギが優勢し、イヌザクラ、コナラ、ケヤキ、シラカシ、イヌシデ、スギ、亜高木層はシラカシ、アカシデ、ケヤキ、イヌザクラ。低木層はアズマネザサが優勢し、アオキ、シラカシ、シュロ、フジ、シロダモ、ヒサカキ、ウワミズザクラ、ヤマウグイスカグラ、ガマズミ、ムクノキなどが生育している。草本層はナガバジャノヒゲが優勢し、シラカシ、アオキ、ヤブコウジ、シロダモ、ヤブラン、マンリョウ、スギ、アケビ、キツタ、ムクノキ、ウワミズザクラ、ベニシダ、フジ、オオベニシダ、チャノキ、エゴノキ、ミツバアケビなどが生育している。

(5) コナラ・クヌギ林 (古河市新和田)

高木層にコナラとクヌギが混生するコナラ・クヌギ林では亜高木層にウワミズザクラ、エゴノキ、低木層にアズマネザサ、サワフタギ、ウワミズザクラ、草本層にアオハダ、ヤブラン、チャノキ、アズマネザサ、ネズミモチ、サワフタギ、アマチャヅル、ヘクソカズラ、ヤマウグイスカグラ、ゴンズイ、イヌワラビ、ドクダミなどが生育している。

(6) 休耕田は調査区域の各所で見られ、休耕後の経過年数により以下のように異なった種類が出現している。

・イヌタデが優勢する休耕田 (八千代町兵庫)

エノコログサ、アキノエノコログサ、ヨモギ、ハキダメギク、セイタカアワダチソウ、アメリカタカサブロウ、メヒシバ、アメリカセンダングサ、エノキグサ、アキノノゲシ、コゴメガヤツリ、センダングサ、オオナモミ、イケマ、クサネム、ツユクサ、ツルマメ、ヒメムカシヨモギ、ハッカ、スズメウリ、イヌスギナ、

・イヌホタルイが優勢する休耕田 (八千代町菅谷)

ミズワラビ、ヒデリコ、キクモ、イボクサ、キカシグサ、アメリカタカサブロウ、マツバイ、アブノメ、コナギ、アメリカアゼナ、ヒメジソなど。

・セイタカアワダチソウが優勢する休耕田 (八千代町菅谷)

チガヤ、コガマ、ガマ、カワヤナギ、シロバナサクラタデ、クサネム、チョウジタデ、ヒメガマ、タマガヤツリ、マツバイ、イヌビエ、ツルマメ、マルバヤナギ、コアゼガヤツリ、ケイヌビエ、タウコギ、スギなど。

・セイタカアワダチソウが侵入しつつある休耕田 (古河市新和田)

アゼガヤツリ、ヒメガマ、コガマ、タウコギ、イボクサ、アカバナ、セリ、コナギ、キクモ、ミゾソバ、ヒメジソ、アメリカセンダングサ、ヒメクグ、ミズワラビ、キカシグサ、ヒデリコ、ヤナギタデ、アキノウナギツカミ、チョウジタデ、コゴメガヤツリ、イなど。

(7) 水田の畦 (古河市駒ヶ崎)

水田の畦にはミズマツバ、ミズワラビ、ウスゲチョウジタデ、チョウジタデ、ヒデリコ、イヌガラシ、ウリクサ、オヒシバ、コゴメガヤツリ、エノキグサ、テンツキ、トキンソウ、アゼガヤツリ、フタバムグラ、イヌスギナ、ヒメヒラテンツキ、アメリカタカサブロウ、メヒシバ、オオニシキソウ、ヒメクグ、ハナイバナなどが生育している。

2. 注目すべき植物

今回の調査で生育が確認された主な植物は以下のとおりである。

(1) ミズワラビ (ミズワラビ科)

本州から琉球の湿地や水田などに生える一年草。太平洋岸では茨城県を北限地としている。最近、県内では中央部以南ではよく見られるが、那珂川以北でも確認されている。調査域でも各地の耕作している水田や畦で群生が確認できた。茨城県希少種。

(2) ヌカボタデ (タデ科)

本州から九州の水湿地に生える一年草。県内では中

部以南の湿地に稀に産する。調査域では渡良瀬川（古河市）や小貝川の河川敷（下妻市）で確認した。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(3) ホソバイヌタデ（タデ科）

本州の湿地に生育する一年草。県内では中央部以南の湿地や河原に稀である。生育地では群生していることが多い。調査域では渡良瀬川（古河市）、小貝川（下妻市）の河川敷に群生地が見られた。環境省準絶滅危惧。

(4) ノカラマツ（キンポウゲ科）

本州（東北地方南部以南）から九州の日当たりの良い原野や湿地に生える多年草。県内では西部、南部の河川敷に稀に群生する。調査域では渡良瀬川（古河市）の河川敷に群生していた。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

(5) アゼオトギリ（オトギリソウ科）

本州（関東地方以西）から九州の日当たりのよい湿地に生える多年草。県内では南部、西部に稀に見られる。調査域では渡良瀬川（古河市）の河川敷に稀に見られる。環境省絶滅危惧ⅠB類。茨城県危急種。

(6) コイヌガラシ（アブラナ科）

本州（関東地方以西）から九州の水湿地に生える一年草か越年草とされている。県内では西部、南部の河川敷や水田地帯に稀に見られる。調査域では渡良瀬川（古河市）の河川敷や八千代町の水田地帯の畦などにも見られる。環境省準絶滅危惧。

(7) ノウルシ（トウダイグサ科）

北海道から九州の河川敷などの湿地に群生する多年草。県内では西部、南部の湿地に群生地が知られているが、大きな群生地は少なくなっている。調査域では渡良瀬川（古河市）、小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。環境省準絶滅危惧。

(8) ミズマツバ（ミソハギ科）（図3）

本州から琉球の水田や畦などに生える一年草。県内では各地の水田に稀に見られる。調査域では古河市などの水田の畦などで確認した。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県希少種。



図3. ミズマツバ

(9) ウスゲチョウジタデ（アカバナ科）

本州（関東地方以西）・九州・琉球の水田や湿地に生える一年草。県内では各地の水田や休耕田にやや稀に見られる。調査域では古河市内で確認した。環境省準絶滅危惧。

(10) チョウジソウ（キョウチクトウ科）

本州・九州の河原や原野の湿地に生える多年草で、県内では西部、南部の河川敷などに群生が知られている。調査域では小貝川（下妻市、旧千代川町）の河川敷で生育を確認した。環境省準絶滅危惧。茨城県危急種。

(11) ハナムグラ（アカネ科）

本州の中部地方、関東地方の河川敷や湖岸などに稀に生える多年草。県内では南部、西部の湿地に知られている。調査域では渡良瀬川（古河市）や小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県希少種。

(12) ミゾコウジュ（シソ科）（図4）



図4. ミゾコウジュ

本州から琉球の湿地や畦に生える越年草。県内では中部以南の湿地や河川敷などに知られている。調査域では渡良瀬川（古河市）や小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

(13) カワヂシャ（ゴマノハグサ科）（図5）

本州（中部以西）から琉球の川岸、湖岸、水田の縁や新しい泥地など他の植物の少ない所に生える越年草。県内では中部以南に稀に見られる。調査域では渡良瀬川（古河市）の河川敷で確認した。最近は大きくなるオオカワヂシャが目立っている。環境省準絶滅危惧。



図5. カワヂシャ

(14) ゴマギ（スイカズラ科）（図6）

本州、四国、九州に生育する落葉小高木でゴマのような香りがする。県内では西部、南部にやや普通。調査域では小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。



図6. ゴマギ

(15) フジバカマ（キク科）

本州（関東地方以西）から九州の河川敷などに生える多年草。県内では西部、南部の河川敷に稀に見られる。調査域では小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。環境省準絶滅危惧。茨城県危急種。

(16) アワボスゲ（カヤツリグサ科）（図7）

北海道から九州の山麓部や低地の湿地や河川敷の湿地などに生える多年草。生育地は県内では北部から南部まで知られているが稀である。調査域では小貝川（下妻市）の河川敷で確認した。茨城県希少種。



図7. アワボスゲ

(17) アイノコシラスゲ（カヤツリグサ科）

シラスゲに似ているが、葉が黄緑色で雌小穂が垂れ下がらない。県内では極めて稀である。調査域では下妻市の台地斜面で確認した。

参考文献

- 茨城県環境保全課（編）. 1997. 茨城県における絶滅のおそれのある野生生物（植物編）—茨城県版レッドデータブック—. 253 pp., 茨城県.
- 岩槻邦夫（編）. 1992. 日本の野生植物シダ. 311 pp., 平凡社.
- 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 178 pp., 文一総合出版.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物—レッドデータブック—8植物 I（維管束植物）. 660 pp., 環境庁.
- 勝山輝男. 2005. ネイチャーガイド 日本のスゲ. 375 pp., 文一総合出版.
- 北村四郎・村田 源. 1961. 原色日本植物図鑑草本編 [II] 離弁花類. 390 pp., 保育社.
- 北村四郎・村田 源・小山鐵夫. 1964. 原色日本植物図鑑草本編 [III] 単子葉類. 464 pp., 保育社.
- 北村四郎・村田 源・堀 勝. 1957. 原色日本植物図鑑草本編 [I] 合弁花類. 297 pp., 保育社.
- 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜. 759 pp., 平凡社.
- 長田武正. 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 425 pp., 保育社.
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫（編）. 1989. 日本の野生植物木本編 I. 321 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫（編）.

1989. 日本の野生植物木本編II. 305 pp., 平凡社  
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1981. 日本の野生植物草本編III. 259 pp., 平凡社  
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編I. 305 pp., 平凡社  
佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編II. 318 pp., 平凡社  
清水建美 (編). 2003. 日本の帰化植物図鑑. 337 pp., 平凡社  
鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也. 1981. 茨城県植物誌. 339 pp., 茨城県植物誌刊行会.

- 田川基二. 1959. 原色日本羊歯植物図鑑. 270 pp., 保育社  
谷城勝弘. 2007. カヤツリグサ科入門図鑑. 247 pp., 全国農村教育協会.  
吉川純幹. 1957・1958・1960. 日本スゲ属植物図譜 第壹巻 第貳巻 第参巻. 421 pp., 北陸の植物の会.

#### 調査研究および執筆

- 安 昌美 (元茨城県立水戸南高等学校, 元茨城県高等学校教育研究会生物部長)  
内山治男 (大成女子高等学校)  
安嶋 隆 (茨城県立日立第二高等学校)

付表1. 下妻市,八千代町,古河市の維管束植物

学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
Lycopodiaceae					
1	<i>Lycopodium serratum</i> Thunb.			●	
Equisetaceae					
2	<i>Equisetum arvense</i> L.	●	●	●	
3	<i>Equisetum palustre</i> L.		●	●	
4	<i>Equisetum ramosissimum</i> Desf.	●			
Gleicheniaceae					
5	<i>Dicranopteris linearis</i> (Burm.f.) Underw.			●	
6	<i>Gleichenia japonica</i> Spreng.			●	
Parkeriaceae					
7	<i>Ceratopteris thalictroides</i> (L.) Brongn.	●	●	●	茨城: 希少種
Pteridaceae					
8	<i>Pteris multifida</i> Poir.			●	
Dryopteridaceae					
9	<i>Arachniodes standishii</i> (T.Moore) Ohwi			●	
10	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze f. <i>erythrosora</i>	●		●	
11	<i>Dryopteris erythrosora</i> (D.C.Eaton) Kuntze f. <i>viridisorata</i> (Nakai ex H.Itô) H.Itô	●			
12	<i>Dryopteris hondoensis</i> Koidz.	●			
13	<i>Dryopteris lacera</i> (Thunb.) Kuntze	●			
14	<i>Dryopteris nipponensis</i> Koidz.			●	
15	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	●		●	
16	<i>Leptorumohra miqeliiana</i> (Maxim.) H.Itô			●	
Thelypteridaceae					
17	<i>Stegnogramma pozoi</i> (Lag.) K.Iwats. subsp. <i>mollissima</i> (Fisch. ex Kunze) K.Iwats.			●	
18	<i>Thelypteris angustifrons</i> (Miq.) Ching			●	茨城: 希少種
19	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching			●	
20	<i>Thelypteris laxa</i> (Franch. et Sav.) Ching			●	
21	<i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa	●		●	
Athyriaceae					
22	<i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance	●		●	
23	<i>Athyrium yokoscense</i> (Franch. et Sav.) H.Christ	●		●	
24	<i>Deparia comilii</i> (Franch. et Sav.) M.Kato			●	
25	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M.Kato	●		●	
26	<i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Tod.	●			
27	<i>Onoclea orientalis</i> (Hook.) Hook.			●	
Polypodiaceae					
28	<i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching			●	
Ginkgoaceae					
29	<i>Ginkgo biloba</i> L.	●			植栽
Pinaceae					
30	<i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.	●		●	
31	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	●			
Taxodiaceae					
32	<i>Cryptomeria japonica</i> (L.f.) D.Don	●	●	●	植栽
33	<i>Cunninghamia lanceolata</i> (Lamb.) Hook.	●			植栽
Cupressaceae					
34	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	●		●	植栽
Juglandaceae					
35	<i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) Makino	●			
Salicaceae					
36	<i>Salix chaenomeloides</i> Kimura	●	●	●	
37	<i>Salix eriocarpa</i> Franch. et Sav.	●	●	●	
38	<i>Salix koriyanagi</i> Kimura ex Goerz	●			
39	<i>Salix miyabeana</i> Seemen subsp. <i>gilgiana</i> (Seemen) H.Ohashi	●	●	●	
40	<i>Salix triandra</i> L. subsp. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) A.K.Skvortsov	●	●	●	
41	<i>Salix udensis</i> Trautv. et C.A.Mey.		●		
Betulaceae					
42	<i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	●			
43	<i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	●		●	
44	<i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	●		●	
Fagaceae					
45	<i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.			●	
46	<i>Quercus acuta</i> Thunb.	●			
47	<i>Quercus acutissima</i> Carruth.	●		●	
48	<i>Quercus glauca</i> Thunb.			●	
49	<i>Quercus myrsinifolia</i> Blume	●		●	
50	<i>Quercus serrata</i> Murray	●		●	
Ulmaceae					
51	<i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.	●	●	●	
52	<i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai	●	●	●	
53	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	●			
Moraceae					
54	<i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold			●	

下妻市, 八千代町, 古河市の維管束植物

	学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
55	<i>Humulus scandens</i> (Lour.) Merr.	カナムグラ	●	●		
Urticaceae						
		イラクサ科				
56	<i>Boehmeria holosericea</i> Blume	オニヤブマオ	●			
57	<i>Boehmeria japonica</i> (L.f.) Miq. var. <i>longispica</i> (Steud.) Yahara	ヤブマオ	●			
58	<i>Pilea pumila</i> (L.) A.Gray var. <i>hamaoi</i> (Makino) C.J. Chen	ミス	●			
59	<i>Urtica thunbergiana</i> Siebold et Zucc.	イラクサ	●			
Polygonaceae						
		タデ科				
60	<i>Fallopia japonica</i> (Houtt.) Ronse Decr.	イタドリ	●	●	●	
61	<i>Persicaria erectominor</i> (Makino) Nakai var. <i>trigonocarpa</i> (Makino) H.Hara	ホソバイスタデ	●			環境省: 準絶滅危惧
62	<i>Persicaria filiformis</i> (Thunb.) Nakai ex W.T.Lee	ミスヒキ	●		●	
63	<i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Spach	ヤナギタデ			●	
64	<i>Persicaria japonica</i> (Meisn.) Nakai ex Ohki	シロバナサクラタデ		●		
65	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Gray var. <i>lapathifolia</i>	オオイスタデ			●	
66	<i>Persicaria lapathifolia</i> (L.) Gray var. <i>tomentosa</i> (Schränk) H.Gross	サナエタデ	●			
67	<i>Persicaria longiseta</i> (Brujin) Kitag.	イスタデ		●	●	
68	<i>Persicaria maackiana</i> (Regel) Nakai	サデクサ	●			
69	<i>Persicaria neofiliformis</i> (Nakai) Ohki	シンミスヒキ	●		●	
70	<i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H.Gross	イシミカワ			●	
71	<i>Persicaria posumbu</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H.Gross	ハナタデ	●			
72	<i>Persicaria sagittata</i> (L.) H.Gross var. <i>sibirica</i> (Meisn.) Miyabe	アキノウナギツカミ			●	
73	<i>Persicaria taquetii</i> (H.Lév.) Koidz.	ヌカボタデ	●			環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
74	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H.Gross	ミソソバ			●	
75	<i>Persicaria viscosa</i> (Buch.-Ham. ex D.Don) H. Gross ex T.Mori	ニオイタデ	●		●	外来
76	<i>Persicaria vulgaris</i> Webb et Moq. var. <i>pubescens</i> Nemoto	オオハルタデ	●			
77	<i>Polygonum aviculare</i> L.	ミチヤナギ			●	
78	<i>Rumex acetosa</i> L.	スイバ	●	●		
79	<i>Rumex conglomeratus</i> Murray	アレチギシギシ	●		●	外来
80	<i>Rumex crispus</i> L.	ナガバギシギシ	●	●	●	外来
81	<i>Rumex japonicus</i> Houtt.	ギシギシ	●			
Phytolaccaceae						
		ヤマゴボウ科				
82	<i>Phytolacca americana</i> L.	ヨウシュヤマゴボウ	●		●	外来
Aizoaceae						
		ザクロソウ科				
83	<i>Mollugo stricta</i> L.	ザクロソウ			●	
84	<i>Mollugo verticillata</i> L.	クルマバザクロソウ			●	外来
Portulacaceae						
		スベリヒユ科				
85	<i>Portulaca oleracea</i> L.	スベリヒユ	●		●	
Caryophyllaceae						
		ナデシコ科				
86	<i>Arenaria serpyllifolia</i> L.	ノミノツツリ	●	●		
87	<i>Arenaria serpyllifolia</i> L. var. <i>viscida</i> (R.J.Loisel) DC.	ネノリノミノツツリ	●			外来
88	<i>Cerastium fontanum</i> Baumg. subsp. <i>vulgare</i> (Hartm.) Greuter et Burdet var. <i>angustifolium</i> (Franch.) H.Hara	ミミナグサ		●		
89	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	オランダミミナグサ	●		●	外来
90	<i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	ツメクサ	●	●	●	
91	<i>Silene armeria</i> L.	ムシトリナデシコ	●			外来
92	<i>Silene gallica</i> L. var. <i>gallica</i>	シロバナマンテマ	●			外来
93	<i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	ウシハコベ	●	●	●	
94	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.	コハコベ	●	●	●	外来
95	<i>Stellaria uliginosa</i> Murray var. <i>undulata</i> (Thunb.) Fenzl	ノミノフスマ	●			
Chenopodiaceae						
		アカザ科				
96	<i>Chenopodium album</i> L.	シロザ		●	●	
97	<i>Chenopodium ambrosioides</i> (L.) Spach var. <i>pubescens</i> Makino	ケアリタソウ			●	
98	<i>Chenopodium pumilio</i> R.Br.	ゴウシュウアリタソウ		●	●	外来
Amaranthaceae						
		ヒユ科				
99	<i>Achyranthes fauriei</i> Lév. et Van.	ヒナタイノコズチ			●	
100	<i>Achyranthes japonica</i> (Miq.) Nakai	ヒカゲイノコズチ			●	
101	<i>Achyranthes longifolia</i> (Makino) Makino	ヤナギイノコズチ	●		●	
102	<i>Alternanthera denticulata</i> R.Br.	ホソバツルノゲイトウ			●	外来
103	<i>Amaranthus blitum</i> L.	イヌビユ	●		●	
Magnoliaceae						
		モクレン科				
104	<i>Magnolia kobus</i> DC.	コブシ	●		●	
Schisandraceae						
		マツブサ科				
105	<i>Kadsura japonica</i> (L.) Dunal	サネカズラ			●	
Lauraceae						
		クスノキ科				
106	<i>Cinnamomum camphora</i> (L.) J.Presl	クスノキ			●	逸出
107	<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	ヤマコウバシ	●		●	
108	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	シロダモ	●	●	●	
Ranunculaceae						
		キンポウゲ科				
109	<i>Clematis terniflora</i> DC.	センニンソウ	●			
110	<i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.	ケキツネノボタン	●	●	●	
111	<i>Ranunculus sceleratus</i> L.	タガラシ	●		●	
112	<i>Thalictrum simplex</i> L. var. <i>brevipes</i> H.Hara	ノカラマツ			●	茨城: 希少種, 環境省: 準絶滅危惧
Berberidaceae						
		メギ科				
113	<i>Nandina domestica</i> Thunb.	ナンテン	●		●	逸出
Lardizabalaceae						
		アケビ科				
114	<i>Akebia quinata</i> (Houtt.) Decne.	アケビ	●			
115	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	ミツバアケビ	●		●	

学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
Menispermaceae		ツツラフジ科			
116	<i>Cocculus orbiculatus</i> (L.) DC.		●	●	
Saururaceae		ドクダミ科			
117	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	●		●	
118	<i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Baill.	●		●	
Chloranthaceae		センリョウ科			
119	<i>Chloranthus japonicus</i> Siebold			●	
120	<i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.			●	
Aristolochiaceae		ウマノスズクサ科			
121	<i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.	●			
Actinidiaceae		マタタビ科			
122	<i>Actinidia chinensis</i> Planch.			●	逸出
Theaceae		ツバキ科			
123	<i>Camellia japonica</i> L.	●			
124	<i>Camellia sinensis</i> (L.) Kuntze	●		●	逸出
125	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.			●	植栽
126	<i>Eurya japonica</i> Thunb.	●		●	
127	<i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.) Bedd.	●			逸出
Guttiferae		オトギリソウ科			
128	<i>Hypericum oliganthum</i> Franch. et Sav.			●	茨城・危急種 環境省：絶滅危惧 I B類
Papaveraceae		ケシ科			
129	<i>Chelidonium majus</i> L. subsp. <i>asiaticum</i> H.Hara	●	●		
130	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	●	●		
131	<i>Papaver dubium</i> L.	●	●		外来
Cruciferae		アブラナ科			
132	<i>Barbarea vulgaris</i> R.Br.			●	外来
133	<i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.	●	●		外来・植栽
134	<i>Brassica napus</i> L.	●			外来
135	<i>Brassica rapa</i> L. var. <i>oleifera</i> DC.	●			植栽
136	<i>Capsella bursa-pastoris</i> (L.) Medik.	●	●	●	
137	<i>Cardamine impatiens</i> L.		●		
138	<i>Cardamine parviflora</i> L.	●			外来
139	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	●			
140	<i>Draba nemorosa</i> L.	●			
141	<i>Lepidium virginicum</i> L.	●	●	●	外来
142	<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O. E. Schulz	●			外来
143	<i>Rorippa cantoniensis</i> (Lour.) Ohwi			●	環境省：準絶滅危惧
144	<i>Rorippa dubia</i> (Pers.) H.Hara	●		●	外来
145	<i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	●	●		
146	<i>Rorippa palustris</i> (L.) Besser	●		●	
147	<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop. var. <i>officinale</i>	●			外来
148	<i>Sisymbrium orientale</i> L.	●			外来
Crassulaceae		ベンケイソウ科			
149	<i>Sedum bulbiferum</i> Makino	●	●	●	
150	<i>Sedum sarmentosum</i> Bunge			●	外来
Rosaceae		バラ科			
151	<i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	●	●		
152	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach			●	
153	<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Moritz) Miq.	●	●	●	
154	<i>Duchesnea indica</i> (Andr.) Focke	●			
155	<i>Padus buergeriana</i> (Miq.) T.T.Yü et T.C.Ku	●		●	
156	<i>Padus grayana</i> (Maxim.) C.K.Schneid.	●		●	
157	<i>Potentilla amurensis</i> Maxim.			●	外来
158	<i>Potentilla freyniana</i> Bormm.			●	
159	<i>Potentilla sundaica</i> (Blume) Kuntze var. <i>robusta</i> (Franch. et Sav.) Kitag.	●	●	●	
160	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>zollingeri</i> (Decne.) Nakai	●			
161	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	●	●	●	
162	<i>Rubus microphyllus</i> L.f.			●	
163	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>coptophyllus</i> (A.Gray) Kuntze ex Koidz.	●			
164	<i>Rubus parvifolius</i> L.			●	
165	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.			●	
Leguminosae		マメ科			
166	<i>Aeschynomene indica</i> L.		●	●	
167	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	●		●	
168	<i>Amorpha fruticosa</i> L.			●	外来
169	<i>Astragalus sinicus</i> L.	●			
170	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>podocarpum</i>	●			
171	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) H.Ohashi			●	
172	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>fallax</i> (Schindl.) H.Ohashi			●	
173	<i>Gleditsia japonica</i> Miq.	●			
174	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohashi	●	●	●	
175	<i>Kummerowia stipulacea</i> (Maxim.) Makino	●	●		
176	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Schindl.			●	
177	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.			●	
178	<i>Lespedeza cuneata</i> (Dum.Cours.) G.Don	●	●	●	

下妻市, 八千代町, 古河市の維管束植物

	学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
179	<i>Lespedeza pilosa</i> (Thunb.) Siebold et Zucc.	ネコハギ	●		●	
180	<i>Medicago lupulina</i> L.	コマツブウマゴヤシ	●			外来
181	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	クズ		●		
182	<i>Robinia pseudoacacia</i> L.	ハリエンジュ			●	外来
183	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.	コマツブツメクサ	●			外来
184	<i>Trifolium hybridum</i> L.	タチオランダゲンゲ	●			外来
185	<i>Trifolium pratense</i> L. f. <i>pratense</i>	ムラサキツメクサ	●	●	●	外来
186	<i>Trifolium pratense</i> L. f. <i>albiflorum</i> Alef.	シロバナアカツメクサ	●			外来
187	<i>Trifolium repens</i> L.	シロツメクサ	●		●	外来
188	<i>Vicia cracca</i> L.	クサフジ	●	●	●	
189	<i>Vicia hirsuta</i> (L.) Gray	スズメノエンドウ	●			
190	<i>Vicia sativa</i> L. subsp. <i>nigra</i> (L.) Ehrh.	ヤハズエンドウ	●	●		
191	<i>Vicia tetrasperma</i> (L.) Schreb.	カスマグサ	●			
192	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	フジ	●		●	
Oxalidaceae		カタバミ科				
193	<i>Oxalis articulata</i> Savigny	イモカタバミ		●		外来
194	<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタバミ	●	●	●	
195	<i>Oxalis dillemii</i> Jacq.	オソタチカタバミ	●	●		外来
Geraniaceae		フウロソウ科				
196	<i>Geranium carolinianum</i> L.	アメリカフウロ	●	●	●	外来
Euphorbiaceae		トウダイグサ科				
197	<i>Acalypha australis</i> L.	エノキグサ	●	●	●	
198	<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small	コニシキソウ	●		●	外来
199	<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small	オオコニシキソウ	●		●	外来
200	<i>Euphorbia adenochlora</i> C.Morren et Decne.	ノウルシ			●	環境省: 準絶滅危惧
201	<i>Euphorbia helioscopia</i> L.	トウダイグサ	●			
202	<i>Mallotus japonicus</i> (L.f.) Müll.Arg.	アカメガシワ	●		●	
Rutaceae		ミカン科				
203	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	サンショウ			●	
204	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	イヌザンショウ			●	
Simaroubaceae		ニガキ科				
205	<i>Ailanthus altissima</i> (Mill.) Swingle	ニワウルシ		●		逸出
Polygalaceae		ヒメハギ科				
206	<i>Polygala japonica</i> Houtt.	ヒメハギ	●			
Anacardiaceae		ウルシ科				
207	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>chinensis</i> (Mill.) T.Yamaz.	スルデ	●	●	●	
208	<i>Rhus trichocarpa</i> Miq.	ヤマウルシ			●	
Aceraceae		カエデ科				
209	<i>Acer palmatum</i> Thunb.	イロハモミジ	●			逸出?
Aquifoliaceae		モチノキ科				
210	<i>Ilex crenata</i> Thunb.	イヌツゲ	●		●	
211	<i>Ilex integra</i> Thunb.	モチノキ	●			
212	<i>Ilex macropoda</i> Miq.	アオハダ	●		●	
213	<i>Ilex serrata</i> Thunb.	ウメモドキ			●	
Celastraceae		ニシキギ科				
214	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb.	ツルウメモドキ			●	
215	<i>Euonymus fortunei</i> (Turcz.) Hand.-Mazz.	ツルマサキ			●	
216	<i>Euonymus japonicus</i> Thunb.	マサキ	●			
217	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	マユミ	●	●	●	
Staphyleaceae		ミツバウツギ科				
218	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	ゴンズイ			●	
Rhamnaceae		クロウメモドキ科				
219	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zucc.	クマヤナギ	●			
Vitaceae		ブドウ科				
220	<i>Ampelopsis glandulosa</i> (Wall.) Momiy. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Momiy.	ノブドウ			●	
221	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagn.	ヤブガラシ	●	●	●	
222	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.	ツタ			●	
223	<i>Vitis ficifolia</i> Bunge	エビヅル	●		●	
Malvaceae		アオイ科				
224	<i>Abutilon theophrasti</i> Medik.	イチビ		●		外来
225	<i>Sida spinosa</i> L.	アメリカキンゴジカ			●	外来
Violaceae		スミレ科				
226	<i>Viola betonicifolia</i> Sm. var. <i>albescens</i> (Nakai) F.Maek. et T.Hashim.	アリアケスミレ			●	茨城: 危急種
227	<i>Viola grypoceras</i> A.Gray	タチツボスミレ	●		●	
228	<i>Viola hondoensis</i> W.Becker et H.Boissieu	アオイスミレ	●			
229	<i>Viola inconspicua</i> Blume subsp. <i>nagasakiensis</i> (W.Becker) J.C.Wang et T.C.Huang	ヒメスミレ			●	茨城: 危急種
230	<i>Viola keiskei</i> Miq. f. <i>okuboii</i> (Makino) F. Maekawa	ケマルバスミレ			●	
231	<i>Viola sieboldii</i> Maxim.	フモトスミレ			●	
232	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>verecunda</i>	ツボスミレ	●		●	
233	<i>Viola verecunda</i> A.Gray var. <i>semilunaris</i> Maxim.	アギスミレ	●			
Elatinaceae		ミゾハコベ科				
234	<i>Elatine triandra</i> Schkuhr var. <i>pedicellata</i> Krylov	ミゾハコベ	●			
Cucurbitaceae		ウリ科				
235	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	アマチャヅル	●		●	
236	<i>Sicyos angulatus</i> L.	アレチウリ	●	●	●	外来

	学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
237	<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim. ex Franch. et Sav.	カラスウリ	●		●	
238	<i>Trichosanthes kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonica</i> (Miq.) Kitam.	キカラスウリ			●	
239	<i>Zehneria japonica</i> (Thunb.) H.Y.Liu	スズメウリ		●		
Lythraceae		ミソハギ科				
240	<i>Ammannia coccinea</i> Rottb.	ホソバヒメミソハギ			●	外来
241	<i>Rotala indica</i> (Willd.) Koehne var. <i>uliginosa</i> (Miq.) Koehne	キカシグサ	●		●	
242	<i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schldtl.	ミズマツバ			●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類 茨城: 希少種
243	<i>Rotala ramoisiior</i> (L.) Koehne	アメリカキカシグサ			●	外来
Onagraceae		アカバナ科				
244	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	ミズタマンウ			●	
245	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.	アカバナ			●	
246	<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim. subsp. <i>epilobioides</i>	チョウジタデ	●		●	
247	<i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim. subsp. <i>greatrexi</i> (H.Hara) Raven	ウスゲチョウジタデ			●	環境省: 準絶滅危惧
248	<i>Oenothera biennis</i> L.	メマツヨイグサ	●		●	外来
249	<i>Oenothera laciniata</i> Hill	コマツヨイグサ	●		●	外来
250	<i>Oenothera rosea</i> L'Hér. ex Aiton	ユウゲショウ			●	外来
251	<i>Trapa japonica</i> Flerow	ビシ			●	
Cornaceae		ミズキ科				
252	<i>Aucuba japonica</i> Thunb.	アオキ	●		●	
253	<i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Soják	クマノミズキ			●	
Araliaceae		ウコギ科				
254	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	ウド			●	
255	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seem.	タラノキ			●	
256	<i>Dendropanax trifidus</i> (Thunb.) Makino ex H.Hara	カクレミノ			●	逸出
257	<i>Eleutherococcus spinosus</i> (L.f.) S.Y.Hu	ヤマウコギ	●			
258	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	ヤツデ	●		●	
259	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	キツタ	●		●	
Umbelliferae		セリ科				
260	<i>Heracleum sphondylium</i> L. var. <i>nipponicum</i> (Kitag.) H.Ohba	ハナウド		●		
261	<i>Hydrocotyle maritima</i> Honda	ノチドメ		●	●	
262	<i>Hydrocotyle sibthorpioides</i> Lam.	チドメグサ	●			
263	<i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	セリ	●	●	●	
264	<i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.	ヤブジラミ			●	
265	<i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	オヤブジラミ	●	●		
Pyrolaceae		イチヤクソウ科				
266	<i>Pyrola japonica</i> Klenz et Alefeld	イチヤクソウ			●	
Ericaceae		ツツジ科				
267	<i>Rhododendron kaempferi</i> Planch. var. <i>kaempferi</i>	ヤマツツジ			●	
Myrsinaceae		ヤブコウジ科				
268	<i>Ardisia crenata</i> Sims	マンリョウ	●		●	
269	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	ヤブコウジ	●		●	
Primulaceae		サクラソウ科				
270	<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	ヌマトラノオ	●		●	
271	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	コナスビ	●	●	●	
Ebenaceae		カキノキ科				
272	<i>Diospyros kaki</i> Thunb.	カキノキ			●	
Styracaceae		エゴノキ科				
273	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.	エゴノキ	●		●	
Symplocaceae		ハイノキ科				
274	<i>Symplocos sawafutagi</i> Nagam.	サワフタギ	●		●	
Oleaceae		モクセイ科				
275	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	ネズミモチ	●		●	
276	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	イボタノキ	●		●	
Apocynaceae		キョウチクトウ科				
277	<i>Amsonia elliptica</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	チョウジソウ	●			環境省: 準絶滅危惧 茨城: 危急種
278	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	テイカカズラ	●		●	
Asclepiadaceae		ガガイモ科				
279	<i>Cynanchum caudatum</i> (Miq.) Maxim.	イケマ		●		
280	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	ガガイモ	●	●	●	
281	<i>Vincetoxicum sublancoatum</i> (Miq.) Maxim. var. <i>sublancoatum</i>	コバノカモメヅル			●	
Rubiaceae		アカネ科				
282	<i>Galium gracilens</i> (A.Gray) Makino	ヒメツツバムグラ	●			
283	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Hayek	ヤエムグラ	●	●		
284	<i>Galium tokyoense</i> Makino	ハナムグラ	●		●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類 茨城: 希少種
285	<i>Gardenia jasminoides</i> Ellis	クチナシ	●			逸出
286	<i>Hedyotis brachypoda</i> (DC.) Sivar. et Biju	フタバムグラ			●	
287	<i>Neanotis hirsuta</i> (L.f.) W.H.Lewis var. <i>hirsuta</i>	ハンカグサ			●	
288	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	ヘクソカズラ	●	●	●	
289	<i>Rubia argyi</i> (H.Lév. et Vaniot) H.Hara ex Lauener	アカネ	●			
Convolvulaceae		ヒルガオ科				
290	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	コヒルガオ		●	●	
291	<i>Calystegia pubescens</i> Lindl.	ヒルガオ	●		●	
292	<i>Cuscuta campestris</i> Yuncker	アメリカネナシカズラ			●	外来
Boraginaceae		ムラサキ科				
293	<i>Bothriospermum zeylanicum</i> (J.Jacq.) Druce	ハナイバナ	●		●	

学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
294 <i>Symphytum officinale</i> L.	ヒレハリソウ		●		外来
295 <i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth. ex Hemsl.	キュウリグサ	●	●	●	
Verbenaceae					
296 <i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	ムラサキシキブ	●		●	
297 <i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	クサギ	●		●	
Labiatae					
298 <i>Ajuga nipponensis</i> Makino	ジュウニヒトエ	●			
299 <i>Clinopodium gracile</i> (Benth.) Kuntze	トウバナ			●	
300 <i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A.Gray) H.Hara	カキドオシ	●	●		
301 <i>Lamium album</i> L. var. <i>barbatum</i> (Siebold et Zucc.) Franch. et Sav.	オドリコソウ	●	●		
302 <i>Lamium amplexicaule</i> L.	ホトケノザ	●	●	●	
303 <i>Lamium purpureum</i> L.	ヒメオドリコソウ	●			外来
304 <i>Leonurus japonicus</i> Houtt.	メハジキ			●	
305 <i>Lycopus lucidus</i> Turcz. ex Benth.	シロネ	●			
306 <i>Mentha canadensis</i> L. var. <i>piperascens</i> (Malin. ex Holmes) H.Hara	ハッカ		●		
307 <i>Mosla dianthera</i> (Buch.-Ham. ex Roxb.) Maxim.	ヒメジソ		●	●	
308 <i>Mosla scabra</i> (Thunb.) C.Y.Wu et H.W.Li	イズコウジュ			●	
309 <i>Salvia plebeia</i> R.Br.	ミゾウコウジュ	●		●	環境省: 準絶滅危惧. 茨城: 希少種
310 <i>Scutellaria dependens</i> Maxim.	ヒメナミキ	●			
311 <i>Stachys aspera</i> Michx. var. <i>hispidula</i> (Regel) Vorosch.	イズゴマ			●	
312 <i>Teucrium japonicum</i> Houtt.	ニガクサ	●			
313 <i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) H.Hara	ツルニガクサ			●	
Solanaceae					
314 <i>Lycium chinense</i> Mill.	クロ	●	●	●	
315 <i>Solanum lyratum</i> Thunb.	ヒヨドリジョウゴ			●	
316 <i>Tubocapsicum anomalum</i> (Franch. et Sav.) Makino	ハダカホオズキ			●	
Scrophulariaceae					
317 <i>Dopatrium junceum</i> (Roxb.) Buch.-Ham. ex Benth.	アブノメ	●	●		
318 <i>Limnophila sessiliflora</i> (Vahl) Blume	キクモ		●	●	
319 <i>Lindernia crustacea</i> (L.) F.Muell.	ウリクサ			●	
320 <i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell subsp. <i>major</i> (Pursh) Pennell	アメリカアゼナ	●	●	●	外来
321 <i>Lindernia procumbens</i> (Krock.) Borbás	アゼナ	●		●	
322 <i>Mazus miquelii</i> Makino	ムラサキシサギゴケ	●			
323 <i>Mazus pumilus</i> (Burm.f.) Steenis	トキワハゼ	●	●	●	
324 <i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	オオカワヂシャ	●	●	●	外来
325 <i>Veronica arvensis</i> L.	タチイヌノフグリ	●	●	●	外来
326 <i>Veronica peregrina</i> L.	ムシクサ	●	●	●	
327 <i>Veronica persica</i> Poir.	オオイヌノフグリ	●	●	●	外来
328 <i>Veronica undulata</i> Wall.	カワヂシャ			●	環境省: 準絶滅危惧
Acanthaceae					
329 <i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>procumbens</i>	キツネノマゴ	●		●	
Orobanchaceae					
330 <i>Orobanche minor</i> Sm.	ヤセウツボ		●		外来
Phrymaceae					
331 <i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam.	ハエドクソウ			●	
Plantaginaceae					
332 <i>Plantago asiatica</i> L.	オオバコ	●	●	●	
333 <i>Plantago lanceolata</i> L.	ヘラオオバコ	●			外来
334 <i>Plantago virginica</i> L.	ツボミオオバコ	●			外来
Caprifoliaceae					
335 <i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>	ヤマウグイスカグラ	●		●	
336 <i>Lonicera japonica</i> Thunb.	スイカズラ	●	●	●	
337 <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) H.Hara	ニワトコ	●		●	
338 <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	ガマズミ	●		●	
339 <i>Viburnum sieboldii</i> Miq.	ゴマギ	●			
Valerianaceae					
340 <i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	オトコエシ			●	
341 <i>Valerianella locusta</i> (L.) Laterr.	ノヂシヤ	●		●	外来
Campanulaceae					
342 <i>Lobelia chinensis</i> Lour.	ミノカクシ			●	
Compositae					
343 <i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.Bip.	キッコウハグマ			●	
344 <i>Ambrosia artemisiifolia</i> L.	ブタクサ	●		●	外来
345 <i>Ambrosia trifida</i> L.	クワモドキ	●		●	外来
346 <i>Artemisia annua</i> L.	クソニンジン			●	茨城: 希少種
347 <i>Artemisia capillaris</i> Thunb.	カワラヨモギ		●		
348 <i>Artemisia indica</i> Willd. var. <i>maximowiczii</i> (Nakai) H.Hara	ヨモギ	●	●	●	
349 <i>Artemisia lancea</i> Vaniot	ヒメヨモギ			●	
350 <i>Aster tinuiae</i> Kitam.	ユウガギク	●			
351 <i>Aster scaber</i> Thunb.	シラヤマギク			●	
352 <i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>elongatus</i> Bosserdet	オオホウキギク			●	外来
353 <i>Aster yomena</i> (Kitam.) Honda var. <i>dentatus</i> (Kitam.) H.Hara	カントウヨメナ	●	●	●	
354 <i>Bidens biternata</i> (Lour.) Merr. et Sherff	センダングサ		●		
355 <i>Bidens frondosa</i> L.	アメリカセンダングサ	●	●	●	外来
356 <i>Bidens tripartita</i> L.	タウコギ		●	●	

	学 名	和 名	下 妻 市	八 千 代 町	古 河 市	備 考
357	<i>Carpesium divaricatum</i> Siebold et Zucc.	ガンクビソウ			●	
358	<i>Centipeda minima</i> (L.) A.Braun et Asch.	トキンソウ	●		●	
359	<i>Cirsium pendulum</i> Fisch. ex DC.	タカアザミ	●		●	
360	<i>Conyza bonariensis</i> (L.) Cronquist	アレチノギク	●			外来
361	<i>Conyza canadensis</i> (L.) Cronquist	ヒメムカシヨモギ	●	●	●	外来
362	<i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) E.Walker	オオアレチノギク			●	外来
363	<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	アフリカタカサブロウ	●	●	●	外来
364	<i>Eclipta prostrata</i> L.	モトタカサブロウ			●	
365	<i>Erechtites hieracifolius</i> (L.) Raf. ex DC.	ダントボロギク			●	外来
366	<i>Erigeron annuus</i> (L.) Pers.	ヒメジョオン	●		●	外来
367	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	ハルジオン	●	●	●	外来
368	<i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) Murata et H. Koyama	ヒヨドリバナ			●	
369	<i>Eupatorium japonicum</i> Thunb.	フジバカマ	●		●	環境省:準絶滅危惧,茨城:危急種
370	<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.	ハキダメギク	●	●	●	外来
371	<i>Gnaphalium affine</i> D.Don	ハハコグサ	●	●	●	
372	<i>Gnaphalium calviceps</i> Fern.	タチチチコグサ	●		●	外来
373	<i>Gnaphalium luteoalbum</i> L.	セイダカハハコグサ	●		●	外来
374	<i>Gnaphalium pensylvanicum</i> Willd.	チチコグサモドキ	●		●	外来
375	<i>Helianthus tuberosus</i> L.	キクイモ	●	●		外来
376	<i>Hemistepta lyrata</i> Bunge	キツネアザミ	●	●	●	
377	<i>Ixeridium dentatum</i> (Thunb.) Tzvelev	ニガナ	●			
378	<i>Ixeris japonica</i> (Burm.f.) Nakai	オオジシバリ	●	●		
379	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.	ノニガナ	●		●	
380	<i>Lactuca indica</i> L.	アキノノゲシ	●	●		
381	<i>Lapsanastrum apogonoides</i> (Maxim.) J.H.Pak et K.Bremer	コオニタバコ	●			
382	<i>Lapsanastrum humile</i> (Thunb.) J.H.Pak et K.Bremer	ヤブタバコ	●		●	
383	<i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch.Bip.	コウヤボウキ	●			
384	<i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	フキ	●			
385	<i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov	コウゾリナ	●		●	
386	<i>Senecio vulgaris</i> L.	ノボロギク	●	●	●	外来
387	<i>Solidago altissima</i> L.	セイダカアワダチソウ	●	●	●	外来
388	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	オニノゲシ	●		●	外来
389	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	ノゲシ		●		
390	<i>Taraxacum officinale</i> Weber ex F.H.Wigg.	セイヨウタンポポ	●	●	●	
391	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.	カントウタンポポ	●			
392	<i>Xanthium occidentale</i> Bertol.	オオオナモミ	●	●		外来
393	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	オニタバコ	●	●		
	Liliaceae	ユリ科				
394	<i>Allium macrostemon</i> Bunge	ノビル	●	●		
395	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda	アマナ	●			茨城:希少種
396	<i>Cardiocrinum cordatum</i> (Thunb.) Makino	ウバユリ	●			
397	<i>Disporum sessile</i> D.Don ex J.A. et J.H.Schult.	ホウチャクソウ			●	
398	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J.W.Ingram var. <i>sieboldii</i> f. <i>spathulata</i> (Miq.) W.G.Schmid	コバギボウシ			●	
399	<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	ヒメヤブラン	●			
400	<i>Liriope muscari</i> (Decne.) L.H.Bailey	ヤブラン	●	●	●	
401	<i>Nothoscordum gracile</i> (Dryand.) Stearn	ハタケニラ	●			外来
402	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>japonicus</i>	ジャノヒゲ			●	
403	<i>Ophiopogon japonicus</i> (Thunb.) Ker Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.	ナガバジャノヒゲ	●		●	
404	<i>Ophiopogon planiscapus</i> Nakai	オオバジャノヒゲ	●			
405	<i>Polygonatum falcatum</i> A.Gray	ナルコユリ			●	
406	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	アマドコロ			●	
407	<i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth	オモト	●			逸出
408	<i>Smilax china</i> L.	サルトリイバラ			●	
409	<i>Smilax nipponica</i> Miq.	タチシオデ			●	
410	<i>Smilax riparia</i> A.DC.	シオデ	●		●	
	Amaryllidaceae	ヒガンバナ科				
411	<i>Lycoris radiata</i> (L'Hér.) Herb.	ヒガンバナ	●			
412	<i>Narcissus tazetta</i> L.	スイセン	●			外来
	Dioscoreaceae	ヤマノイモ科				
413	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	ヤマノイモ	●		●	
414	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	オニドコロ		●		
	Pontederiaceae	ミズアオイ科				
415	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm.f.) C.Presl	コナギ		●	●	
	Iridaceae	アヤメ科				
416	<i>Crocsmia x crocosmiflora</i> (Lemoine) N.E.Br.	ヒメヒオウギスイセン	●			外来
417	<i>Sisyrinchium exile</i> Bickn.	ルリイロニワゼキショウ	●			外来
418	<i>Sisyrinchium rosulatum</i> E.P.Bicknell	ニワゼキショウ	●			外来
	Juncaceae	イグサ科				
419	<i>Juncus</i> sp.	コゴメイ			●	外来
420	<i>Juncus effusus</i> L. var. <i>decipiens</i> Buchen.	イ		●	●	
421	<i>Juncus prismatocarpus</i> R.Br. subsp. <i>leschenaultii</i> (J.Gay ex Laharpe) Kirschner	コウガイゼキショウ	●			
422	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	クサイ	●		●	
423	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq. ex Kom.	スズメノヤリ	●			
	Commelinaceae	ツユクサ科				
424	<i>Commelina communis</i> L.	ツユクサ	●	●	●	

下妻市, 八千代町, 古河市の維管束植物

学名	和名	下妻市	八千代町	古河市	備考
425 <i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	イボクサ		●	●	
426 <i>Pollia japonica</i> Thunb.	ヤブミョウガ	●		●	
Poaceae					
イネ科					
427 <i>Agrostis clavata</i> Trin. subsp. <i>matsumurae</i> (Hack. ex Honda) Tateoka	ヌカボ	●			
428 <i>Agrostis stolonifera</i> L.	ハイコスカグサ		●		外来
429 <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol. var. <i>amurensis</i> (Kom.) Ohwi	スズメノテッポウ	●	●		
430 <i>Avena fatua</i> L.	カラスムギ	●	●		
431 <i>Avena sativa</i> L.	マカラスムギ	●			
432 <i>Beckmannia syzigachne</i> (Steud.) Fernald	カズノコグサ		●	●	
433 <i>Briza maxima</i> L.	コバンソウ	●			外来
434 <i>Bromus carinatus</i> Hook. et Arn.	ヤクナガイヌムギ		●		外来
435 <i>Bromus catharticus</i> Vahl	イヌムギ	●	●	●	外来
436 <i>Bromus japonicus</i> Thunb.	スズメノチャヒキ	●	●	●	
437 <i>Bromus remotiflorus</i> (Steud.) Ohwi	キツネガヤ	●			
438 <i>Calamagrostis brachytricha</i> Steud.	ノガリヤス			●	
439 <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers.	ギョウギシバ			●	
440 <i>Dactylis glomerata</i> L.	カモガヤ	●			外来
441 <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	メヒシバ	●	●		
442 <i>Digitaria radicata</i> (C.Presl) Miq.	コメヒシバ			●	
443 <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>crus-galli</i>	イヌビエ		●	●	
444 <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) P.Beauv. var. <i>aristata</i> Gray	ケイヌビエ		●	●	
445 <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	オヒシバ	●	●	●	
446 <i>Elymus racemifer</i> (Steud.) Tzvelev	アオカモジグサ	●	●	●	
447 <i>Elymus tsukushiensis</i> Honda var. <i>transiens</i> (Hack.) Osada	カモジグサ	●	●		
448 <i>Eragrostis curvula</i> (Schrad.) Nees	シナダレスズメガヤ	●			外来
449 <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) P.Beauv.	カゼクサ	●			
450 <i>Eragrostis minor</i> Host	コスズメガヤ	●		●	外来
451 <i>Eragrostis multicaulis</i> Steud.	ニワホコリ	●		●	
452 <i>Festuca arundinacea</i> Schreb.	オニウシノケグサ	●			外来
453 <i>Festuca parvigluma</i> Steud.	トボシガラ	●			
454 <i>Glyceria ischyronaura</i> Steud.	ドジョウツナギ	●			
455 <i>Hemarthria sibirica</i> (Gandog.) Ohwi	ウシノシッペイ	●		●	
456 <i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>cylindrica</i>	ケナシチガヤ	●			
457 <i>Imperata cylindrica</i> (L.) Raeusch. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Pilg.	チガヤ		●		
458 <i>Leptochloa chinensis</i> (L.) Nees	アゼガヤ			●	
459 <i>Lolium multiflorum</i> Lam.	ネズミムギ	●			外来
460 <i>Lolium perenne</i> L.	ホソムギ	●	●		外来
461 <i>Lolium x hybridum</i> Hausskn.	ネズミホソムギ	●			外来
462 <i>Lophatherum gracile</i> Brongn.	ササクサ			●	茨城, 希少種
463 <i>Miscanthus sinensis</i> Andersson	ススキ			●	
464 <i>Miscanthus sinensis</i> Andersson f. <i>gracillimus</i> (Hitche.) Ohwi	イトススキ			●	植栽
465 <i>Miscanthus x ogiformis</i> Honda	オギ	●	●	●	
466 <i>Optismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>undulatifolius</i>	ケチヂミザサ			●	
467 <i>Optismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult. var. <i>japonicus</i> (Steud.) Koidz.	コチヂミザサ			●	
468 <i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	オオクサキビ			●	外来
469 <i>Paspalum dilatatum</i> Poir.	シマスズメノヒエ	●		●	外来
470 <i>Paspalum notatum</i> Flügge	アメリカスズメノヒエ	●			外来
471 <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud.	スズメノヒエ	●			
472 <i>Phalaris arundinacea</i> L.	クサヨシ	●	●	●	
473 <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	ヨシ	●		●	
474 <i>Phyllostachys bambusoides</i> Siebold et Zucc.	マダケ	●			植栽
475 <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	アズマネザサ	●	●		
476 <i>Pleioblastus linearis</i> (Hack.) Nakai	リュウキュウチク			●	植栽
477 <i>Pleioblastus simonii</i> (Carrière) Nakai	メダケ	●	●	●	
478 <i>Poa acroleuca</i> Steud. var. <i>acroleuca</i>	ミノイチゴツナギ	●	●		
479 <i>Poa acroleuca</i> Steud. var. <i>submoniliformis</i> Makino	タマシノイチゴツナギ	●			
480 <i>Poa annua</i> L. var. <i>reptans</i> Hausskn.	ツルズズメノカタビラ	●	●		外来
481 <i>Poa nipponica</i> Koidz.	オオイチゴツナギ		●	●	
482 <i>Poa ochotensis</i> Trin.	イチゴツナギ		●		
483 <i>Poa pratensis</i> L.	ナガハグサ	●	●		外来
484 <i>Poa trivialis</i> L.	オオスズメノカタビラ	●			外来
485 <i>Poa trivialis</i> L. subsp. <i>sylvicola</i> (Guss.) H.Lindb.	タマオオスズメノカタビラ	●			外来
486 <i>Polypogon fugax</i> Nees ex Steud.	ヒエガエリ	●	●		
487 <i>Sasa veitchii</i> (Carrière) Rehder	クマザサ	●		●	逸出
488 <i>Setaria faberi</i> R.A.W.Herrm.	アキノエノコログサ	●	●		
489 <i>Setaria pallidifusca</i> (Schumach.) Stapf et C.E.Hubb.	コツブキンエノコロ	●			
490 <i>Setaria pumila</i> (Poir.) Roem. et Schult.	キンエノコロ	●			
491 <i>Setaria viridis</i> (L.) P.Beauv.	エノコログサ		●		
492 <i>Setaria x pycnocomia</i> (Steud.) Henrard ex Nakai	オオエノコロ	●			
493 <i>Shibataea kumasasa</i> (Zoll. ex Steud.) Nakai	オカメザサ	●			逸出
494 <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. f. <i>halepense</i>	セイバンモロコシ	●		●	外来
495 <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. f. <i>muticum</i> (Hack.) C.E.Hubb.	ヒメモロコシ	●			外来
496 <i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi	カニツリグサ	●	●		
497 <i>Vulpia myuros</i> (L.) C.C.Gmel.	ナギナタガヤ	●			外来
Palmae					
ヤシ科					

学 名	和 名	下 妻 市	八 千 代 町	古 河 市	備 考
498 <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H.Wendl.	シユロ	●		●	逸出
Araceae					
499 <i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	カラスビシャク		●		
Lemnaceae					
500 <i>Lemna aoukikusa</i> Beppu et Murata	アオウキクサ	●			
501 <i>Spirodela polyrhiza</i> (L.) Schleid.	ウキクサ	●		●	
Typhaceae					
502 <i>Typha domingensis</i> Pers.	ヒメガマ		●	●	
503 <i>Typha latifolia</i> L.	ガマ	●	●		
504 <i>Typha orientalis</i> C.Presl	コガマ		●	●	
Cyperaceae					
505 <i>Bolboschoenus fluviatilis</i> (Torr.) Soják subsp. <i>yagara</i> (Ohwi) T.Koyama	ウキヤガラ			●	
506 <i>Carex alopecuroides</i> D.Don ex Tilloch et Taylor var. <i>chlorostachya</i> C.B.Clarke	シラスゲ	●			
507 <i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	エナシヒゴクサ	●			
508 <i>Carex brownii</i> Tuck.	アワボスゲ	●			茨城：希少種
509 <i>Carex dimorpholepis</i> Steud.	アゼナルコ	●	●	●	
510 <i>Carex dispalata</i> Boott	カサスゲ	●		●	
511 <i>Carex gibba</i> Wahlenb.	マスクサ	●	●		
512 <i>Carex humilis</i> Leyss. var. <i>nana</i> (H.Lév. et Vaniot) Ohwi	ホソバヒカゲスゲ	●		●	
513 <i>Carex idzuroei</i> Franch. et Sav.	ウマスゲ	●			
514 <i>Carex ischnostachya</i> Steud.	ジュズスゲ	●			
515 <i>Carex japonica</i> Thunb.	ヒゴクサ	●		●	
516 <i>Carex lenta</i> D.Don	ナキリスゲ	●		●	
517 <i>Carex leucochlora</i> Bunge var. <i>leucochlora</i>	アオスゲ	●	●		
518 <i>Carex leucochlora</i> Bunge var. <i>aphanandra</i> (Franch. et Sav.) T.Koyama	メアオスゲ	●			
519 <i>Carex maackii</i> Maxim.	ヤガミスゲ	●			
520 <i>Carex neurocarpa</i> Maxim.	ミコシガヤ	●		●	
521 <i>Carex parviflora</i> Boott var. <i>macroGLOSSA</i> (Franch. et Sav.) Ohwi	コジュズスゲ	●			
522 <i>Carex pumila</i> Thunb.	コウボウシバ	●			
523 <i>Carex rochebrunii</i> Franch. et Sav.	ヤブスゲ		●		
524 <i>Carex transversa</i> Boott	ヤワラスゲ	●	●		
525 <i>Carex x pseudoaphanolepis</i> Ohwi	アイノコシラスゲ	●			
526 <i>Cyperus amuricus</i> Maxim.	チャガヤツリ			●	
527 <i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>brevifolius</i>	アイダクグ	●			
528 <i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>leiolepis</i> (Franch. et Sav.) T.Koyama	ヒメクグ			●	
529 <i>Cyperus congestus</i> Vahl	ユメノシマガヤツリ			●	外来
530 <i>Cyperus difformis</i> L.	タマガヤツリ	●	●	●	
531 <i>Cyperus engelmannii</i> Steud.	ホソミンギヤツリ			●	外来
532 <i>Cyperus eragrostis</i> Lam.	メリケンガヤツリ			●	外来
533 <i>Cyperus flaccidus</i> R.Br.	ヒナガヤツリ	●		●	
534 <i>Cyperus flavidus</i> Retz.	アゼガヤツリ			●	
535 <i>Cyperus haspan</i> L. var. <i>microhaspan</i> Makino	ツルナシニアゼガヤツリ	●			
536 <i>Cyperus haspan</i> L. var. <i>tuberiferus</i> T.Koyama	コアゼガヤツリ		●		
537 <i>Cyperus iria</i> L.	コゴメガヤツリ	●	●	●	
538 <i>Cyperus longus</i> L.	セイタカハマスゲ	●		●	外来
539 <i>Cyperus microiria</i> Steud.	カヤツリグサ	●		●	
540 <i>Cyperus sanguinolentus</i> Vahl	カワラスガナ			●	
541 <i>Eleocharis acicularis</i> (L.) Roem. et Schult. var. <i>longiseta</i> Svenson	マツバイ		●		
542 <i>Eleocharis kuroguwai</i> Ohwi	クログワイ	●			
543 <i>Fimbristylis autumnalis</i> (L.) Roem. et Schult.	ヒメヒラテンツキ			●	
544 <i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl var. <i>tentsuki</i> T.Koyama	デンツキ	●		●	
545 <i>Fimbristylis littoralis</i> Gaudich.	ヒデリコ	●	●		
546 <i>Fimbristylis velata</i> R.Br.	メアゼテンツキ			●	
547 <i>Juncellus serotinus</i> (Rottb.) C.B.Clarke	ミズガヤツリ			●	
548 <i>Schoenoplectus juncooides</i> (Roxb.) Palla	イヌホタルイ	●	●	●	
549 <i>Schoenoplectus triquetet</i> (L.) Palla	サンカクイ			●	
550 <i>Scirpus concolor</i> Maxim.	アブラガヤ			●	
551 <i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino	マツカサススキ			●	
Orchidaceae					
552 <i>Liparis kumokiri</i> F.Maek.	クモキリソウ			●	

357 166 351

凡例

学名および和名の配列

- ・科の配列順序は、「植物目録」(環境庁自然保護局編, 1987)に従った。
- ・属および種の配列は、学名のアルファベット順とした。

・和名と学名は、主としてシダ植物を「日本の野生植物 シダ」(平凡社)に、種子植物を「日本の野生植物 草本編 I, II, IIIおよび木本編 I, II」(平凡社)、外来種を「原色日本帰化植物図鑑」(保育社)に従った。一部の種類についてはその他の文献から適切と思われる学名を使用した。

特記した植物

- ・茨城：茨城県版レッドデータブック該当種(1997)
- ・環境省：環境省版レッドデータブック該当種(2007)
- ・植栽：植栽されたと思われる種
- ・逸出：逸出したと思われる種
- ・外来：外来種

## 五霞町,境町,坂東市,常総市の維管束植物

### はじめに

五霞町, 境町, 坂東市, 常総市は関東平野のほぼ中央, 標高10-30m程度の平坦な地形で, 暖温帯に位置する。

やや高台になっている地域は関東ローム層からなる洪積台地で, 畑地と山林になっているところが多い。山林の多くは, コナラを中心とした雑木林になっていて, イヌシデ, クリ, クヌギ, エノキ, ムクノキ, コブシ, シロダモ, ヒサカキ, ウワミズザクラ, ガマズミなどの樹木が混じる。今回の調査地内にある雑木林の大部分は, かつては人の手によって管理されていたが, 現在では手入れされずに荒れてしまっているところが多い。そのためにアズマネザサ, メダケが林床を一面に覆ってしまっているところもあり, かつては林床に普通に生育していた里地・里山の植物が希産種になってしまっている。照葉樹が広範囲に生育しているところはないが, シラカシが多く見られ, 雑木林の優占種になっているところもある。菅生沼の丘陵地にはスダシイがわずかに残されている。スギ・ヒノキの人工林も屋敷林などとして所々に残されている。かつて多く見られたアカマツ林は, マツノザイゼンチュウの影響で現在はほとんど姿を消してしまっている。

この地域には, 利根川・鬼怒川・小貝川の大きな3

つの河川が流れている。また, 広大な低湿地からなる菅生沼もある。この地域の河川敷や湖岸は, ヤナギ類やハンノキ, クヌギ, エノキなどからなる河畔林になっていたり, メダケが群落をつくって生育していたり, ヨシ・オギの優占する草原になっていたりしており, 環境省および茨城県のレッドリスト種に指定されている植物の生育も見られる。河川・沼の周辺地域には広大な水田が広がっており, 希産種の植物の生育も見られる。坂東市沓掛の志度谷津湿地や常総市鴻野山の低地は, 周りを雑木林に囲まれた水田や低湿地になっていて数種の希産種の植物が生育している。

本調査は, 本地域の維管束植物相を明らかにすることを目的に実施した。植物相を調査するにあたっては, 「飯田勝明ほか, 2000」, 「ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 1996」, 「小幡和男, 2007」, 「太田俊彦ほか, 2003」や大和田真澄氏がインターネット上に作成しているホームページ「渡良瀬遊水池の植物」などの記述を参考にしながら調査をすすめた。

### 調査方法

#### 1. 調査地域 (図1)

##### (1) 利根川河川敷およびその周辺地域

新利根川橋下流 (五霞町大福田), 境大橋下流 (境町上小橋, 下小橋), 芽吹大橋上流 (坂東市筵打), 芽吹大橋下流 (坂東市矢作), 境町塚崎, 香取神社 (五

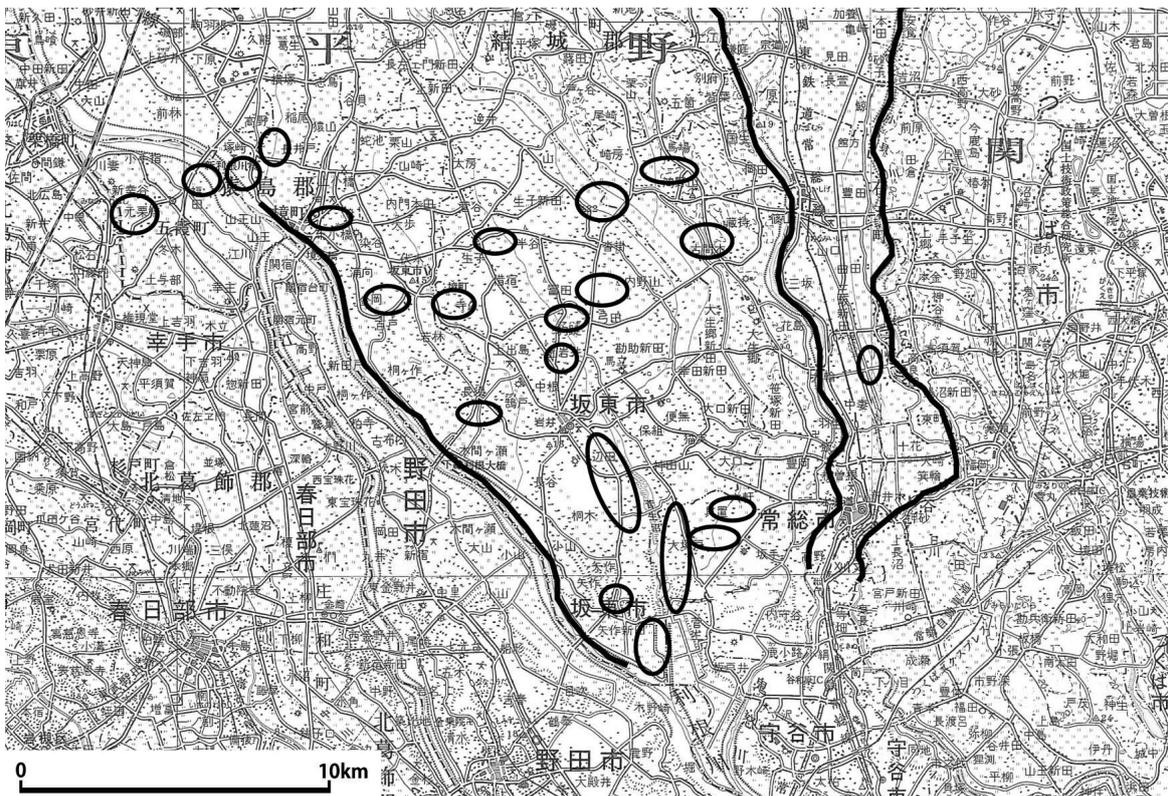


図1. 調査地域 (国土地理院発行 1:200,000 地形図「水戸」, 「宇都宮」, 「千葉」, 「東京」を一部改変)

霞町元栗橋)

(2) 鬼怒川およびその周辺地域

鹿島神社 (常総市若宮戸), 十一面山 (常総市本石下), 石下橋下流 (常総市本石下~新石下), 常総市小山戸町, 常総市豊岡町豊水橋下流 (常総市豊岡町)

(3) 小貝川およびその周辺地域

長峰橋上流 (常総市豊田), 長峰橋下流 (常総市本豊田), 常総市曲田, 福雷橋 (常総市福二町), 新福雷橋 (常総市上蛇町), 吉野公園 (常総市上蛇町), 福岡大堰 (常総市東町, 大崎町), 常総橋 (常総市箕輪町), 常総市兵町, 大和橋下流 (常総市新井木町, 常総市水海道淵頭町)

(4) 菅生沼およびその周辺地域

坂東市神田山, 坂東市下出島, 坂東市中里, 坂東市桐木, 坂東市中矢作自然環境保全地域, 常総市大塚戸町, 常総市菅生町, 常総市法師戸

(5) さしま少年自然の家 (境町生子, 坂東市寺久)

(6) 逆井城跡公園 (坂東市逆井)

(7) 志度谷津湿地 (坂東市沓掛)

(8) 常総市鴻野山

(9) 水海道ゴルフ場周辺地域 (常総市大塚戸町, 常総市坂手町, きぬ総合運動公園)

2. 調査日時と調査地

(1) 2007 年度

4月7日 利根川 (坂東市矢作, 坂東市薙打)

猿島少年自然の家 (坂東市寺久)

4月15日 小貝川 (常総市豊田)

4月23日 小貝川 (常総市東町, 常総市箕輪町)

4月29日 小貝川 (常総市長助町, 常総市新井木町)

鬼怒川 (常総市本石下)

5月3日 小貝川 (常総市大崎町, 常総市新井木町)

利根川 (境町上小橋, 坂東市矢作)

菅生沼 (常総市菅生町)

5月12日 利根川 (五霞町大福田, 坂東市矢作)

5月20日 小貝川 (常総市豊田, 常総市福二町)

5月26日 小貝川 (常総市水海道淵頭町)

菅生沼 (坂東市下出島, 坂東市中里,

常総市菅生町)

6月2日 小貝川 (常総市豊田)

6月17日 鬼怒川 (常総市本石下, 常総市豊岡町,

常総市坂手町)

常総市小山田町

6月23日 常総市鴻野山

志度谷津湿地 (坂東市沓掛)

小貝川 (常総市豊田, 常総市新井木町)

6月30日 利根川 (境町上小橋)

7月1日 小貝川 (常総市大崎町, 常総市長助町, 常総市水海道淵頭町)

7月16日 常総市本豊田

7月21日 五霞町元栗橋

利根川 (五霞町大福田, 境町上小橋, 坂東市薙打, 坂東市矢作)

7月29日 飯沼川 (常総市菅生町)

菅生沼 (常総市菅生町)

8月4日 常総市菅生町

鬼怒川 (常総市豊岡町)

小貝川 (常総市新井木町,

常総市水海道淵頭町)

8月11日 菅生沼 (坂東市下出島)

小貝川 (常総市豊田)

8月18日 志度谷津湿地 (坂東市沓掛)

坂東市弓田

常総市鴻野山

鬼怒川 (常総市本石下)

8月21日 菅生沼 (常総市菅生町)

小貝川 (常総市箕輪町, 常総市上蛇町)

吉野公園 (常総市上蛇町)

8月26日 小貝川 (常総市上蛇町)

吉野公園 (常総市上蛇町)

鬼怒川 (常総市豊岡町)

9月1日 利根川 (坂東市矢作)

菅生沼 (坂東市下出島, 常総市菅生町)

9月8日 常総市上蛇町

常総市坂手町

常総市豊岡町

小貝川 (常総市曲田, 常総市上蛇町)

吉野公園 (常総市上蛇町)

9月15日 常総市菅生町

常総市大塚戸町

常総市上蛇町

小貝川 (常総市豊田, 常総市箕輪町,

常総市新井木町, 常総市水海道淵頭町)

9月22日 坂東市逆井

五霞町元栗橋

五霞町小福田

利根川 (五霞町大福田, 坂東市薙打)

9月23日 小貝川 (常総市曲田)

9月29日 小貝川 (常総市新井木町)

菅生沼 (坂東市神田山, 坂東市下出島)

常総市鴻野山	6月14日	志度谷津湿地 (坂東市沓掛)
志度谷津湿地 (坂東市沓掛)		猿島少年自然の家 (坂東市寺久)
10月5日 常総市豊岡町		坂東市大崎
常総市大生郷新田町		坂東市中里
常総市鴻野山	6月21日	吉野公園 (常総市上蛇町)
10月7日 きぬ総合運動公園 (常総市坂手町)		常総市豊岡町
八間堀川 (常総市新田町)		小貝川 (常総市大崎町)
10月14日 菅生沼 (常総市菅生町)	6月28日	常総市本豊田
利根川 (坂東市矢作)	7月5日	坂東市桐木
10月20日 鬼怒川 (常総市本石下)		坂東市矢作
常総市鴻野山	7月13日	境町塚崎
菅生沼 (常総市菅生町)		常総市豊岡町
志度谷津湿地 (坂東市沓掛)		逆井城跡公園 (坂東市逆井)
11月3日 小貝川 (常総市豊田, 常総市東町)	7月27日	菅生沼 (常総市菅生町)
11月13日 小貝川 (常総市東町)		常総市坂手町
11月17日 利根川 (五霞町大福田)	8月1日	宮戸川 (境町塚崎)
境町塚崎		利根川 (五霞町大福田, 境町塚崎)
小貝川 (常総市東町)	8月16日	常総市鴻野山
11月24日 五霞町小福田		境町塚崎
常総市菅生町		宮戸川 (境町塚崎)
(2) 2008年度		小貝川 (常総市曲田)
4月5日 小貝川 (常総市新井木町, 常総市水海道淵頭町)	8月19日	小貝川 (常総市曲田)
4月12日 志度谷津湿地 (坂東市沓掛)		常総市本豊田
常総市鴻野山		吉野公園 (常総市上蛇町)
4月20日 菅生沼 (常総市菅生町)		鬼怒川 (常総市本石下)
常総市法師戸	9月6日	常総市鴻野山
常総市坂手町	9月13日	志度谷津湿地 (坂東市沓掛)
4月29日 菅生沼 (常総市下出島)		境町塚崎
鬼怒川 (常総市本石下, 常総市豊岡町)		常総市鴻野山
5月4日 常総市矢作	9月23日	常総市坂手町
利根川 (五霞町大福田)		坂東市矢作
菅生沼 (常総市菅生町)		坂東市蕨打
5月10日 常総市坂手町	9月27日	境町塚崎
5月15日 小貝川 (常総市豊田)		利根川 (五霞町大福田)
志度谷津湿地 (坂東市沓掛)		五霞町小福田
坂東市沓掛		境町一ノ谷
利根川 (五霞町大福田)	10月18日	小貝川 (常総市東町)
5月18日 小貝川 (常総市豊田, 常総市曲田, 常総市上蛇町, 常総市新井木町)		菅生沼 (常総市菅生町)
5月24日 常総市鴻野山		
小貝川 (常総市曲田)		
常総市坂手町		
6月1日 常総市坂手町		
6月7日 小貝川 (常総市豊田)		

### 3. 調査項目

維管束植物 (シダ植物, 種子植物) を対象として, 植物相と植生の概要の調査を行った.

- (1) 調査地に生育する全植物の確認と記録
- (2) 調査地の植生の概要
- (3) 生育する植物の採集と標本の作製 (原則として花・

実が付いている個体を採集, 1種の植物につき2~4点作製)

・確認種 633 種

#### (4) 生態写真の撮影

## 結果

### 1. 植生の概況

確認目録を付表2に示した。

#### (1) 利根川およびその周辺地域

利根川は茨城県内を流れる最大の河川で, 川幅も広く, 幅広い河川敷を持っている。今回は, 新利根川橋下流域(五霞町大福田), 境大橋下流域(境町上小橋), 芽吹大橋下流域(坂東市矢作)の河川敷を中心に調査を行った。河川敷以外の場所では, 五霞町元栗橋の香取神社や境町塚崎の水田・河川の調査も行った。

利根川河川敷には, アカメヤナギ・カワヤナギ・タチヤナギを中心にしたヤナギ林が発達しており, 周辺部にはヨシ・オギ草原が広がっている。河川敷には, オニグルミ, ヒメコウゾ, マグワ, ケカマツカ, ハリエンジュ, イヌザンショウ, ニワウルシ, ヌルデ, イボタノキ, クサギ, ニワトコなどの樹木も生育している。草本類としては, ヒメシダ, クサソテツ, コウヤワラビ, アオミズ, ホソバイスタデ, オオイスタデ, サデクサ, ヤノネグサ, イシミカワ, ミゾソバ, ギシギシ, ウシハコベ, センニンソウ, ケキツネノボタン, ハンゲショウ, イヌガラシ, クサフジ, ノブドウ, ヤブガラシ, ツボスミレ, アレチウリ, セリ, オヤブジラミ, ヤマトラノオ, ガガイモ, ホソバノヨツバムグラ, ヘクソカズラ, シロネ, ヒメジソ, イヌゴマ, ニガクサ, クコ, オオイヌノフグリ, カワヂシャ, オオカワヂシャ, クワモドキ, キクイモ, カントウヨメナ, オオオナモミ, ウシノシッペイ, チカラシバ, オギ, クサヨシ, ヨシ, メダケ, ウマスゲ, ヤガミスゲ, ミコシガヤ, アゼスゲなどが生育している。

また利根川河川敷は, 広大な地域がネズミムギの牧草地として利用されている。牧草地周辺には, 帰化植物も多く生育している。牧草地や利根川堤防の芝地には, スギナ, ミチヤナギ, スイバ, アレチギシギシ, ナガバギシギシ, エゾノギシギシ, クワモドキ, オランダミナグサ, ホソアオゲオトウ, セイヨウアブラナ, セイヨウカラシナ, マメグンバイナズナ, カキネガラシ, コメツブツメクサ, ムラサキツメクサ, シロツメクサ, ナヨクサフジ, アメリカフウロ, メマツヨイグサ, ユウゲショウ, ノチドメ, コヒルガオ, ヒルガオ, ホトケノザ, ヒメオドリコソウ, タチイヌノフ

グリ, オオイヌノフグリ, ヤセウツボ, オオバコ, ヘラオオバコ, キキョウソウ, ハルジオン, タチチコグサ, セイタカアワダチソウ, キツネアザミ, セイヨウタンポポ, ノビル, クサイ, ハルガヤ, カズノコグサ, イガガヤツリなどの草本類が見られる。

利根川河川敷に生育していた注目すべき植物として, 新利根川橋下流域の五霞町大福田の河川敷では, カジノキ, スカボタデ, ホソバイスタデ, アオヒメタデ, コイヌガラシ, ミゾコウジュ, カワヂシャ, ニガクサ, ウキシバ, スマアゼスゲ, ヤガミスゲ, ミコシガヤ, スマガヤツリが, 境大橋下流域の境町上小橋の河川敷では, ホソバイスタデ, ノカラマツ, ハンゲショウ, コイヌガラシ, ハナムグラ, カワヂシャ, ニガカシユウ, ヤガミスゲが, 芽吹大橋下流域の坂東市矢作では, カジノキ, ホソバイスタデ, ハンゲショウ, コイヌガラシ, ミズハコベ, アリアケスミレ, ミゾコウジュ, カワヂシャ, コウボウシバがあげられる。

新利根川橋下流の利根川右岸地域には広大な水田が広がっており, 森林になっているところは少ない。森林は社寺林や屋敷林などとしてわずかに残されているのみである。五霞町元栗橋の香取神社では, 高木層にイヌシデ, シラカシ, アラカシ, ムクノキ, アカメガシワ, ニワウルシ, スギなどが生育しており, 低木層にコブシ, シロダモ, クスノキ, ヤブニッケイ, ツタウルシ, アオキ, ヒサカキ, ヤツデ, モチノキ, ネズミモチなどが, 草本層としてはイヌワラビ, オクマワラビ, イノデ, マンリョウ, ヤブコウジ, サネカズラ, ミズヒキ, ハシカグサ, ヘビイチゴ, ヒヨドリジョウゴ, ヤブミョウガ, ジャノヒゲ, ヤブランなどが生育している。ヤブニッケイは, 今回の調査地では五霞町以外では見ることができなかった。

新利根川橋下流の利根川左岸地域の境町塚崎にも広大な水田が広がっている。境町塚崎の水田には, ミズワラビ, ミズニラ, コイヌガラシ, ヒメシロアサザ, ミズマツバ, ヒメミソハギ, アブノメ, ホシクサ, カンエンガヤツリ, シロガヤツリなどの稀産種の生育が見られる。境町塚崎の利根川河川敷には, ニガカシユウが生育している。また, 境町塚崎の宮戸川と農業用排水路には, ホザキノフサモ, オオミズオオバコ, コウガイモ, オオカナダモ, ホソバミズヒキモ, ヤナギモ, ヒルムシロの沈水性・浮葉性の水生植物の生育がみられる。

#### (2) 鬼怒川およびその周辺地域

常総市を流れている鬼怒川は, 緩やかに蛇行して幅

広い河川敷を持っている。河川敷は、大部分砂地になっているが、泥土で覆われてしまっているところも見られる。今回の調査では、常総市本石下の十一面山、常総市新石下の石下橋下流域、常総市豊岡町の豊水橋下流域の3か所の河川敷を中心に調査を行った。

鬼怒川河川敷には、アカメヤナギ、カワヤナギ、タチヤナギ、ジャヤナギからなるヤナギ林が多く見られる。十一面山には、雑木林も見られ、クヌギ、コナラ、ウワミズザクラ、ムクノキ、エノキなどが高木層をつくっており、その下にはサンショウ、イボタノキ、ヤマコウバシ、ヤマブキ、ヤマウグイスカグラなどの低木が見られる。鬼怒川河川敷に生育する草本類としては、トクサ、フユノハナワラビ、ミズヒキ、ヌカキビ、サナエタデ、オオイヌタデ、ボンクトクダ、イシミカワ、タガラシ、タネツケバナ、コイヌガラシ、イヌガラシ、カスマグサ、スズメノエンドウ、ヤハズエンドウ、タチツボスミレ、スミレ、ハナウド、キュウリグサ、カワヂシャ、オオカワヂシャ、トキワハゼ、オノゲシ、ヒロハホウキギク、アキノキリンソウ、ノコンギク、ヤブラン、オヒシバ、オギ、カズノコグサ、チヂミザサ、イヌアワ、シラスゲ、クグガヤツリ、シユンランなどがあげられる。

鬼怒川河川敷に生育する注目すべき植物として、十一面山（常総市本石下）では、トクサ、カナビキソウ、ハマエンドウ、ヤドリギ、フデリンドウ、ニガカシウ、イヌアワ、ハタガヤ、ヌカスゲ、クグガヤツリが、石下橋下流域の鬼怒川河川敷（常総市新石下）では、トクサ、コゴメヤナギ、ホソバイヌタデ、ミゾコウジュ、カワヂシャ、ツルヨシ、コウボウシバが、豊水橋下流域（常総市豊岡町）では、トクサ、コゴメヤナギ、ホソバイヌタデ、コイヌガラシ、カワヂシャ、ムシクサ、メハジキ、カワラヨモギ、コウボウシバ、ヤガミスゲがあげられる。ハマエンドウ、ハタガヤ、コウボウシバは海岸性の植物であり、鬼怒川河川敷では日当たりの良い砂地に生育している。

### (3) 小貝川およびその周辺地域

常総市（旧石下町、旧水海道市）を流れる小貝川は、河川の勾配が小さく、大きく蛇行して流れており、河川敷は有機物の多い肥沃な土壌になっている。その河川敷は、耕作地になっていたり、河川改修工事などによって人の手が増えられたりしているところが少なく、低湿地に見られる希産種の植物が多く生育している。小貝川の河畔林は、アカメヤナギを中心とするヤナギ林やクヌギ林、ハンノキ林になっており、エノキ・ム

クノキが優占種の林も見られる。低木層にはオニグルミ、カワヤナギ、タチヤナギ、マグワ、コブシ、ヤマコウバシ、サンショウ、ニガキ、ヌルデ、イボタノキ、カマツカ、コマユミ、ヤマウコギ、ゴマギ、ガマズミなどが見られる。ゴマギは、この地域の小貝川河川敷には普通に生育しているが他の地域では見ることができなかった。河畔林が成立しないところでは、ヨシ・オギが優占する草原群落が見られる。小貝川河川敷に見られる草本層としては、コウヤワラビ、ミゾソバ、サデクサ、アキノウナギツカミ、ムラサキケマン、ヘビイチゴ、ノイバラ、ヌマトラノオ、ガガイモ、カキドオシ、シロネ、クコ、ハンゲショウ、アマチャヅル、ノウルシ、ヘクソカズラ、センニンソウ、ヤブガラシ、ノブドウ、カナムグラ、ノコンギク、カントウヨメナ、ユウガギク、コオニタビラコ、オニタビラコ、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、オオオナモミ、ノビル、ジャノヒゲ、ヤブラン、シオデ、キシヨウブ、アオカモジグサ、カモジグサ、クサヨシ、トダシバ、オギ、ヨシ、カサスゲ、アゼスゲ、ヤガミスゲ、ミコシガヤなどがあげられる。

今回、小貝川河川敷およびその周辺地域の調査で確認された注目すべき植物として、長峰橋上流部（常総市豊田、本豊田）の小貝川河川敷では、ノダイオウ、ヌカボタデ、ホソバイヌタデ、ノカラマツ、ハンゲショウ、コウモリカズラ、タコノアシ、ノウルシ、チョウジソウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、カワヂシャ、ゴマギ、フジバカマ、アマナ、マイヅルテンナンショウが、常総市豊田の休耕田では、ミズニラ、ミズワラビ、アズマツメクサ、アブノメ、サワトウガラシが、常総市曲田の小貝川河川敷では、ヌカボタデ、ノウルシ、ハンゲショウ、ナガボノシロワレモコウ、チョウジソウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、フジバカマ、コツブヌマハリイ、セイタカハリイが、常総市曲田の水田・休耕田では、ミズワラビ、ハンゲショウ、アブノメ、ミズマツバ、ヒメミソハギ、ホシクサが、新福雷橋下流の小貝川河川敷（常総市上蛇町）では、ノカラマツ、コイヌガラシ、ナガボノアカワレモコウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、セイタカハリイ、サンカクイが、吉野釣公園およびその周辺部の水田（常総市上蛇町）では、イヌドクサ、ミズワラビ、コイヌガラシ、タコノアシ、ミズマツバ、ヒメミソハギ、ガガブタ、ミゾコウジュ、クロテンツキが、福岡大堰周辺部の小貝川河川敷（常総市東町、大崎町）では、イノモトソウ、ナガバヤブソテツ、ノカラマツ、コイヌガラシ、ノウルシ、ミゾコウジュ、キタミソウ、ゴマギ、フジ

バカマ、アマナ、トネテンツキ、アオテンツキ、シロガヤツリが、常総橋下流域の小貝川河川敷（常総市箕輪町、兵町、長助町）では、ヌカボタデ、ホソバイスタデ、ノカラマツ、アゼオトギリ、コイヌガラシ、タコノアシ、アリアケスミレ、エキサイゼリ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、アマナ、クロテンツキが、大和橋下流域の小貝川河川敷（常総市新井木町、水海道瀬頭町）では、トネハナヤスリ、ヒキノカサ、ノカラマツ、コイヌガラシ、ナガボノシロワレモコウ、ノウルシ、タチスミレ、エキサイゼリ、シムラニンジン、チョウジソウ、ハナムグラ、ミゾコウジュ、ゴマノハグサ、カワヂシャ、バアソブ、タカアザミ、シロバナタカアザミ、フジバカマ、ヒメアマナ、アマナ、マイヅルテンナンショウがあげられる。

#### (4) 菅生沼およびその周辺地域

菅生沼は、南北に細長く伸びた 232ha にもおよぶ広大な低湿地帯で、茨城県が指定する自然環境保全地域にもなっている。沼には江川、飯沼川が流れ込み、飯沼川が流れ出ている。これらの地域には広大な低層湿原が広がっており、湿原には、アカメヤナギを中心にカワヤナギ、タチヤナギ、ジャヤナギが混じったヤナギ林が発達している。ハンノキ林になっているところもある。草原は、水際に近いところから、ガマ、マコモ、ヨシ、オギが群落をつくっている。

菅生沼の湿原には、ミゾソバ、ホソバイスタデ、ヤナギタデ、オオイヌタデ、サデクサ、イシミカワ、アキノウナギツカミ、ミゾソバ、アオミズ、ケキツネノボタン、ハンゲショウ、タコノアシ、ノイバラ、ヤブマメ、ツルマメ、ツボスミレ、ノブドウ、ゴキツル、スズメウリ、アレチウリ、チョウジタデ、セリ、オヤブジラミ、ヌマトラノオ、ガガイモ、シロネ、イヌゴマ、クコ、ムシクサ、ユウガギク、オモダカ、コナギ、コウガイゼキショウ、クサイ、フトイ、ヨシ、オギ、マコモ、クサヨシ、ガマ、アゼナルコ、ウマズゲ、カサスゲ、ヤワラスゲ、ヤガミスゲ、ミコシガヤなどの草本類が生育している。

湿原周辺の丘陵地には、雑木林が発達しており、高木層には、クヌギ、コナラ、シラカシ、イヌシデ、エノキ、ヤマザクラ、ハリギリ、モミ、ヒノキ、スギなどが見られる。スダジイ・シラカシを優占種とする照葉樹林も見られる。低木層には、コブシ、ヒサカキ、チャノキ、ヤマコウバシ、シロダモ、ケカマツカ、ヤマハギ、サンショウ、ヌルデ、ヤマウルシ、イヌツゲ、マユミ、ゴンズイ、アオキ、ヤツデ、サワフタギ、ネ

ズミモチ、イボタノキ、ヒイラギ、テイカカズラ、ムラサキシキブ、クサギ、ヤマウグイスカグラ、ニワトコ、ガマズミなどが見られる。草本類には、メヤブマオ、ミズヒキ、ヤナギイノコズチ、サネカズラ、フタリシズカ、キンミズヒキ、クサボケ、クサイチゴ、ヌスビトハギ、タチツボスミレ、ヤブニンジン、マンリョウ、ヤブコウジ、キツネノマゴ、ハエドクソウ、ツリガネニンジン、ノコンギク、シラヤマギク、ノアザミ、ノハラアザミ、ヒヨドリバナ、ユウガギク、コウヤボウキ、ホウチャクソウ、チゴユリ、ヤマユリ、ヤブラン、ジャノヒゲ、アマドコロ、サルトリイバラ、ヤマジノホトトギス、ヤマノイモ、オニドコロ、ススキ、メダケ、ウラシマソウ、アオスゲなどが見られる。

菅生沼から 1.5km 西方に位置する中矢作自然環境保全地域には、シラカシ、アラカシ、スダジイ、ヤブツバキ、タブノキの常緑広葉樹からなる照葉樹林が残されており、下草には、ホソバシケシダ、ベニシダ、タニギキョウ、オオヒナノウスツボ、ジュウニヒトエ、イチヤクソウ、カシワバハグマ、ツクバトリカブト、サネカズラ、ヤブコウジなどの生育が見られる。

菅生沼とその周辺地域に生育する注目すべき植物としては、ミズワラビ、タチシノブ、ホシダ、スダジイ、タブノキ、ヌカボタデ、ホソバイスタデ、アオヒメタデ、ツクバトリカブト、ハンゲショウ、イチヤクソウ、ヒイラギ、フデリンドウ、コイヌガラシ、白花のクサフジ、アズマツメクサ、タコノアシ、クロツバラ、アリアケスミレ、ヒメスミレ、タチスミレ、ヒメミソハギ、ウスゲチョウジタデ、ハナムグラ、キミノニワトコ、イチヤクソウ、ミゾコウジュ、カワヂシャ、タニギキョウ、ホソバオグルマ、ワニグチソウ、ニガカシユウ、ヤガミスゲ、オニナルコスゲ、トネテンツキ、クロテンツキ、コアゼテンツキ、アイダクグ、カンエンガヤツリ、シロガヤツリがあげられる。

#### (5) さしま少年自然の家

さしま少年自然の家は、かつては人の手によって管理されていた里山の一部で、それを生かす形で諸施設がつけられている。さしま少年自然の家の雑木林は、アカマツ、コナラが優占種になっており、それにクヌギ、ウワミズザクラ、エノキ、ハンノキ、イヌシデなどが混ざって高木層をつくっている。その下層には、ケカマツカ、ヤマハギ、ネムノキ、アカメガシワ、ヌルデ、ヤマウルシ、アオハダ、ウメモドキ、ゴンズイ、ヒサカキ、ヤマツツジ、サワフタギ、ムラサキシキブ、ヤマウグイスカグラ、ニワトコ、ガマズミなどの低木

が生育している。

林内は下刈りが良く行われており、林床にはフユノハナワラビ、イヌワラビ、ドクダミ、メヤブマオ、ミズヒキ、ヒナタイノコズチ、キンミズヒキ、クサボケ、ヘビイチゴ、ミツバツチグリ、ナワシロイチゴ、ワレモコウ、タカトウダイ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、スミレ、ヌマトラノオ、コナスビ、アマチャヅル、リンドウ、フデリンドウ、ツクバキンモンソウ、ウツボグサ、ハエドクソウ、ノアザミ、ノハラアザミ、ヒヨドリバナ、ユウガギク、コウゾリナ、アキノキリンソウ、シラヤマギク、ホウチャクソウ、チゴユリ、ヤマユリ、ヒメヤブラン、ナルコユリ、アマドコロ、サルトリイバラ、ヤマジノホトトギス、スズメノヤリ、チヂミザサ、ミゾイチゴツナギ、アズマネザサ、カワラスゲ、ヒカゲスゲ、オオバノトンボソウ、ネジバナなどが見られる。

また、雑木林の林縁にはワラビ、イタドリ、キツネノマゴ、ヤエムグラ、ヘクソカズラ、アカネ、カラスウリ、カキドオシ、オオイヌノフグリ、ツリガネニンジン、ヨモギ、ハルジオン、ヒメジョオン、シロバナタンポポ、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、オニタビラコ、ノビル、アオカモジグサ、カモジグサ、カゼクサ、チカラシバ、チガヤなどが見られる。

さしま少年自然の家で注目すべき植物としては、フユノハナワラビ、リンドウ、フデリンドウ、シロバナタンポポ、オオバノトンボソウがあげられる。

#### (6) 志度谷津湿地 (坂東市沓掛)

東西方向と南北方向に細長くL字形に伸びた湿地で、沼、水湿地、水田からなっている。湿地の周辺部は、遊歩道になっていて、その上部の丘陵地には雑木林が発達している。

雑木林の高木層には、モミ、ヒノキ、コナラ、クヌギ、シラカシ、ハンノキ、イヌシデ、ウワミズザクラなどが見られる。低木層には、コブシ、ヤマコウバシ、シロダモ、ヤブツバキ、チャノキ、サンショウ、ニガキ、ヌルデ、アオハダ、ヒサカキ、マユミ、ゴンズイ、アオキ、ヤツデ、エゴノキ、トウネズミモチ、イボタノキ、ヤマウグイスカグラ、ニワトコ、ガマズミなどが見られる。草本層には、イヌワラビ、ミゾシダ、ミサキカグマ、ベニシダ、オオベニシダ、イノデ、ハシゴシダ、イヌシダ、フタリシズカ、ヤナギイノコズチ、ミズヒキ、キンミズヒキ、フユイチゴ、ヌスビトハギ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、マンリョウ、ヤブコウジ、ヘクソカズラ、シラヤマギク、ノブキ、

マムシグサ、ナルコユリ、サルトリイバラ、ヤブラン、ジャノヒゲ、チゴユリ、ヤマノイモ、アズマネザサ、チヂミザサ、ナキリスゲ、エナシヒゴクサ、オオバノトンボソウなどが見られる。

湿地には、アカメヤナギ、カワヤナギがヤナギ林をつくっており、沼や湿地には、フトイ、マコモ、ヨシ、クサヨシが草本群落をつくっている。湿地に生育するその他の草本類としては、アオミズ、ヤノネグサ、ボントクタデ、アキノウナギツカミ、ギシギシ、ノダアカバナ、ツボスミレ、シロネ、コシロネ、ショウブ、クサヨシなどがあげられる。

この地域に生育する注目すべき植物としては、ミズワラビ、ニシキシダ、オオベニシダ、ミサキカグマ、イヌショウマ、ニリンソウ、タコノアシ、フユイチゴ、ノダアカバナ、キツリフネ、カキツバタ、ノカンゾウ、コウホネ、オニスゲ、ギンランがあげられる。カキツバタ、コウホネについては、自生種かどうか不明である。

#### (7) 常総市鴻野山

東西方向に長さ1km弱にわたって水田、休耕地が細長く伸びている。その周辺部は高台になっていて、雑木林が広がっている。

雑木林には、高木層として、スギ、イヌシデ、シラカシ、コナラ、ムクノキなどがみられる。低木層として、コブシ、シロダモ、ヒサカキ、ケカマツカ、ヤマハゼ、ヌルデ、イヌツゲ、ガマズミ、アオキ、ミズキ、ヤツデ、ムラサキシキブ、クサギ、ヤマツツジ、トウネズミモチ、ウグイスカグラ、コマユミなどが生育している。草本層としては、カニクサ、ホシダ、ナガバヤブソテツ、ハシゴシダ、ミゾシダ、ベニシダ、オオベニシダ、フモトシケシダ、ミドリヒメワラビ、オオバノイノモトソウ、キツネノマゴ、シラヤマギク、チゴユリ、ヤブラン、ヤマジノホトトギスなどが生育している。

また、水田、休耕地には、ミズワラビ、オオイヌタデ、サナエタデ、ヤナギタデ、タコノアシ、ワタラセツリフネソウ、イヌコウジュ、アメリカタカサブロウ、アキノノゲシ、オモダカ、コナギ、ガマ、ヨシ、マコモ、エゾノサヤヌカグサなどが生育している。

この地域に生育する注目すべき植物としては、ミズワラビ、ナガバヤブソテツ、コハシゴシダ、フモトシケシダ、ホシダ、オオベニシダ、ヤマハゼ、フシグロセンノウ、ノダアカバナ、イヌショウマ、タコノアシ、ワタラセツリフネソウ、ミゾコウジュ、ナギナタコウ

ジュ、ヤブレガサ、カシワバハグマ、キッコウハグマ、タチシオデ、キツネノカミソリがあげられる。

## 2. 注目すべき植物

### (1) トネハナヤスリ (ハナヤスリ科)

関東地方の利根川水系の河川敷ヨシ原に 4-5 月に群生する多年草。高さ 5-25cm になり、幅広い栄養葉と孢子葉をそれぞれ 1 枚つける。コヒロハハナヤスリに似るが、本種は 6 月末に地上部が枯れてしまう点で異なる。取手市の利根川河川敷で発見された種で、県内では常総市の小貝川河川敷、常総市菅生町にも産地が知られている。調査地では、常総市新井木町の小貝川河川敷で生育を確認した。広範囲に生育しており、生育個体数も多い。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

### (2) ミズニラ (ミズニラ科)

水田や休耕田や池畔などの水湿地に生育する夏緑性のシダ植物。塊茎は 2-3cm、葉は多数叢生し、長さ 15-30cm、4 稜のある円柱状で中空、先は次第に細くなり尖る。葉の基部は広がり、内側に孢子囊がある。農薬の使用などにより、生育地が減少している。一時的には休耕田などに群生することがあるが、他種の侵入などによりすぐに消滅してしまう。北海道~九州に分布する。県内の水湿地に稀に分布している。調査地では、五霞町小福田・境町塚崎の水田、常総市本豊田の休耕田に生育していた。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

### (3) ミズワラビ (ミズワラビ科)

水田などの水湿地に生育する一年生のシダ植物。栄養葉は 2-3 回羽状深裂、三角状から長楕円形、長さ 10-15cm のものが多い。孢子葉は栄養葉より大きくなり、裂片の幅が狭くなる。夏から秋に見られ、稲刈り後の水田などで見つけやすい。本州(新潟県、関東地方以西)~琉球に分布し、茨城県が分布の北限地になっている。調査地では、五霞町小福田・境町塚崎・坂東市辺田・坂東市沓掛の志度谷津湿地・常総市菅生町の菅生沼・常総市坂手町・常総市豊岡町・常総市大生郷新田町・常総市鴻野山・常総市曲田・常総市上蛇町の水田、休耕田、水湿地で生育を確認した。調査地では生育地、生育個体数とも多く、水田などにごく普通に生育していた。茨城県希少種。

### (4) メヤブソテツ (オンダ科) (図2)

山地に稀に生じる常緑性のシダ植物。石灰岩地に生じることが多い。側羽片は 2-6 対、革質、卵状で鋭尖頭、基部は円形、前側または両側に耳状突起をつけ、辺縁には鋭い細鋸歯がある。包膜の辺縁は不規則な鋸歯縁となる。ヤマヤブソテツに似るが、羽片の数が少ないこと、羽片の耳状突起が大きく発達すること、羽片の辺縁に細鋸歯があることなどで区別される。本州(関東地方、中部地方南部、紀伊半島)~九州に分布する。調査地では、常総市坂手町の水海道ゴルフ場東側のスギ・ヒノキ混交林下に、ロゼット状に葉を広げて 1 個体生育していた。



図2. メヤブソテツ

### (5) コハシゴシダ (ヒメシダ科)

林縁などに生育する常緑性のシダ植物。ハシゴシダに似るが、コハシゴシダでは、葉が小さく、裂片の幅も狭く、羽片基部の上側の裂片が独立するので区別される。本州(新潟県、石川県、関東地方以西)~琉球に分布する。県内では、県中央部から県南部にかけて稀に分布する。茨城県は分布の北限地に近い。調査地では、坂東市桐木の陰湿なスギ林下と常総市鴻野山の雑木林の湿り気のある林縁に生育していた。どちらの生育地でも数個体が生育しているのみであった。茨城県希少種。

### (6) フモトシケシダ (イワデンダ科)

山地の腐食質の多い地上に生じる夏緑性のシダ植物。根茎は横走し黒色、径 1-1.5mm。葉柄は長さ 15-30cm、葉身は三角状、長さ 10-20cm、幅 7-10cm。裂片は長楕円形から三角状長楕円形。シケシダとは羽片が斜上せず真横に出るので区別され、ホソバシケシダとは葉身の基部が最も幅広くなり、包膜に毛が生えるので区別される。本州中部に分布する。県内では石岡市に生育が知られている。調査地では、坂東市沓掛の志度谷津湿地と常総市鴻野山の雑木林下と常総市坂手町の水海

道ゴルフ場東側のヒノキ・スギ混交林下に生育していた。

(7) ノダイオウ (タデ科)

平地の日当たりの良い湿地～過湿地に生える多年草。茎は壮大で、高さ 1m 以上になる。花期は 6~7 月。果実をとりまく花被片の中肋がふくれないのでダイオウの仲間と同定され、マダイオウより葉の幅が狭いので本種と同定される。北海道、本州に分布する。調査地では、常総市本豊田の小貝川河川敷のアカメヤナギ林下の水湿地に数 10 個体生育していた。環境省準絶滅危惧。

(8) ヌカボタデ (タデ科)

水湿地に生える 1 年草。茎は弱く、下部は分枝し、上部は直立し、高さ 20~40cm になる。葉は無柄で、葉身は長被針形、両端は鋭形。花期は、6~11 月、花は細長い総状花序で、淡紅色の花をまばらにつける。県内では、県西部の水湿地に稀に生育している。調査地では、五霞町大福田の利根川河川敷、常総市菅生町の菅生沼池畔、常総市本豊田・常総市曲田・常総市箕輪町の小貝川河川敷の水湿地に生育していた。五霞町大福田の利根川河川敷と常総市曲田の小貝川河川敷では多くの個体が生育していたが、他の生育地では個体数は少なかった。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(9) ホソバイヌタデ (タデ科)

湿地の草地などに生育する 1 年草。茎は高さ 30~50cm。葉は線形～被針形で先は細まり基部はくさび形、表面には短毛があり裏面には盤状の腺点が点在する。花期は 9~10 月。淡紅色の花を細い総状花序につける。萼裂片にもまばらに腺点がある。北海道、本州（関東地方）に分布する。県内の水湿地に稀に分布している。調査地では、五霞町大福田・境町上小橋・坂東市矢作の利根川河川敷、常総市菅生町の菅生沼池畔、常総市新石下の鬼怒川河川敷、常総市本豊田・常総市上蛇町の小貝川河川敷で生育を確認した。利根川河川敷と菅生沼池畔では広範囲にわたり、数多くの個体が生育していた。環境省準絶滅危惧。

(10) アオヒメタデ (タデ科)

河畔などの湿った場所に生育する一年草。葉は狭被針形～線形、葉は乾くと緑色で腺点はない。ヌカボタデに比べて葉は厚い。花期は 5~10 月。総状花序は円柱形で、緑白色の花を密につけ、直立し、長さ 1.2~2cm。淡紅色の花を咲かせるヒメタデに対して、緑白色の花

を咲かせるので、ヒメタデの品種として区別される。北海道～九州に分布する。調査地では、五霞町大福田の利根川河川敷、坂東市法師戸の菅生沼池畔の水湿地に生育していた。利根川河川敷では多くの個体を見ることができたが、飯沼川河畔では、個体数は少なかった。ヒメタデは、環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(11) フシグロセンノウ (ナデシコ科)

山地の湿った木陰に生える多年草。茎は高さ 50~100cm、上部で分枝し、節はふくれて黒褐色になる。葉は対生し、楕円状披針形または倒披針形、長さ 5~14cm、鋭尖頭、基部は次第に細くなり無柄または短柄、全縁。花期は 7~10 月、花は直径 4.5~6cm と大きく、朱赤色の鮮やかな花弁を 5 枚つけるのでよく目立つ。本州（青森県から山口県まで）～九州に分布する。県内の山地にはやや普通に分布しているが、県南西地区の平地林下ではほとんどみられない。調査地では、常総市鴻野山の陰湿な屋敷林下に生育していた。数個体のみの生育であった。

(12) イヌショウマ (キンポウゲ科)

山地や丘陵地のやや湿った林床に生育する多年草。葉はサラシナショウマ、オオバショウマに似るが、サラシナショウマでは 3 回 3 出複葉になり、オオバショウマでは 1 回 3 出複葉になるが、本種では 2 回 3 出複葉になるので区別される。8~9 月に花茎をのぼし穂状花序をつける。本州（関東地方から近畿地方）に分布し、茨城県が分布の北限地と考えられている。県北部では稀に、県中央部以南ではやや稀に生育している。調査地では、坂東市杓掛の志度谷津湿地の雑木林の林縁と常総市鴻野山の雑木林の林縁に生育していた。どちらもやや薄暗い場所であった。茨城県希少種。

(13) ヒキノカサ (キンポウゲ科)

日当たりの良い湿った草地に生える小型の多年草。茎は高さ 10~30cm、根出葉は長柄があり、葉身は広卵形または腎円形で、掌状に 3~5 裂する。花期は 4 月、黄色で光沢のある花弁を 5 枚つける。花をヒキガエルの傘に見立てて名がつけられている。本州（福島県以南）～九州に分布する。県内では、県南西部の河川湿地に稀に生育している。調査地では、常総市新井木町の小貝川河川敷で生育を確認した。日当たりの良い場所に点々と生育していたが生育個体数は少ない。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県危急種。

## (14) ノカラムツ (キンポウゲ科)

日当たりの良い草地に生える多年草。茎は60~120cmで鋭い稜があり分枝しない。花序は細い円錐状で、5~8月に黄緑色の花を多数つける。アキカラムツに似るが、小葉が細長くなり、茎に鋭い稜があることで区別される。本州（東北地方南部以南）~九州に点在する。県内では、県南西部の河川敷湿地に生育する。調査地では、境町上小橋の利根川河川敷と常総市の小貝川河川敷で生育を確認した。小貝川河川敷では諸所に普通に生育しており、生育個体数も多い。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

## (15) コウモリカズラ (ツヅラフジ科)

落葉樹林の林縁に生える落葉のつる性木本植物。葉は腎円形で浅く5~9裂し、基部は浅心形~切形。葉柄は葉身に楕状につく。雌雄異株。花期は5~6月、円錐花序に淡緑色の花を多数つける。北海道~九州に分布している。県内では、県北、県西地区に稀に生育している。調査地では、常総市本豊田の小貝川河川敷に生育していた。生育は一か所のみで、河畔林下とその林縁に生育していた。生育個体数は少ない。茨城県危急種。

## (16) アゼオトギリ (オトギリソウ科) (図3)



図3. アゼオトギリ

低地の田畦や湿地に生育する多年草。草丈10~40cm、茎は数本叢生しよく分枝する。葉は、狭楕円形、長楕円形または卵状長楕円形、基部は無柄で多少茎を抱く。明点が密にあり、縁には黒点が密に並ぶ。花期は7~8月、花弁は黄色で径7~10cm。サワオトギリに似るが、サワオトギリでは葉の基部が細まりごく短い柄があるので区別される。本州~九州に分布している。県内では小貝川流域の向陽地に生育が知られている。調査地では、常総市箕輪町の小貝川河川敷で確認され、3か所に数個体ずつ生育していた。オギの生い茂った中に生

育していたために、徒長した個体になっていた。環境省絶滅危惧I B類。茨城県危急種。

## (17) コイヌガラシ (アブラナ科)

河岸、休耕田、畦などの水湿地に生育する一年草または越年草。草丈10~40cm。花期は4~5月。短い柄がある黄色花を腋生する。イヌガラシ、スカシタゴボウに似た植物であるが、植物体や葉が小さく、花が1個ずつ腋生する点で区別される。本州（関東以西）~九州に分布。県内では、県南、県西地域の水湿地に生育している。調査地では、境町塚崎の休耕田、坂東市矢作の利根川河川敷、常総市菅生町の菅生沼池畔、常総市豊岡町の鬼怒川河川敷、常総市本豊田・常総市東町・常総市箕輪町の小貝川河川敷で生育を確認した。どの産地でも生育個体数は多かった。環境省準絶滅危惧。

## (18) アズマツメクサ (ベンケイソウ科)

水田や海浜泥地に生える一年草。高さ2~5cm。茎は基部で分枝し、束生する。葉は、線状披針形で鋭頭、長さ5mm、幅1mm。花期は4~8月。茎の上部葉腋に無柄の小花を単生する。北海道、本州に分布する。県内では、常総市菅生町の菅生沼と牛久市城中町で生育が知られている。調査地では、常総市菅生町の菅生沼池畔の泥地、常総市本豊田の休耕田で生育を確認した。常総市本豊田の休耕田には数多くの個体が生育していた。環境省準絶滅危惧。

## (19) タコノアシ (ユキノシタ科)

河川敷、湖沼、休耕田などの日当たりのよい泥湿地に生える多年草。茎は30~80cmで、直立して分枝せず淡紅色を帯びる。花期は8~10月で、花序の枝が分枝し、そこに多数の花が並び付く様子が、吸盤の付いたタコの足のように見えるところからこの名がある。本州~奄美大島に分布。県内では、県央地域、県南・県西地域に産地が知られている。今回の調査では、坂東市法師戸町・常総市菅生町の菅生沼池畔、常総市豊岡町の鬼怒川河川敷、常総市本豊田・常総市箕輪町・常総市水海道淵頭町の小貝川河川敷、坂東市沓掛の志度谷津湿地、坂東市逆井・常総市鴻野山・常総市上蛇町の休耕田で生育を確認した。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

## (20) ナガボノシロワレモコウ (バラ科)

湿地に生える多年草。花期は8~10月。茎は高さ80~130cmで先端に長さ2~8cmの白色の花穂をつける。

根出葉は、羽状になり 11~15 個の小葉からなる。小葉は、ワレモコウに比べて細長くなる。北海道, 本州 (東北, 関東地方) に分布する。県内では、県南西部の水湿地に稀に見られる。調査地では、常総市曲田・常総市新井木町・常総市水海道沢頭町の小貝川河川敷 3 か所で生育を確認した。いずれの産地でも生育個体数は少なかった。茨城県希少種。

(21) ナガボノアカワレモコウ (バラ科)

山地から丘陵地, 平地の湿地, 草地に生える多年草。高さ 1~1.5m。葉は奇数羽状複葉。花期は 9 月で茎の頂に長さ 8~9cm, 幅 1cm の紅紫色の花を咲かせる。ワレモコウと比べて、花穂が鮮やかな紅色で長く、おしべが萼より長くなるので区別される。北海道~九州に分布する。県内では、県南部の水湿地に生育が知られている。調査地では、常総市上蛇町の小貝川河川敷に数個体生育していた。茨城県危急種。

(22) ノウルシ (トウダイグサ科)

日当たりの良い河川敷, 湖畔などの湿地に生える多年草。草丈 30cm 前後で、茎頂には 5 枚の葉を散状に付け、その葉腋から散形枝を出し、杯状花序を付ける。花期は 4~5 月。花とともに包葉も黄色でよく目立ち、花のように見える。県内では、県南西地区の水湿地にやや普通に見られる。調査地では、常総市の小貝川河川敷の諸所にごく普通に生育しており、生育個体数も多い。環境省準絶滅危惧。

(23) ワタラセツリフネソウ (ツリフネソウ科) (図 4)



図 4. ワタラセツリフネソウ

低地の水湿地に生育する多年草。大和田真澄氏によって渡良瀬遊水池で発見され、2005 年新種として発表された種である。花期は 9~10 月。ツリフネソウと比べて、小花弁の先が伸びないこと、種子表面の突起がはっきりした円状模様にならないことなどで区別される。

調査地では、常総市鴻野山の休耕田に広範囲にわたって生育しており、生育個体数も多かった。渡良瀬遊水池の個体は、花弁の内側の特徴から 4 タイプに分けられているが、ここでの個体はすべて花弁の内側が白・斑点型のものであった。

(24) ヤマハゼ (ウルシ科)

高さ 5~6m の落葉小高木。葉は奇数羽状複葉で 9~11 枚の小葉からなる。小葉は卵状長楕円形、先は鋭くとがり、基部は鋭形で長さ 1~2mm の小葉柄があり、長さ 4~13cm, 幅 2~5cm。果実に毛がないのでヤマウルシと区別され、成葉の葉裏に毛があるのでハゼノキと区別される。本州 (関東以西) ~九州に分布する。県内では、霞ヶ浦周辺地域に分布が知られている。調査地では、常総市鴻野山の水田の周りのシラカシ林・雑木林の林縁に生育しており、生育個体数も多い。常総市鴻野山は分布の北限地に近いものと思われる。

(25) クロツバラ (クロウメドキ科)

平野部の湿地や小河川の縁などに生育し高さ 4~5m になる雌雄異株の落葉低木。長枝の先は刺になる。葉は狭長楕円形または線状長楕円形で急尖頭、長さ 5~12cm, 幅 2~4cm, 細かな鈍鋸歯があり、側脈は 4~5 対、脈は鋭角に出て上へ向かう。花期は 5~6 月。花は若い枝の下方の葉腋に束生し、雄花は多数つく。クロウメドキに似るが葉が大きいなどの特徴で区別される。本州 (中部以北) に分布する。調査地では、坂東市下出島の江川河畔に高さ 4m ほどの個体が 2 個体生育していた。

(26) アリアケスミレ (スミレ科)

水湿地に生える高さ 10~15cm の多年草。葉は数枚束生し線状披針形。葉柄は葉身と同長か短く、狭い翼がある。葉の形質はややスミレに似る。花期は 4 月で径 2.5cm, 白色で側弁・唇弁に紫条がある花を咲かせる。県内では、県南西部の水湿地に生育が知られている。調査地では、坂東市筵内・坂東市矢作の利根川河川敷、常総市菅生町・坂東市。法師戸の飯沼川河畔、常総市坂手町のきぬ総合運動公園、常総市兵町・常総市新井木町の小貝川河川敷で生育を確認した。どの生育地でもやや多くの個体が生育していた。茨城県危急種。

(27) ヒメスミレ (スミレ科)

人里近くの日当たりの良い場所に生える多年生の小形のスミレ。人里近くの、時には舗装道路わきにも生

えるところから、帰化植物とも考えられている。長さ4~8cmの葉を束生する。葉身は三角状披針形で、深緑色、葉柄とほぼ同長、葉柄の翼はほとんど無い。4月、花柄の先に1~1.5cmの濃紫色の花を付ける。側弁には毛が生える。本州~九州に分布する。県内では、県南部の山地、平地に稀に分布する。調査地では、常総市菅生町と坂東市法師戸の飯沼川沿いの堤防と常総市坂手町のきぬ運動公園の芝地に生育していた。いずれの産地でも生育個体数は多かった。茨城県危急種。

#### (28) タチスミレ (スミレ科)

低湿地のヨシの間などに生える多年草。ヨシ原では花期に草丈70~80cmにもなる。花期は5月。径1cmくらいの白色花をつける。3角状披針形の葉身を持つ細長い葉と、葉状の大きな托葉を持つので他種と容易に区別される。本州(東北地方中部より関東地方、中部地方の一部)、九州南部に分布する。県内では、利根川、菅生沼、小貝川の河川敷に稀に分布している。調査地では、常総市中里町・常総市菅生町の菅生沼池畔と常総市水海道淵頭町の小貝川河川敷で生育を確認した。常総市菅生町の菅生沼ヨシ原では春先の野焼きによって保護されており、多くの個体が生育していた。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

#### (29) ミズマツバ (ミソハギ科)

水田や湿地に生える高さ5~10cmの一年草。茎は根元から分枝し、束生する。葉は、長さ5~10mmの線形で3~4個輪生する。茎葉の外観がマツバボタンに似るところからこの名がある。花期は8~10月、淡紅色の小さな花を葉腋に単生する。本州~琉球に分布する。県内では、水田などの水湿地にやや稀に生育している。調査地では、境町塚崎・坂東市沓掛・常総市曲田・常総市上蛇町の水田に生育していた。いずれの産地でも生育個体数は少ない。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県希少種。

#### (30) ヒメミソハギ (ミソハギ科)

水田や湿地に生える一年草。高さ10~30cm、茎はよく分枝する。葉は広線形で対生し、基部でやや広くなり、やや茎を抱く。葉腋に多数の花を咲かせ、花後に直径2mmの小さな赤色のザクロの実のような果実をつける。外来種のホソバヒメミソハギは、草丈が大きく、葉が幅が狭くなるので区別できる。本州~琉球に分布している。県内では水湿地に稀な分布をしている。調査地では、境町塚崎・坂東市矢作・常総市上蛇町・常総市本豊田・常総市曲田の水田に生育していた。ホソ

バヒメミソハギに比べれば、生育場所・生育個体数とも少ない。茨城県希少種。

#### (31) ウスゲチヨウジタデ (アカバナ科)

水田や湿地に生える一年草。花期は8~10月。チヨウジタデに比べて、植物体に毛が多く、葉は細長く大きくなり、萼裂片も花も大きくなる。花期には黄色の花弁は大型になり目立つ。また茎や葉柄が緑色なので、赤味を帯びるチヨウジタデに対して区別できる。県内水湿地に稀に分布している。調査地では、常総市菅生町の菅生沼池畔の水湿地に生育していた。環境省準絶滅危惧。

#### (32) エキサイゼリ (セリ科)

河川敷などの湿地に生える多年草。茎は高さ10~30cmになる。春先に単羽状の葉をロゼット状に広げているところはセリに似るが、セリの葉は2回3出複葉なので区別できる。4月から5月上旬に白色の小花をやや不揃いな複散形花序につける。県内では、旧東村、結城市、古河市、水海道市に生育が知られている。調査地では、常総市箕輪町から常総市新井木町にかけての小貝川河川敷に点々と生育していた。常総市新井木町の小貝川河川敷にはやや多くの個体が生育していた。環境省準絶滅危惧。茨城県絶滅危惧種。

#### (33) シムラニンジン (セリ科)

湿原に生える多年草。茎は80~120cmになる。葉は1~2回3出羽状単葉で小葉は細長い。花は、8~9月枝先に白色の小花を複散形花序につける。本州(関東地方)、九州北部に分布する。県内では、常総市の小貝川河川敷に生育が知られている。調査地では、常総市新井木町の小貝川河川敷で生育を確認した。ヨシ原内に点々と生育しているが、生育個体数は少ない。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

#### (34) ガガブタ (ミツガシワ科)

湖沼や溜め池に群生する多年生の浮葉植物。茎は長く1~3枚の葉をつける。葉は卵状円形で径7~20cm。葉柄は長さ1~2cmで基部はやや耳状になり花序の基部を抱く。花期は7~9月。花は白色で、5裂片に分かれ、裂片全体に白長毛がある。本州~九州に分布する。県内では霞ヶ浦周辺に生育が知られている。調査地では、常総市上蛇町の吉野釣公園に生育していた。湖岸に数多くの個体が生育していた。環境省準絶滅危惧。茨城県危急種。

(35) ヒメシロアサザ (ミツガシワ科) (図5)

日当たりの良い沼や湖, 水田などに生える浮葉性の多年生または1年生の水草。葉は水面に浮かび, 卵心形〜円心形, 径2~6cm。花期は7~10月。花は白色で径5mm, 裂片は4~5裂し縁に毛がある。ガガブタに似るが, 殖芽をつくらず, 葉も花も小さく, 花冠裂片は縁だけに毛があるので区別される。本州〜沖縄に分布する。調査地では, 境町塚崎の離れた水田3か所で生育を確認した。このうちの2か所では, 多くの個体が生育していた。花冠裂片が4裂するものと5裂するものがあった。花後よく結実し, 実からの発芽も良い。この産地での生育個体は, 一年生の実生個体のように思われる。環境省絶滅危惧Ⅱ類。



図5. ヒメシロアサザ

(36) チョウジソウ (キョウチクトウ科)

河川敷のやや湿った草地に生える多年草。茎は直立し, 40~80cm。葉は披針形で先は鋭くとがる。5~6月, 青藍色の花を茎頂に集散状に付ける。県内では, 菅生沼池畔, 小貝川河川敷に生育が知られている。調査地では, 常総市豊田・常総市本豊田・常総市大崎町・常総市上蛇町・常総市新井木町・常総市水海道湊頭町の小貝川の河川敷林下の草地で生育を確認した。いずれの産地でも生育個体数は多い。環境省準絶滅危惧。茨城県危急種。

(37) ハナムグラ (アカネ科)

川岸の湿った草地に生える多年草。ヤエムグラに近い種であるが, 葉が幅広く, 先に棘が無くややへこみ, 葉は6枚輪生し, 果実が無毛で, 花期には白い花が目立つので区別がつく。県内では, 県南西部の湿った原野に生育している。調査地では, 境町上小橋の利根川河川敷のアカメヤナギ林下, 常総市菅生町の菅生沼池畔, 常総市の小貝川河川敷に生育していた。常総市の小貝川河川敷では, 諸所に普通に生育しており生育個

体数も多い。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県希少種。

(38) ミゾコウジュ (シソ科)

河川敷, 水田の畦, 溝のふちなどの水湿地に生育する越年草。冬はロゼット葉で越冬する。葉面に細かいしわがあり, 5~6月に枝先に淡紫色の唇形の小さな花を多数付ける。本州, 四国, 九州, 沖縄に分布する。県内では, 県南, 県西部地区の水湿地にやや普通に見られる。調査地では, 五霞町大福田・坂東市矢作の利根川河川敷, 坂東市下出島・常総市菅生町の菅生沼池畔, 常総市本石下・常総市豊岡町の鬼怒川河川敷, 常総市鴻野山・常総市本豊田の休耕田, 常総市の小貝川河川敷の諸所で生育を確認した。どの産地でも, 生育個体数は多い。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

(39) ゴマノハグサ (ゴマノハグサ科)

河川敷などのやや湿った草原に生える多年草。茎は直立し高さ90~150cmで四角に角ばる。葉は対生し葉身は卵形でややオオヒナノウスツボに似るが, オオヒナノウスツボの葉表が深緑色なのに対して本種は淡緑色なので区別される。花期は7~8月。茎の先に20~40cmの細長い総状花序をつくり淡緑色の花を咲かせる。葉にゴマの葉の臭気がある。調査地では, 常総市新井木町・常総市水海道湊頭町の小貝川河川敷に生育していた。両生育地とも生育個体数は少ない。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(40) キタミソウ (ゴマノハグサ科) (図6)



図6. キタミソウ

水辺の泥中に生育する小さな多年草。葉はロゼット状になり, 長さ1.5~5cm。長い葉柄の先にへら形から線形の葉身をつける。花期は, 6~10月。白色で長さ2.5mmの小さな花をつける。北海道の水湿地, 埼玉県越谷, 熊本県江津湖に生育が知られている。茨城県常総市東町の小貝川の福岡大堰上流部でも生育が確認されてい

る。小貝川の福岡大堰上流部では、9月以降に堰の水門が開けられて上流部の土壌が露出すると生育を始め、10月下旬以降に開花し冬季まで開花している。オオオナモミが侵入しない水辺の水湿地に、広範囲にわたって多くの個体を見ることができる。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(41) カワヂシャ (ゴマノハグサ科)

河岸、溝のふちなどの日当たりの良い水湿地に生育する越年草。花期は4~6月。外来種のオオカワヂシャに似るが、花が淡紅色で小さいこと、小花柄がまっすぐ伸びること、葉の縁に明瞭な鋸歯があることなどで区別される。本州(中部以西)、四国、九州、沖縄に分布。県内では、県南、県西地域の水湿地に見られる。調査地では、五霞町大福田・坂東市矢作の利根川河岸、常総市菅生町の菅生沼畔、常総市本石下・常総市豊岡町の鬼怒川河岸、常総市箕輪町・常総市兵町の小貝川河岸で生育を確認した。どの産地でも、やや多くの個体が生育していた。利根川河岸、鬼怒川河岸ではオオカワヂシャと混生していた。環境省準絶滅危惧。

(42) バアソブ (キキョウ科)

山地の林下に生える稀な多年性つる草。ツルニンジンに似るが、全体に小型で、葉の裏面に白毛が密生し、花冠は小さく、萼裂片は長さ1.5cmになる。花期は8~10月で釣り鐘状の花を咲かせる。北海道~九州に分布する。県内では、県西部の水湿地に稀に見られる。調査地では、常総市新井木町・常総市水海道湊頭町の小貝川河川敷の河畔林下に生育していた。生育個体数は数個体のみであった。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

(43) ホソバオグルマ (キク科) (図7)



図7. ホソバオグルマ

日当たりの良い湿地に生える多年草。高さ20~60cm、葉は線形~線状被針形で、幅6~10mm。花期は7~9月。茎の先に数個の頭花を開かせる。頭花は径18~25mm。オグルマと比べて、葉の幅が狭く、頭花が小さいのでオグルマの変種として区別される。調査地では、常総市菅生町の菅生沼池畔と坂東市法師戸の飯沼川河畔に生育していた。どちらの産地でも生育個体数は少なかった。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

(44) フジバカマ (キク科)

河川敷や川の堤防などの草地に生える多年草。花期は8~9月、枝の先に多数の頭花を散房状につける。ヒヨドリバナに似るが、葉が厚く、光沢があり、裏面に腺点が無く、3深裂するので区別される。乾燥するとクマリンの芳香がある。本州(関東地方以西)~九州に分布。水戸市が分布の北限地になっている。今回の調査地では、常総市相野谷町・常総市沖新田町・常総市川崎町の八間堀川堤防と常総市豊田・常総市本豊田・常総市曲田・常総市大崎町・常総市新井木町・常総市水海道市湊頭町の小貝川河畔林下の草地で生育を確認した。八間堀川堤防では、広範囲にわたって群生して生育していた。環境省準絶滅危惧。茨城県急危種。

(45) タカアザミ・シロバナタカアザミ (キク科)

河川や湖沼の水湿地・堤防などに生える越年草。茎は高さ1~2m。根出葉は、楕円形、長さ55~60cm、幅20~30cm、羽状に中裂し裂片は4~7対になる。根出葉は、ロゼット状になるが、花時には枯れる。頭花は長柄の先にぶら下がって咲き、径2.5~3.5cm、総苞外片は短く反り返る。タカアザミでは、花期が9~10月で、花色が紅紫色なのに対して、シロバナタカアザミでは、花期が6月で、花色が白色になる。シロバナタカアザミはタカアザミの白花品種(アルビノ)とされているが、2種は花色だけでなく生育期間や花期でも大きく異なり、タカアザミの花期にはシロバナタカアザミは枯れてしまっている。北海道、本州(長野県以北)に分布する。県内では、県南西部の水湿地に分布する。調査地では、タカアザミは、五霞町大福田の利根川河川敷、五霞町元栗橋の香取神社、常総市新井木町の小貝川河川敷に生育していた。シロバナタカアザミは、五霞町大福田の利根川河川敷、常総市菅生町の菅生沼池畔、常総市本豊田・常総市新井木町の小貝川河川敷に生育していた。

(46) オオミズオオバコ (トチカガミ科)

水田や溝に生える沈水生の一年生水草。葉は根生し葉身は広被針形で縁に波形のしわがある。花期は 8~10 月, 水上に両性花を咲かせる。花弁は円形で 3 個のうち紅色の花弁を付ける。本州~九州の温帯・暖帯に分布する。農薬の使用や水質の富栄養化などによる水質汚染により生育地が減少しており, 県内の生育地も減少している。調査地では, 境町塚崎の農業用排水路に生育していた。水路内に広範囲にわたって点々と生育していた。葉が長さ 50cm を越え, 葉脈が 9 本あるものがあり, 雄蕊が 6 本あったのでオオミズオオバコとした。ミズオオバコは, 環境省絶滅危惧 II 類。

(47) コウガイモ (ヒルムシロ科)

池や小川に生える沈水生の多年草。葉は根生し線形, 鈍頭, 扁平, 長さ 8cm, 幅 8~10mm。縁に著しい細歯牙または剛毛がある。花は 8~10 月。花茎は細長く, 花を水上に浮かべる。セキショウモに似るが葉縁には明瞭な棘状の突起があり, 走出枝の表面には多数の小さな刺があるので区別される。本州に分布する。かつては県内の水湿地にやや普通に見られたが, 水質の汚染などにより生育地が減少している。調査地では, 境町塚崎の宮戸川と境町塚崎の農業用排水路の 2 か所に生育していた。宮戸川では, 生育個体数は多かった。

(48) ヒメアマナ (ユリ科)

湿った原野に稀に生える多年草。鱗茎は広卵形で長さ 8~15mm。根出葉は 1 枚で長さ 10~20cm, 幅 2mm。花茎は高さ 8~15cm で 2 枚の包葉をつける。花期は 3~4 月。黄色の花を数個付ける。北海道~九州に分布する。県内では小貝川河川敷のみに生育が知られている。調査地では, 常総市水海道湊頭町の小貝川河川敷に生育していた。環境省絶滅危惧 I B 類。茨城県絶滅危惧種。

(49) アマナ (ユリ科)

原野に生える多年草。外皮鱗茎は, 広卵形で, 長さ 3~4cm。2 枚の葉は線形で長さ 15~25cm, 幅 5~10mm, 先は次第に細くなる。花期は 4~5 月で花被片は 6 個。春型植物で, 果後地上部は無くなってしまふ。本州 (福島県以南西南, 石川県以西), 四国, 九州, 奄美大島に分布する。県内では, 県北部, 県南部の草原にやや稀に見られる。調査地では, 小貝川河川敷の河畔林下の諸所に普通に生育しており, 生育個体数も多い。茨城県希少種。

(50) ワニグチソウ (ユリ科)

山地の林下に生える多年草。茎は高さ 20~40cm, 葉は卵状楕円形で長さ 5~10cm, 裏面はやや粉白色を帯びる。花期は 5~6 月, 葉腋から下垂する花柄の先に苞がつきその内側に 2 個の花がつく。植物体は小形のアマドコロのように見える。北海道西南部~九州に分布している。県内では, 大子町, 吾国山, 難台山, 常総市, 牛久市, 阿見町に生育が知られている。調査地では, 坂東市下出島の雑木林下に生育していた。生育個体数は数個体のみであった。

(51) ニガカシウ (ヤマノイモ科)

水湿地の林縁などに生える多年生のつる植物。オンドコロに似るが, 地下に偏球形の球根があり多くのひげ根が出ることで, 葉腋にムカゴができること, 葉脈のくぼみが顕著であること, 葉柄の付け根付近がひだ状になることなどの特徴で区別される。雌雄異株植物で花期は 8~9 月。本州 (関東地方以西) ~琉球に分布する。県内では, 県南西部の水湿地数か所に分布が知られている。調査地では, 境町上小橋・境町塚崎の利根川河川敷のアカメヤナギ林縁, 常総市大塚戸町・常総市菅生町の菅生沼池畔の雑木林縁, 常総市菅生町の雑木林縁, 常総市本石下の鬼怒川河川敷 (十一面山) の雑木林縁で生育を確認した。いずれの産地でも多くの個体が生育していた。茨城県希少種。

(52) イヌアワ (イネ科)

暖地の林縁や藪などに生じる多年草。厚い鱗片に覆われた長い根茎を伸ばす。桿は高さ 50~80cm, 葉身は長さ 20~40cm, 幅 5~15mm, 縁がざらつく。花期は 8~10 月, 全体の輪郭が線形となる円錐花序, 間に刺毛が混じるまばらな小穂を付ける。本州 (山形県および関東以西) ~九州に分布する。県内ではやや稀な分布をしている。調査地では, 常総市本石下の鬼怒川河川敷 (十一面山) に生育していた。生育個体数は多い。

(53) ウキシバ (イネ科)

水湿地や静水中に生える多年草。桿は水上を伸びて浮かび, 上方は斜上する。陸上に生育するものはギョウウキシバに似た姿になる。花期は 8 月, 花序は基部が頂の葉鞘中にあり長さ 15~25mm の中軸から 15~30 本の枝を出す。本州~九州に分布する。県内では土浦市に生育が知られている。調査地では, 五霞町大福田の利根川河川敷に生育していた。送電線鉄塔の下の湿地で, 下刈りが行われている場所であった。茨城県希少種。

## (54) マイヅルテンナンショウ (サトイモ科) (図8)

河川敷などの水湿地の草地に生育する多年草。葉は、鳥足状に13~21個の小葉を付ける。花期は5~6月。葉の上部に緑色の仏焰包をつける。仏焰包と葉の形が羽を広げて飛ぶツルに見立ててこの名がある。本州(岩手県から岡山県まで点在)~九州に分布する。県内では、常総市、つくば市の小貝川河川敷に稀に見られる。調査地では、常総市豊田・常総市本豊田・常総市上蛇町・常総市新井木町・常総市水海道湊頭町の小貝川河川敷で生育を確認した。エノキ・クヌギ・アカメヤナギなどの河川敷林下の草地に生育していた。常総市新井木町では、やや多くの個体を見ることができた。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。



図8. マイヅルテンナンショウ

## (55) ヌマアゼスゲ (カヤツリグサ科)

低地の湖畔や河畔の湿地に生育する多年草。桿の高さ60cm, 匍匐枝を出す。葉は幅2~3mm。小穂は桿の上方に3~4個やや接近してつく。頂小穂は雄性で線形、その下方にほうの葉鞘から雌小穂が2~3個つく。本州(東北地方、関東地方)の低湿地に分布している。県内では、県南部に生育が知られている。調査地では、五霞町大福田の利根川河川敷に生育していた。アゼスゲに似るが、果胞が幅広いこと、果胞に嘴が無いこと、鱗片が果胞より短いことなどの特徴で本種と同定した。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県希少種。

## (56) セイタカハリイ (カヤツリグサ科)

低地帯の日当たりの良い湿った草地に生える多年草。茎は叢生し、高さ30~40cm。6~9月に桿の先に広卵形の小穂を1個つける。チョウセンハリイに似るが、チョウセンハリイでは、小穂が細長く、刺針状花被片の小刺が疎らになるので区別できる。本州~沖縄に生育する。県内では水湿地に稀に分布している。調査地では、常総市曲田・常総市上蛇町の小貝川河川敷の水湿地に

生育していた。両地域とも下刈りが行われ、ヨシ・オギ原への遷移が押さえられている。常総市曲田の小貝川河川敷では生育個体数は多かった。

## (57) コツブヌマハリイ (カヤツリグサ科)

河畔や湖畔の湿地に生える多年草。細長い走出枝から細い円柱状の桿を出す。桿は高さ30~50cm, 桿の頂部に小穂を1個つける。花期は6~8月。オオヌマハリイに似るが、桿が細いこと、鱗片の先がやや尖ること、果が小さいことなどで区別される。本州(東北地方、関東地方)に分布する。県内では県南西部の湿地に生育が知られている。調査地では、常総市曲田の小貝川河川敷に生育していた。生育地はラジコン飛行機の発着陸基地になっており、下刈りが行われていて土壌が露出している湿地であった。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

## (58) トネテンツキ (カヤツリグサ科)

低地の河畔や湿地に生育する一年草。桿は高さ15~25cm, 花期は7~10月。柱頭は赤褐色で長く伸び花後も脱落しないで残るので、小穂に赤褐色の毛が生えているように見える。最初に利根川流域で発見された植物で、本州(関東地方、近畿地方)に分布する。県内では、利根川畔、菅生沼に分布が知られている。調査地では、常総市菅生町の菅生沼池畔と常総市東町の小貝川福岡大堰上流部で生育を確認した。菅生沼池畔では生育個体数は少なかった。福岡大堰上流部では、9月中旬以降に堰の水門が開けられるが、その水門上流部にできる露出土壤にオオオナモミ、メアゼテンツキなどとともに生育していた。発芽成長する時期が遅いため小個体であったが、個体数は多かった。環境省絶滅危惧Ⅱ類。茨城県絶滅危惧種。

## (59) アオテンツキ (カヤツリグサ科)

低地の湿地や干上がった溜め池などに生じる一年草。桿は叢生し、高さ10~15cm。花期は7~9月、花序は数回分枝して多数の小穂をつける。小穂は卵円形で緑色、密に多数の小花からなる。果実は縁に棍棒状の突起を持つ。本州~九州に生育する。県内では県南西部の湿地に稀に見られる。調査地での生育地は、常総市東町の小貝川福岡大堰上流部で、9月に水門が開けられてでき土壌露出部に生育していた。生育個体数は少ない。

## (60) コアゼテンツキ (カヤツリグサ科)

水田の畦や河川敷などの水湿地に生育する一年草。

桿は叢生し, 高さ 10~20cm. 葉や鞘は有毛. 花期は 8~10 月. 小穂は被針形でさび色を帯び 4~10mm. 鱗片の先は凸頭で外曲せず, 花柱の基部に長毛が生じない. アゼテンツキ, メアゼテンツキに似るが, アゼテンツキ・メアゼテンツキでは花柱の基部に長毛が生じること, アゼテンツキでは鱗片の先が長いぼうになり外曲することなどで区別される. 本州にやや稀に生育する. 県内では県西部の水湿地に稀に分布している. 調査地では, 常総市菅生町の菅生沼池畔, 常総市豊岡町の休耕田に生育していた.

(61) アイダクグ (カヤツリグサ科)

水田の畦や河川敷などの水湿地に生育する多年草. 桿は高さ 10~20cm, 花期は 7~10 月, 桿の頂部に多数の小穂が集まって球状の花序をつくる. ヒメクグに似るが, 鱗片の竜骨に小刺があるので区別される. 本州 (関東地方以西) ~琉球に分布する. 県内では, 県南西部の水湿地に稀に分布している. 調査地では, 五霞町大福田の利根川河川敷, 常総市菅生町の菅生沼池畔, 常総市鴻野山の休耕田, 常総市箕輪町の小貝川河川敷で生育を確認した. 小穂の鱗片の竜骨に小刺があるものとないものが混じる個体もあった.

(62) カンエンガヤツリ (カヤツリグサ科)

湖沼畔や河畔などの水湿地に生育する大型の 1 年草. 茎は叢生し, 高さ 80~120cm. 花期は 9~10 月, 茎の先に大型の散形花序を付ける. 県内水湿地に稀に分布している. 調査地では, 境町塚崎の休耕田と常総市菅生町の菅生沼池畔に生育していた. 菅生沼では, 沼周辺の改修工事跡地を中心に広範囲に群生していた. 工事に伴う土壌かく乱で埋土種子が発芽したためと思われる. 環境省絶滅危惧Ⅱ類. 茨城県危急種.

(63) シロガヤツリ (カヤツリグサ科)

水田や池沼の岸辺などの水湿地に生育する一年草. 桿は叢生し高さ 10~25cm, 花期は 7~10 月, 桿の頂部に小穂が集合し三角状になり白色を帯びる. 小穂はねじれて密につく. 果実は長楕円形で, 縁に狭い翼がある. アオガヤツリに似るが, 瘦果の形, 球形花序の形と色などの特徴で区別される. 北海道, 本州 (近畿地方以东) に分布する. 県内水湿地に稀に分布している. 調査地では, 境町塚崎・坂東市矢作・常総市菅生町の水田, 常総市菅生町の菅生沼池畔, 常総市豊岡町の休耕田で生育を確認した.

参考及び引用文献

- 茨城県環境保全課. 1997. 茨城県における絶滅のおそれのある野生生物 (植物編). 253 pp., 茨城県環境保全課.
- 飯田勝明・中山静郎・小幡和男・櫻井稔郎・廣瀬孝久・太田俊彦・五木田悦郎. 2000. 鬼怒川河川敷の植物相について. 茨城県自然博物館研究報告, (3): 53-66.
- 岩槻邦夫 (編). 1992. 日本の野生植物シダ. 311 pp., 平凡社
- 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 178 pp., 文一総合出版
- 勝山輝男. 2005. ネイチャーガイド 日本のスゲ. 375 pp., 文一総合出版
- 北村四郎・村田 源. 1961. 原色日本植物図鑑草本編 [Ⅱ] 離弁花類. 390 pp., 保育社
- 北村四郎・村田 源・小山鐵夫. 1964. 原色日本植物図鑑草本編 [Ⅲ] 単子葉類. 464 pp., 保育社
- 北村四郎・村田 源・堀 勝. 1957. 原色日本植物図鑑草本編 [Ⅰ] 合弁花類. 297 pp., 保育社
- ミュージアムパーク茨城県自然博物館. 1996. ミュージアムパークの自然 シリーズ(2) 菅生沼学術調査リスト. 44 pp.
- 小幡和男. 2007. 小貝川河川敷の維管束植物相. 茨城県自然博物館研究報告, (10): 101-134.
- 太田俊彦・中川久夫・小幡和男・櫻井稔郎・高野信也・廣瀬孝久. 2003. 利根川河川敷の植物相について. 茨城県自然博物館研究報告, (6): 117-133.
- 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜. 759 pp., 平凡社
- 長田武正. 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 425 pp., 保育社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1981. 日本の野生植物草本編Ⅲ. 259 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編Ⅱ. 318 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編Ⅰ. 305 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編Ⅰ. 321 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編Ⅱ. 305 pp., 平凡社
- 清水建美 (編). 2003. 日本の帰化植物図鑑. 337 pp., 平凡社
- 鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚之・野口達也. 1981. 茨城県植物誌.

339 pp., 茨城県植物誌刊行会.

田川基二. 1959. 原色日本羊歯植物図鑑. 270 pp., 保育社

栃木県林務部自然環境課・栃木県立博物館. 2005. レッドデータブックとちぎー栃木県の保護上注目すべき地形・地質・野生動植物一. 898 pp., 栃木県林務部自然環境課

谷城勝弘. 2007. カヤツリグサ科入門図鑑. 247 pp., 全国農村教育協会.

吉川純幹. 1957・1958・1960. 日本スゲ属植物図譜 第一巻 第二巻 第三巻 421 pp., 北陸の植物の会.

### インターネット上の参考情報

大和田真澄.「渡良瀬遊水地の植物」

<http://www.ryomonet.co.jp/mo/mo/>

### 調査研究および執筆

成島 明 (ミュージアムパーク茨城県自然博物館, 元茨城県立土浦第三高等学校)

丸山友一 (元茨城県立駒場小学校)

付表2. 五霞町, 境町, 坂東市, 常総市の維管束植物

学名	和名	五霞町	境町	坂東市	常総市	備考
Isoetaceae						
1	<i>Isoetes japonica</i> A. Br.	●	●		●	環境省: 準絶滅危惧, 茨城: 希少種
Equisetaceae						
2	<i>Equisetum arvense</i> L.	●	●	●	●	
3	<i>Equisetum hyemale</i> L.				●	
4	<i>Equisetum palustre</i> L.	●	●	●	●	
5	<i>Equisetum ramosissimum</i> Desf.				●	
Ophioglossaceae						
6	<i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.				●	
7	<i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.				●	
8	<i>Ophioglossum namekatae</i> Nishida et Kurita				●	環境省: 絶滅危惧II類, 茨城: 絶滅危惧種
Schizaceae						
9	<i>Lygodium japonicum</i> (Thunb. ex Murray) Sw.			●	●	
Dennstaedtiaceae						
10	<i>Dennstaedtia hirsuta</i> (Sw.) Mett. ex Miq.			●	●	
11	<i>Dennstaedtia wilfordii</i> (Moore) Christ				●	
Parkeriaceae						
12	<i>Ceratopteris thalictroides</i> (L.) Brongn.	●	●	●	●	茨城: 希少種
13	<i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels				●	
14	<i>Onychium japonicum</i> (Thunb.) Kunze				●	
Pteridaceae						
15	<i>Pteris cretica</i> L.				●	
16	<i>Pteris multifida</i> Poir.				●	
Dryopteridaceae						
17	<i>Arachniodes borealis</i> Seriz.				●	
18	<i>Arachniodes standishii</i> (Moore) Ohwi	●		●	●	
19	<i>Cyrtomium caryoidem</i> (Wall. ex Hook. et Grev.) Presl				●	
20	<i>Cyrtomium devexiscapulae</i> Koidz.		●		●	
21	<i>Cyrtomium fortunei</i> J. Sm. var. <i>fortunei</i>				●	
22	<i>Cyrtomium fortunei</i> J. Sm. var. <i>clivicola</i> (Makino) Tagawa				●	
23	<i>Dryopteris chinensis</i> (Baker) Koidz.			●	●	
24	<i>Dryopteris crassirhizoma</i> Nakai				●	
25	<i>Dryopteris erythrosora</i> (Eaton) O. Kuntze	●	●	●	●	
26	<i>Dryopteris hondoensis</i> Koidz.			●	●	
27	<i>Dryopteris lacera</i> (Thunb. ex Murray) O. Kuntze				●	
28	<i>Dryopteris pacifica</i> (Nakai) Tagawa			●	●	
29	<i>Dryopteris uniformis</i> (Makino) Makino	●	●	●	●	
30	<i>Dryopteris varia</i> (L.) O. Kuntze var. <i>setosa</i> (Thunb.) Ohwi			●	●	
31	<i>Polystichum longifrons</i> Kurata			●	●	
32	<i>Polystichum ovato-paleaceum</i> (Kodama) Kurata				●	
33	<i>Polystichum polyblepharum</i> (Roem. ex Kunze) Presl			●	●	
Thelypteridaceae						
34	<i>Phegopteris decursive-pinnata</i> (van Hall) Fée				●	
35	<i>Stegnogramma pozoi</i> (Lagasca) Ching subsp. <i>mollissima</i> (Fischer ex Kunze) Nakaike			●	●	
36	<i>Thelypteris acuminata</i> (Houtt.) Morton			●	●	
37	<i>Thelypteris angustifrons</i> (Miq.) Ching			●	●	茨城: 希少種
38	<i>Thelypteris glanduligera</i> (Kunze) Ching			●	●	
39	<i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching	●	●	●	●	
40	<i>Thelypteris palustris</i> (Salisb.) Schott	●	●	●	●	
41	<i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa	●		●	●	
Athyriaceae						
42	<i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance	●	●	●	●	
43	<i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance f. <i>metallicum</i> (Makino) Honda			●		
44	<i>Athyrium vidalii</i> (Franch. et Sav.) Nakai			●	●	
45	<i>Deparia conilii</i> (Franch. et Sav.) Kurata			●	●	
46	<i>Deparia dimorphophylla</i> (Koidz.) M. Kato	●	●		●	
47	<i>Deparia japonica</i> (Thunb.) Kurata			●	●	
48	<i>Deparia pseudoconilii</i> (Seriz.) Seriz.			●	●	
49	<i>Deparia pycnosora</i> (Christ) M. Kato			●	●	
50	<i>Diplazium squamigerum</i> (Mett.) Matsum.				●	
51	<i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Todaro	●	●	●	●	
52	<i>Onoclea sensibilis</i> L. var. <i>interrupta</i> Maxim.	●	●	●	●	
Aspleniaceae						
53	<i>Asplenium incisum</i> Thunb.			●	●	
Pinaceae						
54	<i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.	●		●	●	
55	<i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	
Taxodiaceae						
56	<i>Cryptomeria japonica</i> (L. fil.) D. Don	●	●	●	●	
Cupressaceae						
57	<i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Siebold et Zucc.	●	●	●	●	
Juglandaceae						
58	<i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.	●	●	●	●	
Salicaceae						

学名	和名	五 畿 町	境 町	坂 東 市	常 総 市	備 考
59 <i>Salix chaenomeloides</i> Kimura	アカメヤナギ	●	●	●	●	
60 <i>Salix eriocarpa</i> Franch. et Sav.	ジャヤナギ	●	●	●	●	
61 <i>Salix gilgiana</i> Seemen	カワヤナギ	●	●	●	●	
62 <i>Salix gracilistyla</i> Miq.	ネコヤナギ			●		
63 <i>Salix serissaefolia</i> Kimura	コゴメヤナギ				●	
64 <i>Salix subfragilis</i> Anders.	タチヤナギ	●	●	●	●	
Betulaceae						
65 <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	ハンノキ			●	●	
66 <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	イヌシデ	●	●	●	●	
Fagaceae						
67 <i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	クリ	●	●	●	●	
68 <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky var. <i>sieboldii</i> (Makino) Nakai	スダジイ	●		●	●	
69 <i>Quercus acutissima</i> Carr.	クヌギ	●	●	●	●	
70 <i>Quercus glauca</i> Thunb.	アラカシ	●		●	●	
71 <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume	シラカシ	●	●	●	●	
72 <i>Quercus serrata</i> Thunb.	コナラ	●	●	●	●	
Ulmaceae						
73 <i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.	ムクノキ	●	●	●	●	
74 <i>Celtis sinensis</i> Pers. var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai	エノキ	●	●	●	●	
Moraceae						
75 <i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold	ヒメコウゾ	●	●	●	●	
76 <i>Broussonetia papyrifera</i> (L.) Vent.	カヅノキ	●		●		
77 <i>Humulus japonicus</i> Siebold et Zucc.	カナムグラ	●	●	●	●	
78 <i>Morus alba</i> L.	マゴロ	●		●	●	
Urticaceae						
79 <i>Boehmeria japonica</i> (L. fil.) Miq. var. <i>longispica</i> (Steud.) Yahara	ヤブマオ	●	●	●	●	
80 <i>Boehmeria nipononivea</i> Koidz.	カラムシ	●	●	●	●	
81 <i>Boehmeria platanifolia</i> Franch. et Sav. ex C. H. Wright	メヤブマオ			●	●	
82 <i>Pilea mongolica</i> Weddell	アオミズ	●	●	●	●	
83 <i>Urtica dioica</i> L.	セイヨウイラクサ		●			外来
Santalaceae						
84 <i>Thesium chinense</i> Turcz.	カナビキソウ				●	
Loranthaceae						
85 <i>Viscum album</i> L. var. <i>coloratum</i> (Komarov) Ohwi	ヤドリギ				●	
Polygonaceae						
86 <i>Antenoron filiforme</i> Thunb.	ミスヒキ	●	●	●	●	
87 <i>Persicaria conspica</i> (Nakai) Nakai	サクラタデ			●	●	
88 <i>Persicaria erecto-minor</i> (Makino) Nakai f. <i>viridiflora</i> H. Ito	アオヒメタデ	●				
89 <i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Spach	ヤナギタデ	●	●	●	●	
90 <i>Persicaria japonica</i> (Meisn.) H. Gross	シロバナサクラタデ			●	●	
91 <i>Persicaria longiseta</i> (De Bruyn) Kitagawa	イスタデ	●	●	●	●	
92 <i>Persicaria maackiana</i> (Regel) Nakai	サデクサ	●	●	●	●	
93 <i>Persicaria nipponensis</i> (Makino) H. Gross	ヤノネグサ	●	●	●	●	
94 <i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H. Gross	イシミカワ	●	●	●	●	
95 <i>Persicaria pilosa</i> (Roxb.) Kitagawa	オオケタデ			●	●	
96 <i>Persicaria pubescens</i> (Blume) Hara	ボントクタデ			●	●	
97 <i>Persicaria scabra</i> (Moench) Mold.	サナエタデ				●	
98 <i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki	アキノウナギソカミ	●	●	●	●	
99 <i>Persicaria taquetii</i> (Le'v.) Koidz.	スカボタデ	●	●	●	●	環境省:絶滅危惧Ⅱ類
100 <i>Persicaria tenuiflora</i> (Presl) Hara	オオイスタデ	●	●	●	●	
101 <i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H. Gross	ミソソバ	●	●	●	●	
102 <i>Persicaria trigonocarpa</i> (Makino) Nakai	ホソバイスタデ	●	●	●	●	環境省:準絶滅危惧
103 <i>Persicaria viscosa</i> (Hamilt.) H. Gross	ニオイタデ			●	●	外来
104 <i>Persicaria vulgaris</i> Webb et Moq.	ハルタデ			●	●	
105 <i>Persicaria yokusaiana</i> (Makino) Nakai	ハナタデ	●		●	●	
106 <i>Polygonum aviculare</i> L.	ミチヤナギ	●	●	●	●	
107 <i>Reynoutria japonica</i> Houtt.	イタドリ	●	●	●	●	
108 <i>Rumex acetosa</i> L.	スイバ	●	●	●	●	
109 <i>Rumex conglomeratus</i> Murr.	アレチギシギシ	●	●	●	●	外来
110 <i>Rumex crispus</i> L.	ナガバギシギシ	●	●	●	●	外来
111 <i>Rumex japonicus</i> Houtt.	ギシギシ	●	●	●	●	
112 <i>Rumex longifolius</i> DC.	ノダイオウ				●	環境省:準絶滅危惧
113 <i>Rumex obtusifolius</i> L.	エゾノギシギシ	●	●	●	●	外来
Aizoaceae						
114 <i>Mollugo verticillata</i> L.	クルマバザクロソウ			●	●	外来
Caryophyllaceae						
115 <i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	オランダミミナグサ	●	●	●	●	外来
116 <i>Lychnis miqueliana</i> Rohrb.	フシグロセンノウ				●	
117 <i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	ツメクサ	●	●	●	●	
118 <i>Scleranthus annuus</i> L.	シバツメクサ			●		外来
119 <i>Stellaria aquatica</i> (L.) Scop.	ウシハコベ	●	●	●	●	
Chenopodiaceae						
120 <i>Chenopodium carinatum</i> R. Br.	ゴウシュウアリタソウ	●	●	●	●	外来
121 <i>Chenopodium ficifolium</i> L.	コアカザ		●	●		外来
122 <i>Chenopodium glaucum</i> L.	ウラジロアカザ	●				外来
Amaranthaceae						
	ヒユ科					

学名	和名	五霞町	境町	坂東市	常総市	備考
123 <i>Achyranthes fauriei</i> Lév. et Van.	ヒナタイノコズチ	●	●	●	●	
124 <i>Achyranthes japonica</i> (Miq.) Nakai	ヒカゲイノコズチ	●	●	●	●	
125 <i>Achyranthes longifolia</i> (Makino) Makino	ヤナギイノコズチ	●		●	●	
126 <i>Alternanthera nodiflora</i> R. Br.	ホソバツルノゲイトウ			●		外来
127 <i>Amaranthus lividus</i> L.	イズビユ	●			●	
128 <i>Amaranthus patulus</i> Bertoloni	ホソアオゲイトウ	●	●	●	●	外来
Magnoliaceae						
	モクレン科					
129 <i>Magnolia hypoleuca</i> Siebold et Zucc.	ホオノキ				●	
130 <i>Magnolia praecoccissima</i> Koidz.	コブシ	●	●	●	●	
Schisandraceae						
	マツブサ科					
131 <i>Kadsura japonica</i> (Thunb.) Dunal	サネカズラ	●		●	●	
Lauraceae						
	クスノキ科					
132 <i>Cinnamomum camphora</i> (L.) Presl	クスノキ	●		●	●	
133 <i>Cinnamomum japonicum</i> Siebold ex Nakai	ヤブニツケイ	●				
134 <i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	ヤマコウバシ	●		●	●	
135 <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	シロダモ	●	●	●	●	
136 <i>Persea thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Kosterm.	タブノキ			●		
Ranunculaceae						
	キンポウゲ科					
137 <i>Aconitum tsukubense</i> Nakai	ツクバトリカブト			●		
138 <i>Anemone flaccida</i> Fr. Schm.	ニリンソウ			●		
139 <i>Aquilegia buergeriana</i> Siebold et Zucc.	ヤマオダマキ			●		逸出
140 <i>Cimicifuga japonica</i> (Thunb.) Spreng.	イズショウマ			●	●	茨城: 希少種
141 <i>Clematis terniflora</i> DC.	センニンソウ	●	●	●	●	
142 <i>Delphinium anthriscifolium</i> Hance	セリバヒエソウ			●		外来
143 <i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.	ケキツネノボタン	●	●	●	●	
144 <i>Ranunculus sceleratus</i> L.	タガラシ	●	●	●	●	
145 <i>Ranunculus ternatus</i> Thunb.	ヒキノカサ				●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類, 茨城: 危急種
146 <i>Thalictrum simplex</i> L. var. <i>brevipes</i> Hara	ノカラマツ		●		●	環境省: 準絶滅危惧, 茨城: 希少種
Berberidaceae						
	メギ科					
147 <i>Berberis sanguinea</i> Franch.	ホソバアカメギ				●	
Menispermaceae						
	ツヅラフジ科					
148 <i>Cocculus orbiculatus</i> (Thunb.) DC.	アオツヅラフジ	●	●	●	●	
149 <i>Menispermum dauricum</i> DC.	コウモリカズラ				●	茨城: 危急種
Nymphaeaceae						
	スイレン科					
150 <i>Cabomba caroliniana</i> A. Gray	ハゴロモモ				●	外来
151 <i>Nuphar japonicum</i> DC.	コウホネ			●		
152 <i>Nymphoides coreana</i> (Lév.) Hara	ヒメシロアサザ		●			環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
Saururaceae						
	ドクダミ科					
153 <i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	ドクダミ	●	●	●	●	
154 <i>Saururus chinensis</i> (Lour.) Bail.	ハンゲショウ	●	●	●	●	
Chloranthaceae						
	センリョウ科					
155 <i>Chloranthus serratus</i> (Thunb.) Roem. et Schult.	フタリシズカ	●		●	●	
Aristolochiaceae						
	ウマノスズクサ科					
156 <i>Aristolochia debilis</i> Siebold et Zucc.	ウマノスズクサ				●	
Theaceae						
	ツバキ科					
157 <i>Camellia japonica</i> L.	ヤブツバキ	●		●	●	
158 <i>Eurya japonica</i> Thunb.	ヒサカキ	●	●	●	●	
159 <i>Thea sinensis</i> L.	チャノキ	●	●	●	●	
Guttiferae						
	オトギリソウ科					
160 <i>Hypericum oliganthum</i> Franch. et Sav.	アゼオトギリ				●	環境省: 絶滅危惧ⅠB類, 茨城: 危急種
161 <i>Hypericum perforatum</i> L. var. <i>angustifolium</i> DC.	コゴメバオトギリ				●	外来
162 <i>Sarothra laxum</i> (Blume) Y. Kimura	コケオトギリ	●	●	●	●	
Papaveraceae						
	ケシ科					
163 <i>Corydalis decumbens</i> (Thunb.) Pers.	ジロポウエンゴサク			●	●	
164 <i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	ムラサキケマン	●	●	●	●	
165 <i>Papaver orientale</i> L.	オニゲシ	●				外来
Cruciferae						
	アブラナ科					
166 <i>Barbarea vulgaris</i> R. Br.	ハルザキヤマガラシ			●	●	外来
167 <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.	セイヨウカラシナ	●	●	●	●	
168 <i>Brassica napus</i> L.	セイヨウアブラナ	●	●	●	●	外来
169 <i>Cardamine flexuosa</i> With.	タネツケバナ	●	●	●	●	
170 <i>Cardamine hirsuta</i> L.	ミチタネツケバナ	●	●	●	●	外来
171 <i>Chorispora tenella</i> (Pall.) DC.	ツノミナズナ				●	外来
172 <i>Draba nemorosa</i> L.	イヌナズナ		●	●		
173 <i>Lepidium virginicum</i> L.	マメグンバイナズナ	●	●	●	●	外来
174 <i>Nasturtium officinale</i> R. Br.	オランダガラシ			●	●	外来
175 <i>Rorippa cantoniensis</i> (Lour.) Ohwi	コイスガラシ	●		●	●	環境省: 準絶滅危惧
176 <i>Rorippa indica</i> (L.) Hochr.	イスガラシ	●	●	●	●	
177 <i>Rorippa islandica</i> (Oeder) Borb.	スカシタゴボウ	●	●	●	●	
178 <i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop.	カキネガラシ	●	●	●	●	外来
179 <i>Thlaspi arvense</i> L.	グンバイナズナ			●	●	外来
Crassulaceae						
	ベンケイソウ科					
180 <i>Penthorum chinense</i> Pursh	タコノアシ			●	●	環境省: 準絶滅危惧, 茨城: 希少種
181 <i>Tillaea aquatica</i> L.	アズマツメクサ			●	●	環境省: 準絶滅危惧
Saxifragaceae						
	ユキノシタ科					
182 <i>Hydrangea macrorrhynlla</i> (Thunb.) Ser. var. <i>acuminata</i> (Siebold et Zucc.) Makino	ヤマアジサイ			●		

学名	和名	五 畿 町	境 町	坂 東 市	常 総 市	備考
<b>Rosaceae</b>						
183	<i>Agrimonia japonica</i> (Miq.) Koidz.			●	●	
184	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	●		●	●	
185	<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Mor.) Miq.	●	●	●	●	
186	<i>Duchesnea indica</i> (Andr.) Focke	●		●	●	
187	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.				●	
188	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	●			●	
189	<i>Potentilla kleiniana</i> Wight. et Arnott	●	●	●	●	
190	<i>Potentilla supina</i> L.	●				外来
191	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>laevis</i> (Thunb.) Stapf.	●		●	●	
192	<i>Pourthiaea villosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>zollingeri</i> (Decne.) Nakai	●		●	●	
193	<i>Prunus buergeriana</i> Miq.			●	●	
194	<i>Prunus grayana</i> Maxim.			●	●	
195	<i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz.	●		●	●	
196	<i>Prunus verecunda</i> (Koidz.) Koehne				●	
197	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	●	●	●	●	
198	<i>Rubus buergeri</i> Miq.			●		
199	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	●	●	●	●	
200	<i>Rubus parvifolius</i> L.	●	●	●	●	
201	<i>Sanguisorba officinalis</i> L. var. <i>carnea</i> (Fisch.) Regel	●	●	●	●	
202	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch.				●	茨城: 危急種
203	<i>Sanguisorba tenuifolia</i> Fisch. f. <i>alba</i> Kitam.				●	茨城: 希少種
<b>Leguminosae</b>						
204	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	●	●	●	●	
205	<i>Amorpha fruticosa</i> L.			●	●	外来
206	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliver) Ohashi	●	●	●	●	
207	<i>Cassia nomame</i> (Siebold) Honda	●		●	●	
208	<i>Desmodium oxyphyllum</i> DC.	●	●	●	●	
209	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.				●	外来
210	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zucc.			●	●	
211	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) Ohashi	●	●	●	●	
212	<i>Lathyrus japonicus</i> Willd.			●	●	
213	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz. f. <i>actifolia</i> Matsum.	●	●	●	●	
214	<i>Robinia pseudo-acacia</i> L.	●	●	●	●	外来
215	<i>Sophora japonica</i> L.			●	●	外来
216	<i>Trifolium dubium</i> Sibth.	●	●	●	●	外来
217	<i>Trifolium pratense</i> L.	●	●	●	●	外来
218	<i>Trifolium repens</i> L.	●	●	●	●	外来
219	<i>Vicia amoena</i> Fisch.				●	
220	<i>Vicia angustifolia</i> L.	●	●	●	●	
221	<i>Vicia cracca</i> L.	●	●	●	●	
222	<i>Vicia hirsuta</i> (L.) S. F. Gray	●	●	●	●	
223	<i>Vicia tetrasperma</i> (L.) Schreb.	●	●	●	●	
224	<i>Vicia unijuga</i> A. Br.			●	●	
225	<i>Vicia villosa</i> Roth subsp. <i>varia</i> (Host) Corb.	●	●			外来
226	<i>Vigna angularis</i> (Willd.) Ohwi et Ohashi var. <i>nipponensis</i> (Ohwi) Ohwi et Ohashi			●	●	
<b>Geraniaceae</b>						
227	<i>Geranium carolinianum</i> L.	●	●	●	●	外来
228	<i>Geranium nepalense</i> Sweet subsp. <i>thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Hara	●	●	●	●	
<b>Linaceae</b>						
229	<i>Linum virginianum</i> L.				●	外来
<b>Euphorbiaceae</b>						
230	<i>Euphorbia adenochlora</i> Morren et Decne.				●	環境省: 準絶滅危惧
231	<i>Euphorbia helioscopia</i> L.				●	
232	<i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr.				●	
233	<i>Mallotus japonicus</i> (Thunb. ex Murray) Muell. -Arg.	●	●	●	●	
234	<i>Phyllanthus matsumurae</i> Hayata				●	
<b>Rutaceae</b>						
235	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	●		●	●	
236	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	●		●	●	
<b>Simaroubaceae</b>						
237	<i>Ailanthus altissima</i> Swingle			●	●	
238	<i>Picrasma quassioides</i> (D. Don) Benn. var. <i>glabrescens</i> Pamp.			●	●	
<b>Meliaceae</b>						
239	<i>Cedrela sinensis</i> A. Juss.			●		外来
<b>Anacardiaceae</b>						
240	<i>Rhus ambigua</i> Lavalée ex Dippel	●		●	●	
241	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>roxburgii</i> (DC.) Rehder et Wils.	●	●	●	●	
242	<i>Rhus sylvestris</i> Siebold et Zucc.				●	
243	<i>Rhus trichocarpa</i> Miq.	●	●	●	●	
<b>Balsaminaceae</b>						
244	<i>Impatiens noli-tangere</i> L.			●		
245	<i>Impatiens ohwadae</i> M. Watanabe et Seriz.				●	
<b>Aquifoliaceae</b>						
246	<i>Ilex crenata</i> Thunb.	●		●	●	
247	<i>Ilex integra</i> Thunb.	●	●	●	●	

学名	和名	五霞町	境町	坂東市	常総市	備考
248 <i>Ilex macropoda</i> Miq.	アオハダ	●	●	●	●	
249 <i>Ilex rotunda</i> Thunb.	クロガネモチ	●				茨城: 希少種
250 <i>Ilex serrata</i> Thunb.	ウメドキ			●	●	
Celastraceae						ニシキギ科
251 <i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>ciliato-dentatus</i> Hiyama	コマユミ	●		●	●	
252 <i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	マユミ	●		●	●	
Staphyleaceae						ミツバウツギ科
253 <i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	ゴンスイ	●		●	●	
Rhamnaceae						クロウメドキ科
254 <i>Rhamnus davurica</i> Pall. var. <i>nipponica</i> Makino	クロツバラ			●		
Vitaceae						ブドウ科
255 <i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Hara	ノブドウ	●	●	●	●	
256 <i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagn.	ヤブガラシ	●	●	●	●	
Malvaceae						アオイ科
257 <i>Sida spinosa</i> L.	アメリカキンゴジカ			●		外来
Elaeagnaceae						グミ科
258 <i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.	ツルグミ	●		●	●	
Violaceae						スミレ科
259 <i>Viola betonicifolia</i> Smith var. <i>albescens</i> (Nakai) F. Maekawa et Hashimoto	アリアケスミレ		●	●	●	茨城: 危急種
260 <i>Viola confusa</i> Champ. ex Benth. subsp. <i>nagasakiensis</i> (W. Wecker) F. Maekawa et Hashimoto	ヒメスミレ			●	●	茨城: 危急種
261 <i>Viola grypoceras</i> A. Gray	タチツボスミレ	●	●	●	●	
262 <i>Viola japonica</i> Langsd. ex Gingins	コスミレ			●	●	
263 <i>Viola keiskei</i> Miq. f. <i>okuboi</i> (Makino) F. Maekawa	ケマルバスミレ			●		
264 <i>Viola mandshurica</i> W. Becker	スミレ	●		●	●	
265 <i>Viola obtusa</i> (Makino) Makino	ニオイタチツボスミレ			●	●	
266 <i>Viola raddeana</i> Regel	タチスミレ			●	●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類, 茨城: 絶滅危惧種
267 <i>Viola verecunda</i> A. Gray	ツボスミレ	●	●	●	●	
268 <i>Viola yedoensis</i> Makino	ノジスミレ			●	●	
Elatinaceae						ミゾハコベ科
269 <i>Elatine triandra</i> Schk. var. <i>pedicellata</i> Krylov	ミゾハコベ	●	●	●	●	
Cucurbitaceae						ウリ科
270 <i>Actinostemma lobatum</i> Maxim. ex Franch. et Sav.	ゴキツル			●	●	
271 <i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	アマチャツル	●	●	●	●	
272 <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim.	スズメウリ			●	●	
273 <i>Sicyos angulatus</i> L.	アレチウリ	●	●	●	●	外来
274 <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.	カラスウリ	●	●	●	●	
Lythraceae						ミソハギ科
275 <i>Anmannia coccinea</i> Rottb.	ホンソバヒメソハギ	●		●	●	外来
276 <i>Anmannia multiflora</i> Roxb.	ヒメソハギ	●		●	●	茨城: 希少種
277 <i>Rotala indica</i> (Willd.) Koehne var. <i>uliginosa</i> (Miq.) Koehne	キカシグサ	●	●	●	●	
278 <i>Rotala mexicana</i> Cham. et Schldtl.	ミズマツバ		●	●	●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類, 茨城: 希少種
279 <i>Rotala ramosior</i> (L.) Koehne	アメリカキカシグサ			●		外来
Onagraceae						アカバナ科
280 <i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	ミスタマソウ	●		●	●	
281 <i>Epilobium adenocaulon</i> Hassk.	ノダアカバナ	●	●	●	●	
282 <i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.	アカバナ	●	●	●	●	
283 <i>Ludwigia decurrens</i> Watt.	ヒレタゴボウ	●	●	●	●	外来
284 <i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim.	チョウジタデ	●	●	●	●	
285 <i>Ludwigia greatrexi</i> Hara	ウスゲチョウジタデ	●	●	●	●	環境省: 準絶滅危惧
286 <i>Oenothera biennis</i> L.	メマツヨイグサ	●	●	●	●	外来
287 <i>Oenothera laciniata</i> Hill	コマツヨイグサ			●	●	外来
288 <i>Oenothera rosea</i> Ait.	ユウゲショウ		●	●	●	外来
289 <i>Trapa japonica</i> Flerov	ビシ			●	●	
Haloragidaceae						アリトウグサ科
290 <i>Myriophyllum spicatum</i> L.	ホザキノフサモ		●	●	●	
Cornaceae						ミズキ科
291 <i>Aucuba japonica</i> Thunb.	アオキ	●		●	●	
292 <i>Swida controversa</i> (Hemsley ex Prain) Soják	ミズキ	●		●	●	
Araliaceae						ウコギ科
293 <i>Acanthopanax spinosus</i> (Franch. et Sav.) Nakai	ヤマウコギ	●				
294 <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	ヤツデ	●		●	●	
295 <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai	ハリギリ	●		●	●	
Umbelliferae						セリ科
296 <i>Apodicarpum ikenoi</i> Makino	エキサイゼリ			●	●	環境省: 準絶滅危惧, 茨城: 危急種
297 <i>Heracleum nipponicum</i> Kitagawa	ハナウド				●	
298 <i>Hydrocotyle maritima</i> Honda	ノチドメ			●	●	
299 <i>Oenanthe javanica</i> (Blume) DC.	セリ	●	●	●	●	
300 <i>Osmorhiza aristata</i> (Thunb.) Rydberg.	ヤブニンジン	●			●	
301 <i>Pterygopleurum neurophyllum</i> (Maxim.) Kitagawa	シムラニンジン				●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類, 茨城: 絶滅危惧種
302 <i>Torilis japonica</i> (Houtt.) DC.	ヤブジラミ	●	●	●	●	
303 <i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	オヤブジラミ	●	●	●	●	
Pyrolaceae						イチヤクソウ科
304 <i>Pyrola japonica</i> Klenz	イチヤクソウ			●		
Ericaceae						ツツジ科
305 <i>Rhododendron obtusum</i> (Lindl.) Planch. var. <i>kaempferi</i> (Planchon) Wilson	ヤマツツジ	●		●	●	
306 <i>Vaccinium oldhami</i> Miq.	ナツハゼ			●	●	

学名	和名	五 畿 町	境 町	坂 東 市	常 総 市	備 考
Myrsinaceae ヤブコウジ科						
307	<i>Ardisia crenata</i> Sims	●		●	●	
308	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	●		●	●	
Primulaceae サクラソウ科						
309	<i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	●	●	●	●	
310	<i>Lysimachia japonica</i> Thunb. var. <i>subsesilis</i> F. Maekawa	●	●	●	●	
Styracaceae エゴノキ科						
311	<i>Syrax japonica</i> Siebold et Zucc.	●		●	●	
Symplocaceae ハイノキ科						
312	<i>Symplocos chinensis</i> (Lour.) Druce var. <i>leucocarpa</i> (Nakai) Ohwi f. <i>pilosa</i> (Nakai) Ohwi	●		●	●	
Oleaceae モクセイ科						
313	<i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.			●	●	
314	<i>Ligustrum lucidum</i> Ait.	●		●	●	外来
315	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	●	●	●	●	
316	<i>Osmanthus heterophyllus</i> (G. Don) P. S. Green			●	●	
Gentianaceae リンドウ科						
317	<i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.			●		
318	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawcett			●		
319	<i>Nymphoides coreana</i> (H.Lév.) H.Hara		●			環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
320	<i>Nymphoides indica</i> (L.) O. Kuntze			●		環境省: 準絶滅危惧. 茨城. 危急種
Apocynaceae キョウチクトウ科						
321	<i>Amsonia elliptica</i> (Thunb.) Roem. et Schult.			●	●	環境省: 準絶滅危惧. 茨城. 危急種
322	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	●		●	●	
Asclepiadaceae ガガイモ科						
323	<i>Cynanchum sublancoelatum</i> (Miq.) Matsum.	●		●	●	
324	<i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	●	●	●	●	
Rubiaceae アカネ科						
325	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Waller.) Hayek	●	●	●	●	
326	<i>Galium tokyoense</i> Makino			●	●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類. 茨城. 希少種
327	<i>Galium trifidum</i> L. var. <i>brevipedunculatum</i> Regel	●	●	●	●	
328	<i>Hedyotis diffusa</i> Willd.			●	●	
329	<i>Hedyotis lindleyana</i> Hook. var. <i>hirsuta</i> (L. fil.) Hara			●	●	
330	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merrill var. <i>mairei</i> (Lév.) Hara	●	●	●	●	
331	<i>Rubia argyi</i> (Lév. et Vaniot) Hara	●	●	●	●	
Convolvulaceae ヒルガオ科						
332	<i>Calystegia hederacea</i> Wall.	●	●	●	●	
333	<i>Calystegia japonica</i> Choisy	●	●	●	●	
334	<i>Cuscuta pentagona</i> Engelm.			●	●	外来
335	<i>Ipomoea lacunosa</i> L.			●	●	外来
336	<i>Ipomoea triloba</i> L.			●	●	外来
337	<i>Quamoclit angulata</i> Bojer.	●		●	●	
Boraginaceae ムラサキ科						
338	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth.	●	●	●	●	
Verbenaceae クマツヅラ科						
339	<i>Callicarpa dichotoma</i> (Lour.) K. Koch			●		
340	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	●		●	●	
341	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	●	●	●	●	
Callitricheaceae アワコケ科						
342	<i>Callitriche verna</i> L.			●	●	
Labiatae シソ科						
343	<i>Ajuga nipponensis</i> Makino			●	●	
344	<i>Ajuga yezoensis</i> Maxim. var. <i>tsukubana</i> Nakai			●	●	
345	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) Hara			●	●	
346	<i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hylander			●		
347	<i>Glechoma hederacea</i> L. var. <i>grandis</i> (A. Gray) Kudo	●	●	●	●	
348	<i>Lamium amplexicaule</i> L.	●	●	●	●	
349	<i>Lamium barabtum</i> Siebold et Zucc.			●	●	
350	<i>Lamium purpureum</i> L.	●	●	●	●	外来
351	<i>Leonurus japonicus</i> Houtt.			●	●	
352	<i>Lycopus lucidus</i> Turcz.	●	●	●	●	
353	<i>Lycopus ramosissimus</i> (Makino) Makino var. <i>japonicus</i> (Matsumura et Kudo) Kitam	●	●	●	●	
354	<i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>piperascens</i> Malinvaud			●		
355	<i>Mosla dianthera</i> (Hamilt.) Maxim.	●	●	●	●	
356	<i>Mosla punctulata</i> (J. F. Gmel.) Nakai			●	●	
357	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>	●	●	●	●	
358	<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (Nakai) Hara		●	●		
359	<i>Rabdosia inflexa</i> (Thunb.) Kudo			●	●	
360	<i>Salvia plebeia</i> R. Br.	●		●	●	環境省: 準絶滅危惧. 茨城. 希少種
361	<i>Stachys aspera</i> Michx. var. <i>hispidula</i> (Regel) Vorosch.	●	●	●	●	
362	<i>Teucrium japonicum</i> Houtt.			●	●	
363	<i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) Hara	●		●	●	
Solanaceae ナス科						
364	<i>Lycium chinense</i> Mill.	●	●	●	●	
365	<i>Physalis alkekengi</i> L. var. <i>franchetii</i> (Masters) Hort.			●		
366	<i>Solanum americanum</i> Mill.	●	●	●	●	外来
367	<i>Solanum carolinense</i> L.			●	●	外来

学名	和名	五霞町	境町	坂東市	常総市	備考
368 <i>Solanum lyratum</i> Thunb.	ヒヨドリジョウゴ	●		●	●	
369 <i>Solanum photinocarpon</i> Nakamura et Odashima	アフリカホオズキ				●	外来
<b>Scrophulariaceae</b>						
<b>ゴマノハグサ科</b>						
370 <i>Deinostema violaceum</i> (Maxim.) Yamazaki	サウトウガラシ				●	
371 <i>Dopatrium juncum</i> (Roxb.) Hamilt.	アブノメ	●		●	●	
372 <i>Limosella aquatica</i> L.	キタミソウ			●	●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
373 <i>Linaria canadensis</i> (L.) Dum.	マツバウンラン	●	●	●	●	外来
374 <i>Lindernia anagallidea</i> Pennell	ヒメアメリカアゼナ			●	●	外来
375 <i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell	アメリカアゼナ	●	●	●	●	外来
376 <i>Lindernia procumbens</i> (Krock.) Philcox	アゼナ			●	●	
377 <i>Mazus miquelii</i> Makino	ムラサキサギゴケ	●		●	●	
378 <i>Mazus pumilus</i> (Burm. fil.) Steenis	トキワハゼ	●		●	●	
379 <i>Mimulus nepalensis</i> Benth.	ミノホオズキ			●	●	
380 <i>Scrophularia buergeriana</i> Miq.	ゴマノハグサ				●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
381 <i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	オオヒナノウスツボ			●	●	
382 <i>Vandellia angustifolia</i> Benth.	アゼトウガラシ	●		●	●	
383 <i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	オオカワヂシャ	●	●	●	●	外来
384 <i>Veronica arvensis</i> L.	タチイヌノフグリ	●	●	●	●	外来
385 <i>Veronica peregrina</i> L.	ムシクサ			●	●	
386 <i>Veronica persica</i> Poir.	オオイヌノフグリ	●	●	●	●	外来
387 <i>Veronica undulata</i> Wall.	カワヂシャ	●	●	●	●	環境省: 準絶滅危惧
<b>Acanthaceae</b>						
<b>キツネノマゴ科</b>						
388 <i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>leucantha</i> Honda	キツネノマゴ	●		●	●	
<b>Orobanchaceae</b>						
<b>ハマウツボ科</b>						
389 <i>Orobanche minor</i> Sutton	ヤセウツボ		●	●	●	外来
<b>Verbenaceae</b>						
<b>クマツヅラ科</b>						
390 <i>Phryma leptostachya</i> L. subsp. <i>asiatica</i> (H.Hara) Kitam.	ハエドクソウ			●	●	
<b>Plantaginaceae</b>						
<b>オオバコ科</b>						
391 <i>Plantago asiatica</i> L.	オオバコ	●	●	●	●	
392 <i>Plantago lanceolata</i> L.	ヘラオオバコ	●	●	●	●	外来
<b>Caprifoliaceae</b>						
<b>スイカズラ科</b>						
393 <i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>	ヤマウグイスカグラ			●	●	
394 <i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq.	ウグイスカグラ			●	●	
395 <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara	ニロトコ	●	●	●	●	
396 <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara f. <i>nakaiana</i> Murata	キミノニロトコ			●	●	
397 <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	ガマズミ	●	●	●	●	
398 <i>Viburnum sieboldii</i> Miq.	ゴマギ			●	●	
<b>Valerianaceae</b>						
<b>オミナエシ科</b>						
399 <i>Valerianaella olitoria</i> Poll.	ノヂシヤ		●	●	●	
<b>Campanulaceae</b>						
<b>キキョウ科</b>						
400 <i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC. var. <i>japonica</i> (Regel) Hara	ツリガネニンジン	●	●	●	●	
401 <i>Codonopsis ussuriensis</i> (Rupr. et Maxim.) Hemsl.	バアンブ				●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類
402 <i>Peracarpa camosa</i> (Wall.) Hook. fil. et Thoms. var. <i>circaeoides</i> (Fr. Schm.) Makino	タニギキョウ			●	●	
403 <i>Specularia perfoliata</i> (L.) A. DC.	キキョウソウ	●		●	●	外来
<b>Compositae</b>						
<b>キク科</b>						
404 <i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	ノブキ				●	
405 <i>Ainsliaea apiculata</i> Sch.-Bip.	キッコウハグマ				●	
406 <i>Ambrosia trifida</i> L.	クワモドキ			●	●	
407 <i>Anthemis cotula</i> L.	カミツレモドキ			●	●	外来
408 <i>Artemisia apiacea</i> Hance	カワランニンジン	●		●	●	
409 <i>Artemisia capillaris</i> Thunb.	カワラヨモギ	●		●	●	
410 <i>Artemisia princeps</i> Pamp.	ヨモギ	●	●	●	●	
411 <i>Aster mirocephalus</i> (Miq.) Franch. et Sav. var. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Soejima et Mot. Ito	ノコンギク	●	●	●	●	
412 <i>Aster scaber</i> Thunb.	シラヤマギク	●	●	●	●	
413 <i>Aster subulatus</i> Michx. var. <i>sandwicensis</i> A. G. Jones	ヒロハホウキギク	●	●	●	●	外来
414 <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	コセンダングサ	●	●	●	●	外来
415 <i>Bidens tripartita</i> L.	タウロギ	●	●	●	●	
416 <i>Carduus crispus</i> L.	ヒレアザミ	●		●	●	
417 <i>Carpesium faberi</i> Winkler	ガンクビソウ			●	●	
418 <i>Cirsium japonicum</i> DC.	ノアザミ	●	●	●	●	
419 <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	ノハラアザミ	●	●	●	●	
420 <i>Cirsium pendulum</i> Fisch.	タカアザミ	●		●	●	
421 <i>Cirsium pendulum</i> Fisch. f. <i>albiflorum</i> (Makino) Kitam.	シロバナタカアザミ	●		●	●	
422 <i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.	ハルシヤギク			●	●	外来
423 <i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	アメリカカタサブロウ	●	●	●	●	外来
424 <i>Eclipta prostrata</i> (L.) L.	タカサブロウ			●	●	
425 <i>Erigeron philadelphicus</i> L.	ハルジオン	●	●	●	●	外来
426 <i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) Murata et H. Koyama	ヒヨドリバナ	●	●	●	●	
427 <i>Eupatorium fortunei</i> Turcz.	フジバカマ			●	●	環境省: 準絶滅危惧. 茨城. 危急種
428 <i>Gnaphalium calviceps</i> Fern.	タチチコグサ			●	●	外来
429 <i>Helianthus tuberosus</i> L.	キクイモ	●	●	●	●	外来
430 <i>Hemistepa lyrata</i> Bunge	キツネアザミ	●	●	●	●	
431 <i>Inula britannica</i> L. subsp. <i>linariaefolia</i> (Turcz.) Kitam.	ホソバオグルマ			●	●	環境省: 絶滅危惧Ⅱ類. 茨城. 絶滅危惧種
432 <i>Inula japonica</i> Thunb.	オグルマ				●	
433 <i>Ixeris debilis</i> (Thunb.) A. Gray	オオジシバリ	●	●	●	●	
434 <i>Ixeris dentata</i> (Thunb.) Nakai	ニガナ			●	●	

学名	和名	五 畿 町	境 町	坂 東 市	常 総 市	備考
435	<i>Ixeris polycephala</i> Cass.			●	●	
436	<i>Kalimeris pinnatifida</i> (Maxim.) Kitam.	●	●	●	●	
437	<i>Kalimeris pseudo-yomena</i> Kitam.	●	●	●	●	
438	<i>Lactuca indica</i> L. var. <i>laciniata</i> (O. Kuntze) Hara	●	●	●	●	
439	<i>Lapsana apogonoides</i> Maxim.			●	●	
440	<i>Lapsana humilis</i> (Thunb.) Makino			●	●	
441	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Beauv.			●	●	
442	<i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch.-Bip.			●	●	
443	<i>Picris hieracioides</i> L. var. <i>glabrescens</i> (Regel) Ohwi	●	●	●	●	
444	<i>Solidago altissima</i> L.	●	●	●	●	外来
445	<i>Solidago virgaurea</i> L. var. <i>asiatica</i> Nakai			●	●	
446	<i>Sonchus asper</i> (L.) Hill	●	●	●	●	外来
447	<i>Sonchus oleraceus</i> L.	●	●	●	●	
448	<i>Stenactis annuus</i> (L.) Pers.	●	●	●	●	外来
449	<i>Syneilesis palmata</i> (Thunb.) Maxim.				●	
450	<i>Taraxacum albidum</i> Dahlst.		●	●		
451	<i>Taraxacum officinale</i> Weber	●	●	●	●	
452	<i>Taraxacum platycarpum</i> Dahlst.	●	●	●	●	
453	<i>Xanthium occidentale</i> Bertoloni	●	●	●	●	外来
454	<i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	●	●	●	●	
Alismataceae						
455	<i>Alisma canaliculatum</i> A. Br. et Bouché					
456	<i>Sagittaria pygmaea</i> Miq.	●		●	●	
457	<i>Sagittaria trifolia</i> L.	●	●	●	●	
Hydrocharitaceae						
458	<i>Egeria densa</i> Planch.	●		●		外来
459	<i>Limnobium laevigatum</i> (Humb. et Bonpl. ex Willd.) Heine			●		外来
460	<i>Otelia alismoides</i> (L.) Pers.		●			環境省:絶滅危惧Ⅱ類
461	<i>Vallisneria denserrolata</i> (Makino) Makino		●			
Potamogetonaceae						
462	<i>Potamogeton distinctus</i> A. Benn.		●			
463	<i>Potamogeton octandrus</i> Poir.		●			
464	<i>Potamogeton oxyphyllus</i> Miq.		●			
Liliaceae						
465	<i>Allium grayi</i> Regel	●	●	●	●	
466	<i>Amana edulis</i> (Miq.) Honda				●	茨城:希少種
467	<i>Disporum sessile</i> D. Don	●		●	●	
468	<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	●		●	●	
469	<i>Gagea japonica</i> Pascher				●	環境省:絶滅危惧ⅠB類;茨城:絶滅危惧種
470	<i>Hemerocallis longituba</i> Miq.			●	●	
471	<i>Hosta sieboldii</i> (Paxton) J. Ingram f. <i>lanceifolia</i> (Miq.) Hara	●		●	●	
472	<i>Ipheion uniflorum</i> (Graham) Raf.			●	●	外来
473	<i>Lilium auratum</i> Lindl.			●	●	
474	<i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	●		●	●	
475	<i>Liriope platyphylla</i> Wang et Tang	●		●	●	
476	<i>Ophiopogon japonicus</i> (L. fil.) Ker-Gawl.	●	●	●	●	
477	<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	●		●	●	
478	<i>Polygonatum involucreatum</i> (Franch. et Sav.) Maxim.			●		
479	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	●	●	●	●	
480	<i>Smilax china</i> L.	●		●	●	
481	<i>Smilax nipponica</i> Miq.			●	●	
482	<i>Smilax riparia</i> A. DC. var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hara et T. Koyama			●	●	
483	<i>Tricyrtis affinis</i> (Thunb.) Hook.	●		●	●	
Amaryllidaceae						
484	<i>Lycoris sanguinea</i> Maxim.				●	
Dioscoreaceae						
485	<i>Dioscorea bulbifera</i> L.		●	●	●	茨城:希少種
486	<i>Dioscorea gracillima</i> Miq.	●		●	●	
487	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	●	●	●	●	
488	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	●	●	●	●	
Pontederiaceae						
489	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm. fil.) Presl var. <i>plantaginea</i> (Roxb.) Solms-Laub.	●	●	●	●	
Iridaceae						
490	<i>Iris laevigata</i> Fisch.			●		環境省:準絶滅危惧;茨城:危急種
491	<i>Iris pseudoacorus</i> L.	●	●	●	●	外来
Juncaceae						
492	<i>Juncus effusus</i> L. var. <i>decipiens</i> Buchen.	●	●	●	●	
493	<i>Juncus leschenaultii</i> Gay	●	●	●	●	
494	<i>Juncus tenuis</i> Willd.	●	●	●	●	
495	<i>Luzula capitata</i> (Miq.) Nakai			●	●	
496	<i>Luzula multiflora</i> Lejeune			●	●	
Commelinaceae						
497	<i>Commelina communis</i> L. f. <i>albiflora</i> Makino			●		
498	<i>Pollia japonica</i> Thunb.	●		●	●	
Eriocaulaceae						
499	<i>Eriocaulon robustius</i> (Maxim.) Makino				●	

学名	和名	五霞町	境町	坂東市	常総市	備考
500 <i>Eriocaulon sieboldianum</i> Siebold et Zucc. ex Steud.	ホシクサ		●		●	
<b>Poaceae</b>						
501 <i>Agropyron racemiferum</i> (Steud.) Koidz.	アオカモジグサ	●	●	●	●	
502 <i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi	カモジグサ	●	●	●	●	
503 <i>Agrostis gigantea</i> Roth	コスカグサ	●	●	●	●	外来
504 <i>Anthoxanthum odoratum</i> L.	ハルガヤ	●	●	●	●	外来
505 <i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) C. Tanaka	トダシバ	●	●	●	●	
506 <i>Avena fatua</i> L.	カラスムギ	●	●	●	●	
507 <i>Beckmannia syzigachne</i> (Steud.) Fernald	カズノコグサ	●	●	●	●	
508 <i>Bromus japonicus</i> Thunb.	スズメノチャヒキ	●	●	●	●	
509 <i>Bromus pauciflorus</i> (Thunb.) Hack.	キツネガヤ	●	●	●	●	
510 <i>Cynodon dactylon</i> (L.) Pers.	ギョウギシバ	●	●	●	●	
511 <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koel.	メシバ	●	●	●	●	
512 <i>Digitaria timorensis</i> (Kunth) Balansa	コメシバ	●			●	
513 <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>crus-galli</i>	イヌビエ	●	●	●	●	
514 <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>echinata</i> (Willd.) Honda	クイヌビエ	●		●	●	
515 <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertn.	オヒシバ	●	●	●	●	
516 <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauv.	カゼクサ	●	●	●	●	
517 <i>Eragrostis multispicula</i> Kitagawa	オオニワホコリ				●	外来
518 <i>Eragrostis poaeoides</i> Beauv.	コスズメガヤ	●	●	●	●	外来
519 <i>Festuca parvigluma</i> Steud.	トボシガラ	●	●	●	●	
520 <i>Glyceria ischyronoura</i> Steud.	ドジョウツナギ	●		●	●	
521 <i>Hemarthria sibirica</i> (Gandog.) Ohwi	ウシノシツパイ	●	●	●	●	
522 <i>Hierochloa glabra</i> Trin. subsp. <i>sachalinensis</i> (Printz) Tzvelev	コウボウ			●	●	
523 <i>Imperata cylindrica</i> (L.) Beauv. var. <i>koenigii</i> (Retz.) Durand et Schinz	チガヤ	●	●	●	●	
524 <i>Isachne globosa</i> (Thunb.) O. Kuntze	チゴザサ	●	●	●	●	
525 <i>Leersia japonica</i> Makino	アシカキ	●	●	●	●	
526 <i>Leersia oryzoides</i> (L.) Sw.	エノサヤヌカグサ			●	●	
527 <i>Leptochloa chinensis</i> (L.) Nees	アゼガヤ	●			●	
528 <i>Lolium multiflorum</i> Lam.	ネズミムギ	●	●	●	●	外来
529 <i>Lolium perenne</i> L.	ホソムギ		●			外来
530 <i>Miscanthus sacchariflorus</i> (Maxim.) Benth.	オギ	●	●	●	●	
531 <i>Miscanthus sinensis</i> Anders.	ススキ	●	●	●	●	
532 <i>Oplismenus japonicus</i> Honda	コチヂミザサ	●	●	●	●	
533 <i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	ヌカキビ	●	●	●	●	
534 <i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	オオクサキビ	●	●	●	●	外来
535 <i>Paspalum dilatatum</i> Poir.	シマズズメノヒエ	●	●	●	●	外来
536 <i>Paspalum distichum</i> L.	キシウズズメノヒエ	●	●	●	●	外来
537 <i>Paspalum notatum</i> Flügge	アメリカズズメノヒエ			●	●	外来
538 <i>Paspalum thunbergii</i> Kunth ex Steud.	スズメノヒエ			●		
539 <i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	チカラシバ	●	●	●	●	
540 <i>Phalaris arundinacea</i> L.	クサヨシ				●	
541 <i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	ヨシ	●	●	●	●	
542 <i>Phragmites japonica</i> Steud.	ツルヨシ			●		
543 <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	アズマネザサ	●	●	●	●	
544 <i>Pleioblastus simonii</i> (Carr.) Nakai	メダケ	●	●	●	●	
545 <i>Poa acroleuca</i> Steud.	ミノイチゴツナギ	●	●	●	●	
546 <i>Poa annua</i> L. var. <i>reptans</i> Hausskn.	ツルズズメノカタビラ	●	●	●	●	外来
547 <i>Poa sphondylodes</i> Trin.	イチゴツナギ	●	●	●	●	
548 <i>Polypogon fugax</i> Steud.	ヒエガエリ	●	●	●	●	
549 <i>Pseudoraphis ukishiba</i> Ohwi	ウキシバ	●				茨城: 希少種
550 <i>Sacciolepis indica</i> (L.) Chase var. <i>oryztorum</i> (Makino) Ohwi	ヌメリグサ	●	●	●	●	
551 <i>Setaria chondrache</i> (Steud.) Honda	イヌアワ				●	
552 <i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv. f. <i>viridis</i>	エノコログサ	●	●	●	●	
553 <i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv. f. <i>misera</i> Honda	ムラサキエノコロ			●	●	
554 <i>Sorghum halepense</i> Pers.	セイバンモロコシ	●	●	●	●	外来
555 <i>Sporobolus fertilis</i> (Steud.) W. Clayton	ネズミノオ				●	
556 <i>Vulpia myuros</i> (L.) C. C. Gmel	ナギナタガヤ	●	●	●	●	外来
557 <i>Zizania latifolia</i> Turcz.	マコモ	●	●	●	●	
<b>Araceae</b>						
558 <i>Acorus calamus</i> L. var. <i>angustatus</i> Bess.	ショウブ			●	●	
559 <i>Arisaema heterophyllum</i> Blume	マイヅルテンナンショウ				●	環境省: 絶滅危惧II類
560 <i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott	マムシグサ	●		●	●	
561 <i>Arisaema urashima</i> Hara	ウラシマンショウ	●	●	●	●	
562 <i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breitenb.	カラスビシャク	●	●	●	●	
<b>Typhaceae</b>						
563 <i>Typha latifolia</i> L.	ガマ	●	●	●	●	
<b>Cyperaceae</b>						
564 <i>Bulbostylis barbata</i> (Rottb.) Kunth	ハタガヤ				●	
565 <i>Carex aphanandra</i> Franch. et Sav.	メアオスゲ			●	●	
566 <i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	エナシヒゴクサ			●	●	
567 <i>Carex cinerascens</i> Kuekenh.	ヌマアゼスゲ	●				環境省: 絶滅危惧II類 茨城: 希少種
568 <i>Carex dickinsii</i> Franch. et Sav.	オニスゲ			●		
569 <i>Carex dimorpholepis</i> Steud.	アゼナルコ	●	●	●	●	
570 <i>Carex dispalata</i> Boott	カサスゲ	●	●	●	●	
571 <i>Carex doniana</i> Spreng.	シラスゲ	●	●	●	●	

学名	和名	五 畿 町	境 町	坂 東 市	常 総 市	備考
572	<i>Carex glabrescens</i> Ohwi				●	
573	<i>Carex idzuroei</i> Franch. et Sav.			●	●	
574	<i>Carex incisa</i> Boott			●	●	
575	<i>Carex lanceolata</i> Boott	●		●	●	
576	<i>Carex lena</i> D. Don	●	●	●	●	
577	<i>Carex leucochlora</i> Bunge	●	●	●	●	
578	<i>Carex maackii</i> Maxim.			●	●	
579	<i>Carex macroglossa</i> Franch. et Sav.			●	●	
580	<i>Carex maximowiczii</i> Miq.	●		●	●	
581	<i>Carex mitrata</i> Franch.			●		
582	<i>Carex mitrata</i> Franch. var. <i>aristata</i> Ohwi			●		
583	<i>Carex nanella</i> Ohwi			●	●	
584	<i>Carex neurocarpa</i> Maxim.	●	●	●	●	
585	<i>Carex puberula</i> Boott			●		
586	<i>Carex pumila</i> Thunb.			●		
587	<i>Carex rochebrunii</i> Franch. et Sav.		●		●	
588	<i>Carex thunbergii</i> Steud.	●	●	●	●	
589	<i>Carex transversa</i> Boott	●	●	●	●	
590	<i>Carex vesicaria</i> L.			●		
591	<i>Cyperus brevifolius</i> (Rottb.) Hassk. var. <i>brevifolius</i>			●		
592	<i>Cyperus compressus</i> L.				●	
593	<i>Cyperus difformis</i> L.	●	●	●	●	
594	<i>Cyperus flaccidus</i> R. Br.	●	●	●	●	
595	<i>Cyperus flavidus</i> Retz.	●	●	●	●	
596	<i>Cyperus glomeratus</i> L.	●		●	●	
597	<i>Cyperus haspan</i> L.	●	●	●	●	
598	<i>Cyperus iria</i> L.	●	●	●	●	
599	<i>Cyperus iwasakii</i> Makino		●	●		環境省:絶滅危惧Ⅱ類.茨城:危急種
600	<i>Cyperus microiria</i> Steud.	●	●	●	●	
601	<i>Cyperus nipponicus</i> Franch. et Sav.	●	●	●	●	
602	<i>Cyperus pacificus</i> (Ohwi) Ohwi	●	●	●	●	
603	<i>Cyperus polystachyos</i> Rottb.			●	●	
604	<i>Cyperus rotundus</i> L.	●	●	●	●	
605	<i>Cyperus sanguinolentus</i> Vahl	●	●	●	●	
606	<i>Cyperus serotinus</i> Rottb.			●	●	
607	<i>Eleocharis attenuata</i> (Franch. et Sav.) Palla				●	
608	<i>Eleocharis japonica</i> Miq.	●			●	
609	<i>Eleocharis parvinox</i> Ohwi	●	●	●	●	環境省:絶滅危惧Ⅱ類.茨城:絶滅危惧種
610	<i>Eleocharis pellucida</i> Presl				●	
611	<i>Eleocharis wichurae</i> Boeckl.			●		
612	<i>Fimbristylis aestivalis</i> (Retz.) Vahl			●	●	
613	<i>Fimbristylis autumnalis</i> (L.) Roem. et Schult.	●	●	●	●	
614	<i>Fimbristylis dichotoma</i> (L.) Vahl	●	●	●	●	
615	<i>Fimbristylis diphyllodes</i> Makino			●	●	
616	<i>Fimbristylis squarrosa</i> Vahl			●	●	
617	<i>Fimbristylis tonensis</i> Makino			●	●	環境省:絶滅危惧Ⅱ類.茨城:絶滅危惧種
618	<i>Fimbristylis velata</i> R. Br.	●	●	●	●	
619	<i>Fimbristylis verrucifera</i> (Maxim.) Makino			●	●	
620	<i>Kyllinga gracillima</i> Miq.	●	●	●	●	
621	<i>Lipocarpa microcephala</i> (R. Br.) Kunth				●	
622	<i>Scirpus hotarui</i> Ohwi	●		●		
623	<i>Scirpus juncooides</i> Roxb.	●	●	●	●	
624	<i>Scirpus lineolatus</i> Franch. et Sav. var. <i>lineolatus</i>				●	
625	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino			●	●	
626	<i>Scirpus tabernaemontani</i> Gmel.			●	●	
627	<i>Scirpus triquetus</i> L.				●	
628	<i>Scirpus yagara</i> Ohwi			●	●	
629	<i>Sorbus engelmannii</i> Steud.			●		外来
Orchidaceae						
ラン科						
630	<i>Cephalanthera erecta</i> (Thunb.) Blume				●	
631	<i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. fil.) Reichb. fil.	●		●	●	
632	<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Reichb. fil.			●		
633	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M. Bieberson) Hara	●	●	●	●	
		351	282	510	551	

凡例

学名および和名の配列

・科の配列順序は、「植物目録」(環境庁自然保護局編、1987)に従った。

・属および種の配列は、学名のアルファベット順とした。

・和名と学名は、主としてシダ植物を「日本の野生植物 シダ」(平凡社)に、種子植物を「日本の野生植物 草本編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲおよび木本編Ⅰ、Ⅱ」(平凡社)、外来種を「原色日本帰化植物図鑑」(保育社)に従った。一部の種類についてはその他の文献から適切と思われる学名を使用した。

特記した植物

・茨城:茨城県版レッドデータブック該当種(1997)

・環境省:環境省版レッドデータブック該当種(2007)

・植栽:植栽されたと思われる種

・逸出:逸出したと思われる種

・外来:外来種

## 結城市, 筑西市 (旧関城町, 旧下館市) の 雑管束植物

### はじめに

本調査は、茨城県西地区の結城市, 筑西市 (旧関城町, 旧下館市) の3か所の里山において行ったものである。これらの地域は雑木林を中心としており, 市民団体が里山保全活動を行っている地域である。

結城市田間の調査地域 (図1) は, 「結城市健康の森」と呼ばれ, 「結城ロータリークラブ」が国際ロータリー100周年およびクラブ設立40周年を記念して, 平成16年11月から保全活動を始めている。年に2~3回, ネイチャーゲームや自然観察会のイベントを行っている。2008年には, 結城市民に会員募集を呼びかけ, 市民による保全活動も始まったところである。

筑西市 (旧関城町) 上野の調査地域 (図2) は, 「五郎助山」と呼ばれる雑木林で, NPO法人「里山を守る会」が2000年から保全活動を行っている。放置ゴミの撤去, 雑木林の間伐や下草刈り, 池の整備をはじめ, 自然観察会や植樹体験などのイベントも定期的に行っている。また, 子どもを対象とした自然環境体験事業にも力を入れてきており, 茨城県『子どもいきいき自然体験フィールド100選』の指定も受けている。さらに, 学区内にある小学校と密に連携し, 授業の一環として里山体験を推進しているのが大きな特徴といえる。

筑西市 (旧下館市) の嘉家佐和地区にある調査地域 (図3) は, 「西山」と呼ばれ, 「嘉家佐和西山の会」が茨城県元気な森林づくり活動支援事業の支援を受けて, 2005年11月から保全活動を行っている。この地域は, 雑木林が起伏に富んでおり, ため池を中心とする湿地帯も見られるため, 多様な植物が見られる地域である。

### 調査方法

#### 1. 調査地域 (図1~3)

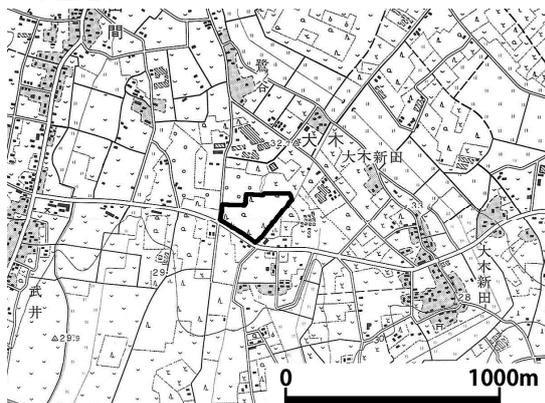


図1. 結城市田間の調査地域  
(国土地理院発行 1:25,000 地形図「小山」, 「諸川」を一部改変)。

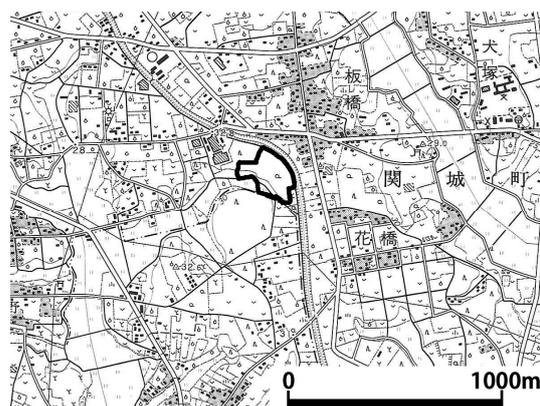


図2. 筑西市上野の調査地域  
(国土地理院発行 1:25,000 地形図「下妻」を一部改変)。

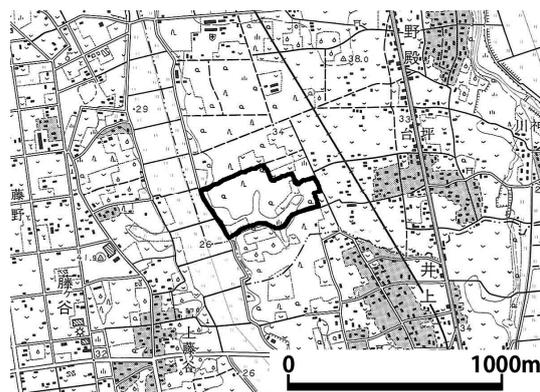


図3. 筑西市嘉家佐和の調査地域  
(国土地理院発行 1:25,000 地形図「下館」を一部改変)。

### 2. 調査期間

#### (1) 2006年度

- 3月26日 筑西市嘉家佐和
- 4月15日 結城市田間
- 4月16日 結城市田間, 筑西市嘉家佐和
- 4月22日 結城市田間
- 5月3日 筑西市嘉家佐和
- 5月14日 結城市田間, 筑西市上野
- 5月27日 筑西市嘉家佐和
- 6月3日 結城市田間
- 6月4日 結城市田間
- 6月11日 筑西市上野
- 6月17日 結城市田間
- 6月18日 筑西市嘉家佐和
- 7月8日 結城市田間, 筑西市上野
- 7月22日 結城市田間, 筑西市嘉家佐和
- 8月16日 筑西市嘉家佐和
- 8月17日 結城市田間
- 8月26日 結城市田間
- 8月30日 結城市田間
- 9月9日 筑西市嘉家佐和
- 9月24日 結城市田間
- 10月21日 結城市田間, 筑西市嘉家佐和

11月16日 筑西市嘉家佐和

10月18日 筑西市嘉家佐和

(2) 2007年度

3月29日 結城市田間  
 4月7日 筑西市上野  
 4月21日 結城市田間  
 4月22日 筑西市嘉家佐和  
 5月13日 結城市田間, 筑西市上野  
 5月20日 筑西市嘉家佐和  
 5月27日 結城市田間  
 6月16日 筑西市上野  
 6月24日 結城市田間  
 7月1日 結城市田間  
 7月16日 筑西市嘉家佐和  
 8月8日 結城市田間  
 8月10日 筑西市上野  
 8月12日 筑西市嘉家佐和  
 9月2日 結城市田間  
 9月24日 結城市田間  
 10月6日 筑西市上野  
 10月7日 筑西市嘉家佐和  
 10月20日 結城市田間  
 10月21日 筑西市嘉家佐和  
 11月12日 結城市田間  
 11月13日 筑西市上野  
 11月16日 筑西市嘉家佐和  
 1月4日 結城市田間  
 1月21日 筑西市嘉家佐和

11月1日 結城市田間

11月13日 筑西市上野

3月30日 筑西市上野

(4) 2009年度

4月19日 結城市田間

5月24日 筑西市上野

3. 調査項目

調査対象は、維管束植物（シダ植物、種子植物）とし、植物相と植生の調査を行った。調査項目は次の通りである。

- (1) 調査地に生育する全植物の確認と記録。
- (2) 調査地の植生の概要
- (3) 生育する植物の採集と標本の作製（原則として、花・実がついている個体を採集）
  - ・確認種428種
- (4) 生態写真の撮影

結果

確認目録を付表3に示した。

1. 植生の概況

(1) 結城市田間

高木層はコナラが優占し、胸高直径約30cm、樹高約15mのものが多く見られる。高木層の構成種は、アオハダ、ウワミズザクラ、エゴノキ、コブシ、ゴンズイ、スギ、ヒノキ、ヤマザクラである。亜高木層には、アオハダ、エゴノキ、コブシ、ズミ、低木層には、アオキ、イヌツゲ、ウメモドキ、ゴンズイ、シュロ、シラカシ、トウネズミモチ、ヒサカキ、ヤマウルシ、ヤマコウバシなどが見られる。草本層には、アズマネザサ、アケビ、イヌツゲ、オモト、キチジョウソウ、キツタ、コバギボウシ、サネカズラ、スイカズラ、タラノキ、チゴユリ、チヂミザサ、ナガバヤブマオ、ノガリヤス、ヒサカキ、ヒヨドリバナ、ホウチャクソウ、マンリョウ、ヤマウグイスカグラなどが見られる。

(2) 筑西市上野

高木層はクヌギ、コナラが優占し、イヌザクラ、イヌシデ、エゴノキ、ミズキ、ヤマザクラが見られる。亜高木層には、エゴノキが多く見られる。他には、アオハダ、ウワミズザクラ、ハンノキが見られる。低木層は、アオキ、イヌツゲ、カマツカ、ガマズミ、シュロ、ヤマコウバシから構成されている。草本層の構成

(3) 2008年度

3月26日 結城市田間  
 4月4日 筑西市嘉家佐和  
 4月12日 筑西市上野  
 4月25日 筑西市上野  
 4月28日 結城市田間  
 5月17日 筑西市嘉家佐和  
 5月18日 結城市田間  
 6月14日 筑西市上野  
 6月28日 筑西市上野  
 8月16日 結城市田間  
 8月18日 筑西市嘉家佐和  
 8月20日 筑西市上野  
 9月23日 筑西市上野  
 9月26日 筑西市上野  
 10月4日 結城市田間

種は豊富で、アズマネザサ、アマドコロ、キヅタ、キンラン、クサボケ、クチナシグサ、タラノキ、ノダケ、ハリガネワラビ。ホウチャクソウ、ミツバツチグリ、ヤブコウジ、ヤブランなどが見られる。

### (3) 筑西市嘉家佐和

ここでは、クヌギ・コナラ、ハンノキ、ネジキ、リョウブが優占する林が見られる。

#### ・クヌギ林

高木層にクヌギ、コナラをはじめ、アカマツ、イヌザクラ、キヅタ、ヤマザクラ、亜高木層には、アオハダ、エゴノキ、コナラ、ネジキ、低木層には、アオハダ、イヌツゲ、エゴノキ、ガマズミ、シラカシ、シロダモ、スギ、トウネズミモチ、ネジキ、ヒサカキ、ムラサキシキブ、ヤマコウバシ、ヤマツツジ、草本層には、アキノキリンソウ、アケビ、アズマネザサ、アマドコロ、イチヤクソウ、オミナエシ、ガンクビソウ、クサボケ、コウヤボウキ、ササクサ、ジャノヒゲ、シュンラン、シラヤマギク、ススキ、センブリ、チゴユリ、テイカカズラ、ナルコユリ、ノガリヤス、ハナタデ、ママコナ、オオバノトンボソウ、ヤマウグイスカグラ、リンドウなどが見られる。なお、スマレ科の植物では、アカネスミレ、オカスミレ、タチツボスミレ、ニオイタチツボスミレ、フモトスミレなどが目立つ。

#### ・ハンノキ林

高木層にハンノキ、クヌギ、亜高木層には、アオハダ、エゴノキ、低木層には、アオハダ、イヌザクラ、イヌツゲ、エゴノキ、クサギ、コマユミ、コムラサキ、シュロ、シラカシ、トウネズミモチ、ヤマコウバシ、草本層には、アズマネザサ、クマヤナギ、コバギボウシ、シュロ、チダケサシ、ヤマウグイスカグラ、ヤマラッキョウなどが見られる。

#### ・ネジキ林

亜高木層にネジキが優占する林は、約 35m×90m の範囲で広がっている。高木層はコナラが優占し、その他には、アオハダ、アカマツ、イヌザクラ、ウワミズザクラ、クリ、ネジキ、ヤマザクラ、亜高木層には、アオハダ、エゴノキ、コナラ、リョウブ、低木層には、アオハダ、シラカシ、草本層には、アキノキリンソウ、アズマネザサ、クモキリソウ、ノガリヤス、オオバノトンボソウ、ヒサカキなどが見られる。

#### ・リョウブ林

リョウブ林が優占する林は、約 35m×50m の範囲で広がっている。高木層ではコナラが優占し、続いてアオハダ、アカマツ、リョウブが目立つ。立ち枯れしているアカマツが数本見られる。亜高木層には、リョウブが多い。続いて、アオハダ、エゴノキ、ハンノキ、ムクノキ、ネジキ、低木層には、スギ、ネジキなどが見られる。草本層の構成種は比較的少なく、アキノキリンソウ、ノガリヤス、オオバノトンボソウ、ヒメヤブランが見られる。

#### ・池周辺の湿地帯

池周辺の湿地帯には、ガマ、カワラスゲ、ゴウソ、スマトラノオ、ノカンゾウ、ヒメガマ、ヤワラスゲが見られる。

## 2. 注目すべき植物

### ・絶滅危惧植物

今回の調査で、レッドデータブック（環境庁自然保護局野生生物課、1997；茨城県環境保全課、1997）に記載されている絶滅危惧植物 6 種、キンラン、クチナシグサ、コイヌガラシ、ササクサ、ホソバイヌタデ、ミゾコウジュが確認された。

#### (1) キンラン（ラン科）

本州～九州に分布。山や丘陵地の疎林下に生える多年草。花期は 4～6 月で、黄色の花を 3～12 個つける。県内全域に普通に見られるとされるが、茨城県植物誌（鈴木ほか、1981）には、県西地区平野部では結城市、岩井市の記録がある。今回の調査では、筑西市上野で 5 個体、筑西市嘉家佐和で 4 個体確認することができた。環境省絶滅危惧Ⅱ類。

#### (2) クチナシグサ（ゴマノハグサ科）

低地の日当たりのよい落葉樹林下に生える半寄生の越年草。名は、果実の形がクチナシの果実に似ていることによる。花期は、4～6 月。茎上部の葉腋ごとに 1 花をつける。県内では稀に産するとされ、県西地区平野部では結城市、岩井市の記録があるのみである（鈴木ほか、1981）。県内では、コナラ林などの林床が明るいとこに生育するとされているが、あまり報告例がない。今回の調査では、筑西市上野で伐採地跡で比較的多く生育しているのを確認した。茨城県希少種。

(3) コイヌガラシ (アブラナ科)

本州(関東以西)～九州に分布。水湿地に多い無毛の1年草か多年草。花期は4～5月で、花は腋生し、黄色で短い柄がある。県南にやや稀とされ、県西地区平野部では下館市、岩井市、水海道市の記録がある(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、結城市田間の駐車場と、筑西市上野の池周辺において比較的多く生育していた。環境省準絶滅危惧。

(4) ササクサ (イネ科)

本州(関東以西)～琉球の林地に生える、やや硬い多年草。和名は笹草で、その葉がササ類の葉にやや似ているためである。花期は8～10月。県内ではやや普通とされるが、県西地区平野部での記録はない(鈴木ほか, 1981)。県内では、スギ林やアカマツ林の林床に生育している。今回の調査では、筑西市嘉家佐和で2個体確認することができた。茨城県希少種。

(5) ホソバユスタデ (タデ科)

北海道・本州(関東地方)に分布。水辺に生える1年草。花期は9～10月。総状花序は細い円柱形で、やや密に花をつける。県内では稀とされ、県西地区平野部では古河市の記録があるのみである(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、結城市田間で数個体確認することができた。環境省絶滅危惧 I B類。

(6) ミゾコウジュ (シソ科)

本州～琉球に分布。湿った草地やあぜに生える、ロゼット葉のある越年草。花期は5～6月、花冠は淡紫色。県内ではやや稀とされ、県西地区平野部では明野町、結城市、下妻市、境町、水海道市の記録がある(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市上野の林縁に1個体、結城市田間の駐車場において多くの個体数を確認することができた。環境省準絶滅危惧。茨城県希少種。

・その他の植物

(7) オトギリソウ (オトギリソウ科)

北海道～琉球に分布する多年草。葉を油に浸したものを切り傷、神経痛、関節炎などに使用する。花は黄色で、花期は7～9月。県内では普通とされるが、県西地区平野部では下館市の記録があるのみである(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、結城市田間で2個体確認することができた。

(8) オミナエシ (オミナエシ科)

北海道～九州に分布する山野にふつうな多年草。万葉時代から秋の七草として有名。花期は8～10月。多数の黄色の小花をつける。県内には普通とされ、県西地区平野部では下妻市、総和町、水海道市の記録がある(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市嘉家佐和のクヌギ林内で1個体確認することができた。

(9) カスミザクラ (バラ科)

北海道～九州に分布する落葉高木。温帯の山地に広く見られる。垂直分布ではヤマザクラより上部を占めるが、下方ではヤマザクラと重なるところがあり、混生するところもある。花期は4～5月。県内ではやや普通とされるが、県西地区平野部での記録はない(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、結城市田間の林縁で高木1個体を確認した。

(10) カタクリ (ユリ科) (図4)

北海道～九州の山野に群生する多年草。花期は4～6月、花茎の先に1個つき、下向きに開く。葉や茎は早春に地上に現れ、初夏に枯れる。県内では山地にやや普通とされるが、県西地区平野部での観察記録はない(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市上野で花を付けたものが3個体、花を付けないものが2個体、計5個体を確認した。



図4. カタクリ

(11) キクザキイチゲ (キンポウゲ科)

本州(近畿地方以北)、北海道の落葉広葉樹林の林縁や林床、ときには草原にも生える多年草。花期は3～5月、花を1個花茎に頂生する。葉や茎は早春に地上に現れ、初夏に枯れる。県内では山地に普通とされるが、県西地区平野部での観察記録はない(鈴木ほか,

1981). 今回の調査では、筑西市上野で花を付けていないものを5個体確認した。

(12) キチジョウソウ (ユリ科)

本州（関東以西）・四国・九州に分布する多年草。和名は吉祥草で、これを植えている家に吉事があると開花するという言い伝えから、「めでたい草」という意味でこの名がついたと言われる。花期は9～10月で、淡紅紫色の花が穂状につく。県内ではやや稀とされ、県西地区平野部では三和町、八千代町の記録がある（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、結城市田間において、2m四方の群落を2か所確認した。

(13) コオニユリ (ユリ科)

北海道～九州に分布。山地の草原に生える多年草。花期は7～9月、橙赤色で濃色の斑点がある花をつける。県内ではやや普通に見られるとされるが、県西地区平野部では真壁町の記録があるのみである（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、筑西市上野の林内に1個体確認した。

(14) サイハイラン (ラン科)

北海道～九州に分布。山地の林床に生える多年草。和名は花序の様子を采配に見立てたもの。花期は5～6月で、10～20花をやや密につけ、総状花序となる。県内の山地にやや普通とされるが、県西地区平野部では五霞村の記録があるのみである（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、筑西市上野で2個体、筑西市嘉家佐和で8個体確認した。

(15) ササバギンラン (ラン科)

北海道～九州に分布。山地樹林下に生える多年草。花期は5～6月で、白色の数花をまばらにつける。県内全域に普通に見られるとされるが、県西地区平野部では結城市、下妻市、岩井市の記録がある（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、筑西市上野で数個体確認することができた。

(16) シュンラン (ラン科)

北海道～九州に分布。主に乾いた落葉樹林の林床に生える多年草。花期は3～4月。唇弁にある濃赤紫色の斑点をほくろに見立てて、古くからホクロとも呼ばれている。県内全域に普通に見られるとされるが、県西地区平野部での記録はない（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、結城市田間で1個体、筑西市上野で数個体、

筑西市嘉家佐和で15個体確認することができた。

(17) ズミ (バラ科)

北海道～九州の山地に生える落葉性の小高木または低木。花期は5～6月、花は白色ではじめ紅色をおびる。県内の山地に普通とされるが、県西地区平野部では結城市、総和町の記録がある（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、結城市田間で高木2個体を確認することができた。

(18) センブリ (リンドウ科)

北海道西南部～九州に分布。山野の日当たりに生える1年草、越年草。全草に強い苦味があり、昔から健胃剤として有名。花期は8～11月、花は円錐状につく。県内に普通とされるが、県西地区平野部では下妻市、総和町の記録があるのみである（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、筑西市嘉家佐和において50個体以上確認することができた。

(19) ネジキ (ツツジ科) (図5)

本州（山形県・岩手県以南）～九州の疎林内や岩場に生える落葉小高木。名前は、幹がねじれていることによる。花期は5～6月、多数の花を下向きに開く。県内では普通とされるが、県西地区平野部では協和町での記録があるのみである（鈴木ほか, 1981）。今回の調査では、筑西市嘉家佐和で約35m×90mの林をつくっているのを確認した。



図5. ネジキ

(20) ノリウツギ (ユキノシタ科) (図6)

北海道～九州に分布する落葉小高木あるいは低木。名は、内皮の粘液が和紙の糊料に用いられたことに因

む。花期は7～9月、花序の周縁には装飾花がある。県内の山地に普通とされるが、県西地区平野部では結城市、総和町の記録がある(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、結城市田間で3個体、筑西市嘉家佐和で1個体の低木を確認した。



図6. ノリウツギ

(21) ママコナ (ゴマノハグサ科) (図7)

北海道西南部～九州に分布する半寄生の1年草。花期は7～9月、花冠は紅紫色。県内では普通とされ、県西地区平野部では結城市、下妻市、総和町、岩井市、水海道市の記録がある(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市嘉家佐和で5m×10mの範囲で一面に群落をつくり、約50個体咲いているのを確認した。



図7. ママコナ

(22) ヤブムラサキ (クマツヅラ科)

本州(宮城県以南)～九州に分布する落葉低木。枝・葉・花序や萼に密に軟毛がある。花期は6～7月、紅紫色の花をつける。県内には普通とされるが、県西地区平野部での記録はない(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市嘉家佐和のコナラ林で数個体確認した。

(23) ヤマラッキョウ (ユリ科) (図8)

本州(福島県以南)～琉球に分布。山地の草原に生

える多年草。花期は9～10月で、花茎の頂に多数の紅紫色の花が球状の散形花序につく。県内ではやや普通に見られるとされるが、県西地区平野部での記録はない(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市嘉家佐和で5個体確認した。



図8. ヤマラッキョウ

(24) リョウブ (リョウブ科)

北海道(南部)～九州の乾いた林内に生える落葉小高木。山地に生え、幹ははげ落ちてなめらかになり、茶褐色。花期は6～8月、枝先に数本の総状花序をやや円錐状につける。県内の山地に普通とされるが、県西地区平野部では協和町の記録があるのみである(鈴木ほか, 1981)。今回の調査では、筑西市嘉家佐和で約35m×50mの林をつくっているのを確認した。

**考察**

今回の調査で、確認された種数は、結城市田間で274種、筑西市上野で239種、筑西市嘉家佐和で264種であった。この種数には、植栽されたと考えられるもののほか、さまざまな方法で移入された外来種も含まれている。

本調査では、レッドデータブックに記載されている中で自生と考えられる絶滅危惧植物が、キンラン、クチナシグサ、コイヌガラシ、ササクサ、ホソバイヌタデ、ミゾコウジュの6種が確認された。それらのいずれもが、3つの里山全てで確認されてはおらず、個体数も比較的少ないため、絶滅が危惧される。

筑西市上野では、2009年3月下旬にカタクリの開花とキクザキイチゲを初めて確認することができた。これらの個体は、管理をしている里山を守る会の話によると、植栽されたものではないということである。この里山管理を初めて10年になるが、以前あったものが開花に至ったものと考えられる。今後、継続して観察したい。

## 引用文献

- 林弥栄. 1989. 山溪ハンディ図鑑1 野に咲く花. 623 pp., 山と溪谷社.
- 茨城県環境保全課 (編). 1997. 茨城県における絶滅のおそれのある 野生生物 (植物編) - 茨城県版レッドデータブック -. 253 pp., 茨城県.
- 環境庁自然保護局野生生物課. 2000. 改訂・日本の絶滅のおそれのある野生生物 - レッドデータブック - 8 植物 I (維管束植物). 660 pp., 環境庁.
- 佐竹義輔・原 寛・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編 I. 321 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・原 寛・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編 II. 305 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1981. 日本の野生植物草本編 III. 259 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 野生植物草本編 I. 305 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編 II. 318 pp., 平凡社.
- 鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也. 1981. 茨城県植物誌. 339 pp., 茨城県植物誌刊行会.

## 調査研究および執筆

太田俊彦 (筑西市立関城西小学校)

付表3. 結城市、筑西市(旧関城町、旧下館市)の維管束植物

学名	和名	結城市	旧関城町	旧下館市	備考
<b>Lycopodiaceae</b>					
1 <i>Lycopodium serratum</i> Thunb.	トウゲシバ			●	
<b>Selaginellaceae</b>					
2 <i>Selaginella remotifolia</i> Spring	クヤマゴケ			●	
<b>Equisetaceae</b>					
3 <i>Equisetum arvense</i> L.	スギナ	●	●	●	
<b>Ophioglossaceae</b>					
4 <i>Botrychium ternatum</i> (Thunb.) Sw.	フユノハナワラビ			●	
<b>Osmundaceae</b>					
5 <i>Osmunda japonica</i> Thunb.	ゼンマイ	●	●	●	
<b>Schizaceae</b>					
6 <i>Lygodium japonicus</i> (Thunb.) Sw.	カニクサ			●	
<b>Dennstaedtiaceae</b>					
7 <i>Pteridium aquilinum</i> (L.) Kuhn	ワラビ		●		
<b>Pteridaceae</b>					
8 <i>Pteris cretica</i> L.	オオバノイノモトソウ	●			
<b>Aspleniaceae</b>					
9 <i>Asplenium incisum</i> Thunb.	トラノオシダ	●			
<b>Dryopteridaceae</b>					
10 <i>Cyrtomium fontunei</i> J. Sm.	ヤブソテツ	●		●	
11 <i>Dryopteris erythrosora</i> (Eaton) O. Ktze.	ベニシダ	●		●	
<b>Thelypteridaceae</b>					
12 <i>Thelypteris japonica</i> (Bak.) Ching	ハリガネワラビ	●	●	●	
13 <i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa	ミドリヒメワラビ	●	●	●	
<b>Woodsiaceae</b>					
14 <i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance	イズワラビ	●	●	●	
15 <i>Deparia japonica</i> (Thunb.) M. Kato	シケシダ	●			
16 <i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Todaro	クサソテツ		●		
<b>Polypodiaceae</b>					
17 <i>Lepisorus thuncbergianus</i> (Kaulf.) Ching	ノキシノブ	●		●	
<b>Pinaceae</b>					
18 <i>Cedrus deodara</i> Loud.	ヒマラヤスギ	●			植栽
19 <i>Pinus densiflora</i> Siebold et Zucc.	アカマツ	●		●	
<b>Taxodiaceae</b>					
20 <i>Cryptomeria japonica</i> (L. fil.) D. Don	スギ	●		●	植栽
<b>Cupressaceae</b>					
21 <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	ヒノキ	●			植栽
22 <i>Chamaecyparis pisifera</i> (Siebold et Zucc.) Endl.	サワラ	●			植栽
<b>Cephalotaxaceae</b>					
23 <i>Cephalotaxus harringtonia</i> (Knight) K. Koch	イズガヤ	●			
<b>Juglandaceae</b>					
24 <i>Juglans mandshurica</i> Maxim. var. <i>sachalinensis</i> (Miyabe et Kudo) Kitam.	オニグルミ			●	
<b>Salicaceae</b>					
25 <i>Salix chaenomeloides</i> Kimura	アカメヤナギ		●		
<b>Betulaceae</b>					
26 <i>Alnus japonica</i> (Thunb.) Steud.	ハンノキ		●	●	
27 <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	イズシデ	●	●	●	
<b>Fagaceae</b>					
28 <i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	クリ		●	●	
29 <i>Quercus acutissima</i> Carrutherus	クヌギ	●	●	●	
30 <i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume	シラカシ	●	●	●	
31 <i>Quercus serrata</i> Thunb. ex. Muiray	コナラ	●	●	●	
<b>Ulmaceae</b>					
32 <i>Aphananthe aspera</i> (Thunb.) Planch.	ムクノキ	●	●	●	
33 <i>Celtis sinensis</i> Persoon var. <i>japonica</i> (Planch.) Nakai	エノキ	●	●	●	
34 <i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	ケヤキ		●	●	
<b>Moraceae</b>					
35 <i>Broussonetia kazinoki</i> Siebold	ヒメコウゾ		●		
36 <i>Fatoua villosa</i> (Thunb.) Nakai	クワクサ	●		●	
37 <i>Humulus japonicus</i> Siebold et Zucc.	カナムグラ	●	●	●	
38 <i>Morus alba</i> L.	マゴロ	●	●		逸出?
<b>Urticaceae</b>					
39 <i>Boehmeria longispica</i> Steud.	ヤブマオ	●	●		
40 <i>Boehmeria nipononivea</i> Koidz.	カラムシ		●		
41 <i>Boehmeria platanifolia</i> Franch. et Sav.	メヤブマオ	●	●		
42 <i>Boehmeria sieboldiana</i> Blume	ナガバヤブマオ	●			
43 <i>Pilea mongolica</i> Weddell	アオミズ	●	●	●	
<b>Polygonaceae</b>					
44 <i>Antennaria filiforme</i> (Thunb.) Roberty et Vautier	タデ科	●	●	●	
45 <i>Fagopyrum esculentum</i> Moench.	ミズヒキ	●	●	●	
46 <i>Persicaria hydropiper</i> (L.) Spach	ソバ		●		逸出
47 <i>Persicaria longiseta</i> (De Bruyn) Kitag.	ヤナギタデ		●		
48 <i>Persicaria perfoliata</i> (L.) H. Gross	イヌタデ	●	●	●	
49 <i>Persicaria scabra</i> (Moench) Mold.	イシミカワ		●		
50 <i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki	サナエタデ	●	●	●	
51 <i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H. Gross	アキノウチギツカミ			●	
52 <i>Persicaria trigonocarpa</i> (Makino) Nakai	ミゾソバ			●	
53 <i>Persicaria viscofera</i> (Makino) H. Gross	ホソバイヌタデ	●			環境省: 絶滅危惧 I B類
54 <i>Persicaria yokusaniana</i> (Makino) Nakai	ネバリタデ		●		
55 <i>Reynoutria japonica</i> Houtt.	ハナタデ	●	●	●	
56 <i>Rumex conglomeratus</i> Murr.	イタドリ		●		
57 <i>Rumex crispus</i> L.	アレチギシギシ		●		外来
58 <i>Rumex japonicus</i> Houtt.	ナガバギシギシ	●			外来
	ギシギシ	●	●		

結城市、筑西市（旧関城町、旧下館市）の維管束植物

学名	和名	結城市	旧関城町	旧下館市	備考
59 <i>Rumex obtusifolius</i> L.	エゾノギンギシ	●			外来
Phytolaccaceae					
60 <i>Phytolacca americana</i> L.	ヤマゴボウ科	●	●	●	外来
Nyctaginaceae					
61 <i>Mirabilis jalapa</i> L.	オシロイバナ科	●			逸出
Aizoaceae					
62 <i>Mollugo pentaphylla</i> L.	ザクロソウ科			●	
Caryophyllaceae					
63 <i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.	オランダミミナグサ	●	●		外来
64 <i>Myosoton aquaticum</i> (L.) Moench	ウシハコベ	●	●	●	
65 <i>Sagina japonica</i> (Sw.) Ohwi	ツメクサ	●		●	
66 <i>Stellaria media</i> (L.) Villars	ハコベ		●	●	
67 <i>Stellaria media</i> (L.) Villars	コハコベ	●	●		外来
Chenopodiaceae					
68 <i>Ambrina ambrosioides</i> (L.) Spach var. <i>pubescens</i> Makino	アカザ科	●			外来
69 <i>Chenopodium album</i> L.	アリタソウ	●		●	
70 <i>Chenopodium centrurbrum</i> (Makino) Nakai	シロザ	●		●	
71 <i>Chenopodium serotinum</i> L.	アカザ	●	●		外来
Amaranthaceae					
72 <i>Achyranthes fauriei</i> Lév. et Van.	ヒカゲイノコズチ		●	●	
73 <i>Achyranthes japonica</i> (Miq.) Nakai	ヒナタイノコズチ	●		●	
74 <i>Achyranthes longifolia</i> (Makino) Makino	ヤナギイノコズチ	●	●	●	
75 <i>Amaranthus lividus</i> L. var. <i>ascendens</i> (Lois.) Thell.	イヌビユ	●			
76 <i>Amaranthus patulus</i> Bertoloni	ホソアオグイトウ	●			外来
Magnoliaceae					
77 <i>Magnolia praecoccisima</i> Koidz.	モクレン科	●	●	●	
Schisandraceae					
78 <i>Kadsura japonica</i> (Thunb.) Dunal	コブシ	●			
Illiciaceae					
79 <i>Illicium anisatum</i> L.	マツブサ科	●			
Lauraceae					
80 <i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	サネカズラ	●			
81 <i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	シキミ科	●			
Ranunculaceae					
82 <i>Anemone pseudo-altaica</i> Hara	クスノキ科				
83 <i>Clematis terniflora</i> DC.	ヤマコウバン	●	●	●	
84 <i>Ranunculus cantoniensis</i> DC.	シロダモ	●	●	●	
85 <i>Thalictrum minus</i> L. var. <i>hypoleucum</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	キンポウゲ科				
86 <i>Mahonia japonica</i> (Thunb.) DC.	キクザキイチゲ		●		
Berberidaceae					
87 <i>Nandina domestica</i> Thunb.	センニンソウ			●	逸出
Lardizabalaceae					
88 <i>Akebia quinata</i> (Thunb.) Decne.	ケキツネノボタン			●	
89 <i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	アキカラマツ	●			
90 <i>Stauntonia hexaphylla</i> (Thunb.) Decne.	メギ科				
Menispermaceae					
91 <i>Cocculus trilobus</i> (Thunb.) DC.	ヒイラギナンテン			●	逸出
Saururaceae					
92 <i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	ナンテン	●		●	逸出
Actinidiaceae					
93 <i>Actinidia chinensis</i> Planch.	アケビ科				
Theaceae					
94 <i>Camellia japonica</i> L.	アケビ	●	●	●	
95 <i>Camellia sinensis</i> (L.) O. Kuntze	ミツバアケビ			●	
96 <i>Eurya japonica</i> Thunb.	ムベ			●	
97 <i>Ternstroemia gymnanthera</i> (Wight et Arn.) Sprague	ツツラフジ科				
Guttiferae					
98 <i>Hypericum erectum</i> Thunb.	アオツツラフジ	●			
99 <i>Surothra laxa</i> (Blume) Y. Kimura	ドクダミ科				
Papaveraceae					
100 <i>Chelidonium majus</i> L. var. <i>asiaticum</i> (Hara) Ohwi	ドクダミ	●	●	●	
101 <i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	マタタビ科				
102 <i>Macleaya cordata</i> (Willd.) R. Br.	シナサルナン	●	●		逸出
103 <i>Papaver dubium</i> L.	ツバキ科				
Cruciferae					
104 <i>Brassica napus</i> L.	ヤブツバキ	●			
105 <i>Capsella bursa-pastoris</i> Medicus	チャノキ	●	●	●	逸出
106 <i>Cardamine flexuosa</i> With.	ヒサカキ	●		●	
107 <i>Cardamine parviflora</i> L.	モッコク	●			逸出
108 <i>Draba nemorosa</i> L.	オトギリソウ科				
109 <i>Lepidium virginicum</i> L.	オトギリソウ	●			
110 <i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O. E. Schulz	コケオトギリ		●	●	
111 <i>Rorippa cantoniensis</i> (Lour.) Ohwi	ケシ科				
112 <i>Rorippa indica</i> (L.) Hiern	クサノオウ			●	
113 <i>Rorippa islandica</i> (Oeder) Borbkg	ムラサキケマン	●	●	●	
114 <i>Thlaspi arvense</i> L.	タケニグサ	●	●		
Crassulaceae					
115 <i>Sedum bulbiferum</i> Makino	ナガミヒナゲシ	●			外来
Saxifragaceae					
116 <i>Astilbe microphylla</i> Knoll	アブラナ科				
117 <i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb. ex Murr.) Ser. f. <i>macrophylla</i>	セイヨウアブラナ	●		●	外来
118 <i>Hydrangea paniculata</i> Siebold et Zucc.	ナズナ	●	●	●	
119 <i>Saxifraga stolonifera</i> Meerbt.	タネツケバナ	●	●	●	外来
Rosaceae					
120 <i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	コナツメクサ	●	●		外来
	イヌナズナ		●		
	マメゲンバインズナ	●			外来
	ハナダイコン	●	●	●	外来
	コイヌガラシ	●	●		環境省：準絶滅危惧
	イヌガラシ	●	●	●	
	スカシタゴボウ	●	●	●	
	ゲンバインズナ			●	外来
ベンケイソウ科					
121 <i>Sedum bulbiferum</i> Makino	コモチマンネングサ			●	
ユキノシタ科					
122 <i>Astilbe microphylla</i> Knoll	ユキノシタ		●	●	
123 <i>Hydrangea macrophylla</i> (Thunb. ex Murr.) Ser. f. <i>macrophylla</i>	チダケサシ		●	●	
124 <i>Hydrangea paniculata</i> Siebold et Zucc.	アジサイ	●			植栽
125 <i>Saxifraga stolonifera</i> Meerbt.	フリウツギ	●		●	
126 <i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	ユキノシタ			●	逸出
バラ科					
127 <i>Agrimonia pilosa</i> Ledeb. var. <i>japonica</i> (Miq.) Nakai	キンミズヒキ	●	●	●	

	学名	和名	結 城 市	旧 開 城 町	旧 下 館 市	備 考
121	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Sprach	クサボケ	●	●	●	
122	<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Mor.) Miq.	ヘビイチゴ	●	●	●	
123	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold ex Vriese	ズミ	●			
124	<i>Potentilla fragarioidea</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	キジムシロ		●		
125	<i>Potentilla freyniana</i> Borm.	ミツバツチグリ	●	●	●	
126	<i>Pourthiaea vilosa</i> (Thunb.) Decne. var. <i>laevis</i> (Thunb.) Stapf.	カマツカ		●		
127	<i>Prunus buergeriana</i> Miq.	イヌザクラ	●	●	●	
128	<i>Prunus grayana</i> Maxim.	ウワミズザクラ	●	●	●	
129	<i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz.	ヤマザクラ	●	●	●	
130	<i>Prunus verecunda</i> (Koidz.) Koehne	カスミザクラ	●			
131	<i>Rosa multiflora</i> Thunb.	ノイバラ	●	●	●	
132	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	クサイチゴ		●		
133	<i>Rubus microphyllus</i> L. fil.	ニガイチゴ	●			
134	<i>Rubus parvifolius</i> L.	ナワシロイチゴ	●	●	●	
135	<i>Sanguisorba officinalis</i> L.	ワレモコウ		●	●	
Leguminosae						
136	<i>Aeschynomene indica</i> L.	クサネム		●		
137	<i>Albizia julibrissin</i> Durazz.	ネムノキ	●	●	●	
138	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Felnald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliver) Ohashi	ヤブマメ	●	●	●	
139	<i>Astragalus sinicus</i> L.	ゲンゲ		●		
140	<i>Desmodium oldhamii</i> Oliver	フジカンゾウ			●	
141	<i>Desmodium podocarpum</i> DC. subsp. <i>oxyphyllum</i> (DC.) Ohashi	スズビトハギ	●	●	●	
142	<i>Glycine max</i> (L.) Merr. subsp. <i>soja</i> (Siebold et Zucc.) Ohashi	ソルマメ	●			
143	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz.	ヤマハギ		●	●	
144	<i>Lespedeza stipulacea</i> Maxim.	マルハキヤハズソウ	●			
145	<i>Lespedeza striata</i> (Thunb.) Hook. et Arn.	ヤハズソウ			●	
146	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	クズ	●	●	●	
147	<i>Sophora japonica</i> L.	エンジュ	●			植栽
148	<i>Trifolium repens</i> L.	シロツメクサ	●	●		外来
149	<i>Vicia angustifolia</i> L.	ヤハズエンドウ	●	●		
150	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	フジ		●	●	
Oxalidaceae						
151	<i>Oxalis corniculata</i> L.	カタハミ			●	
Geraniaceae						
152	<i>Geranium carolinianum</i> L.	アメリカフウロ	●	●		外来
153	<i>Geranium nepalense</i> Sweet subsp. <i>thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) Hara	ゲンシヨウコ		●		
Euphorbiaceae						
154	<i>Acalypha australis</i> L.	エノキグサ	●		●	
155	<i>Euphorbia maculata</i> L.	オオニシキソウ	●			外来
156	<i>Euphorbia pekinensis</i> Rupr.	タカトウダイ		●		
157	<i>Mallotus japonicus</i> (Thunb. ex Murr.) Muell.-Arg.	アカメガシワ	●	●		
Daphniphyllaceae						
158	<i>Daphniphyllum macropodum</i> Miq.	ユズリハ		●		
Rutaceae						
159	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	サンショウ		●	●	
160	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	イヌザンショウ	●			
Simaroubaceae						
161	<i>Ailanthus altissima</i> Swingle	ニワウルシ		●		移出
Meliaceae						
162	<i>Melia azedarach</i> L. var. <i>subtripinnata</i> Miq.	センダン			●	逸出
Anacardiaceae						
163	<i>Rhus javanica</i> L. var. <i>roxburghii</i> (DC.) Rehd. et Wils.	ヌルデ	●		●	
164	<i>Rhus trichocarpa</i> Miq.	ヤマウルシ	●	●	●	
Aceraceae						
165	<i>Acer amoenum</i> Carr.	オオモミジ	●			逸出
Aquifoliaceae						
166	<i>Ilex crenata</i> Thunb.	イヌツゲ	●	●	●	
167	<i>Ilex integra</i> Thunb.	モチノキ		●	●	
168	<i>Ilex macropoda</i> Miq.	アオハダ	●	●		
169	<i>Ilex serrata</i> Thunb.	ウメモドキ	●		●	
Celastraceae						
170	<i>Celastrus orbiculatus</i> Thunb.	ツルウメモドキ	●	●	●	
171	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>striatus</i> (Thunb.) Makino	コマユミ	●	●	●	
172	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	マユミ	●	●	●	
Staphyleaceae						
173	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	ミツバウツギ科		●	●	
Rhamnaceae						
174	<i>Berberis racemosa</i> Siebold et Zucc.	クロウメモドキ科			●	
Vitaceae						
175	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Hara	ブドウ	●	●	●	
176	<i>Cayratia japonica</i> (Thunb.) Gagn.	ヤブガラシ	●	●	●	
177	<i>Parthenocissus tricuspidata</i> (Siebold et Zucc.) Planch.	ツタ	●	●	●	
178	<i>Vitis thunbergii</i> Siebold et Zucc.	エビヅル	●	●	●	
Tiliaceae						
179	<i>Corchoropsis tomentosa</i> (Thunb.) Makino	カラスノゴマ	●			
Malvaceae						
180	<i>Abutilon avicennae</i> Gaertn.	イチビ	●			外来
181	<i>Malva neglecta</i> Wallr.	ゼニバアオイ	●			外来
182	<i>Sida spinosa</i> L.	アメリカキンゴジカ	●			外来
Elaeagnaceae						
183	<i>Elaeagnus nikoensis</i> Nakai ex Hara	グミ科				
Violaceae						
184	<i>Viola grypoceras</i> A. Gray	ニッコウナツグミ	●			
185	<i>Viola japonica</i> Langsd.	スミレ科		●	●	
186	<i>Viola keiskei</i> Miq. f. <i>okuboii</i> (Makino) F. Maekawa	タチツボスミレ		●	●	
		コスミレ			●	
		ケマルバスマシレ	●		●	

結城市、筑西市（旧関城町、旧下館市）の維管束植物

学名	和名	結城市	旧関城町	旧下館市	備考
187 <i>Viola mandshurica</i> W. Becker	ズミレ			●	
188 <i>Viola obtusa</i> (Makino) Makino	ニオイタチツボスミレ		●	●	
189 <i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.	アカネズミレ		●	●	
190 <i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim. var. <i>glaberrima</i> W. Becker	オカスミレ			●	
191 <i>Viola sieboldii</i> Maxim.	アモトスミレ			●	
192 <i>Viola sororia</i> Willd.	アメリカスミレサイシン		●		外来
193 <i>Viola verecunda</i> A. Gray	ツボスミレ	●	●	●	
194 <i>Viola yedoensis</i> Makino	ノジスミレ		●		
Cucurbitaceae					
195 <i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	アマチャヅル	●	●	●	
196 <i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim. ex Cogn.	ズズメウリ			●	
197 <i>Sicyos angulatus</i> L.	アレチウリ	●			外来
198 <i>Trichosanthes cucumeroides</i> (Ser.) Maxim.	カラスウリ	●	●	●	
Onagraceae					
199 <i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	ミスダマンウ		●		
200 <i>Ludwigia epilobioides</i> Maxim.	チョウジタデ			●	
201 <i>Oenothera biennis</i> L.	メマツヨイグサ	●			外来
Haloragidaceae					
202 <i>Myriophyllum brasiliense</i> Cambess.	アリオトウグサ科				
	オオフサモ		●		外来
Cornaceae					
203 <i>Aucuba japonica</i> Thunb.	ミスズキ科				
204 <i>Swida controversa</i> (Hemsl.) Soják	アオキ	●	●	●	
	ミスズキ	●	●		
Araliaceae					
205 <i>Acanthopanax spinosus</i> (L. fil.) Miq.	ウコギ科				
206 <i>Aralia cordata</i> Thunb.	ヤマウコギ	●	●	●	
207 <i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann	ウド	●	●	●	
208 <i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	ダラノキ	●	●	●	
209 <i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	ヤツデ	●		●	逸出
210 <i>Kalopanax pictus</i> (Thunb.) Nakai	キツタ	●	●	●	
	ハリギリ	●			
Umbelliferae					
211 <i>Angelica decursiva</i> (Miq.) Franch. et Sav.	セリ科				
212 <i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk.	ノダケ		●		
213 <i>Oenanthe javanica</i> DC.	ミツバ			●	
214 <i>Sium ninsi</i> L.	セリ	●	●	●	
215 <i>Torilis scabra</i> (Thunb.) DC.	ムカゴニンジン			●	
	オヤブジラミ	●		●	
Clethraceae					
216 <i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	リョウブ科			●	
	リョウブ				
Pyrolaceae					
217 <i>Pyrola japonica</i> Klenze	イチヤクソウ科				
	イチヤクソウ			●	
Ericaceae					
218 <i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Druce var. <i>elliptica</i> (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.	ツツジ科				
219 <i>Rhododendron obtusum</i> (Lindl.) Planch. var. <i>kaempferi</i> (Planch.) Wils.	ネジキ			●	
	ヤマツツジ			●	
Myrsinaceae					
220 <i>Ardisia crenata</i> Sims	ヤブコウジ科				
221 <i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	マンリョウ	●		●	
222 <i>Lysimachia clethroides</i> Duby	ヤブコウジ	●	●	●	
223 <i>Lysimachia fortunei</i> Maxim.	オカトラノオ		●		
224 <i>Lysimachia japonica</i> Thunb.	スマトラノオ			●	
	コナスビ	●		●	
Ebenaceae					
225 <i>Diospyros kaki</i> Thunb.	カキノキ科				
	カキノキ	●			逸出
Styracaceae					
226 <i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.	エゴノキ科				
	エゴノキ	●	●	●	
Symplocaceae					
227 <i>Symplocos chinensis</i> (Lour.) Druce var. <i>leucocarpa</i> (Nakai) Ohwi f. <i>pilosa</i> (Nakai) Ohwi	ハイノキ科				
	サワフタギ	●	●	●	
Oleaceae					
228 <i>Ligustrum japonicum</i> Thunb.	モクセイ科				
229 <i>Ligustrum lucidum</i> Ait.	ネズミモチ	●		●	
230 <i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	トウネズミモチ	●		●	逸出
231 <i>Osmanthus heterophyllus</i> (G. Don) P. S. Green	イボタノキ	●	●	●	
	ヒイラギ	●		●	逸出？
Gentianaceae					
232 <i>Gentiana scabra</i> Bunge var. <i>buergeri</i> (Miq.) Maxim.	リンドウ科				
233 <i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino	リンドウ	●	●	●	
	センブリ			●	
Apocynaceae					
234 <i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	キョウチクトウ科				
	テイカズラ	●		●	
Asclepiadaceae					
235 <i>Metaplexis japonica</i> (Thunb.) Makino	ガガイモ科				
	ガガイモ			●	
Rubiaceae					
236 <i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Hayek	アカネ科				
237 <i>Hedyotis lindleyana</i> Hook. var. <i>hirsuta</i> (L. fil.) Hara	ヤエムグラ	●	●	●	
238 <i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merr.	ハシカグサ	●		●	
239 <i>Rubia argyi</i> (Le'v.) Hara	ヘクソクズラ	●	●	●	
	アカネ		●	●	
Convulvaceae					
240 <i>Calystegia hederacea</i> Wall.	ヒルガオ科				
241 <i>Calystegia japonica</i> Choisy	コヒルガオ	●			
242 <i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>integriscula</i> A. Gray	ヒルガオ		●		
243 <i>Ipomoea lacunosa</i> L.	マルバアメリカアサガオ	●			外来
244 <i>Quamoclit coccinea</i> (L.) Moench	マメアサガオ	●			外来
	マルバルコウ	●	●	●	外来
Boraginaceae					
245 <i>Bothriospermum tenellum</i> (Hornem.) Fisch. et C. A. Mey.	ムラサキ科				
246 <i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth.	ハナイバナ			●	
	キュウリグサ	●	●		
Verbenaceae					
247 <i>Callicarpa dichotoma</i> (Lour.) K. Koch	クマツヅラ科				
248 <i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	コムラサキ	●		●	
249 <i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.	ムラサキシキブ	●	●	●	
250 <i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	ヤブムラサキ	●		●	
	クサギ	●	●	●	

学名	和名	結 城 市	旧 開 城 町	旧 下 館 市	備 考
<b>Labiatae</b>	<b>シソ科</b>				
251 <i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	キランソウ	●			
252 <i>Elsholtzia ciliata</i> (Thunb.) Hylander	ナギナタコウジュ	●		●	
253 <i>Glechoma hederacea</i> L. subsp. <i>grandis</i> (A. Gray) Hara	カキドオシ	●	●		
254 <i>Lamium amplexicaule</i> L.	ホトケノザ	●	●	●	
255 <i>Lamium purpureum</i> L.	ヒメオドリコソウ	●	●	●	外来
256 <i>Leonurus japonicus</i> Houtt.	メハジキ	●			
257 <i>Lycopus lucidus</i> Turcz.	シロネ	●		●	
258 <i>Mosla dianthera</i> (Hamilt.) Maxim.	ヒメジソ	●	●	●	
259 <i>Mosla punctulata</i> (J. F. Gmel.) Nakai	イヌコウジュ	●			
260 <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>citriodora</i> (Makino) Ohwi	レモンエゴマ	●			
261 <i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) Decne.	シソ	●			
262 <i>Rabdosia inflata</i> (Thunb.) Hara	ヤマハッカ		●		
263 <i>Salvia plebeia</i> R. Br.	ミソコウジュ	●			環境省: 準絶滅危惧, 茨城: 希少種
264 <i>Stachys riederi</i> Chamisso var. <i>intermedia</i> (Kudo) Kitam.	イヌゴマ		●		
<b>Solanaceae</b>	<b>ナス科</b>				
265 <i>Lycium chinense</i> Miller	クコ	●			
266 <i>Solanum americanum</i> Mill	アメリカイヌホオズキ	●	●	●	外来
267 <i>Solanum lyratum</i> Thunb.	ヒヨドリジョウゴ	●			
268 <i>Tubocapsicum anomalum</i> (Franch. et Sav.) Makino	ハダカホオズキ	●			
<b>Scrophulariaceae</b>	<b>ゴマノハグサ科</b>				
269 <i>Lindernia antipoda</i> (L.) Alston	スズメノトウガラシ	●			
270 <i>Lindernia dubia</i> (L.) Pennell	アメリカアゼナ	●		●	外来
271 <i>Mazus miquelii</i> Makino	サギゴケ	●			
272 <i>Mazus pumilus</i> (Burm. fil.) Steenis	トキワハゼ	●		●	
273 <i>Melampyrum roseum</i> Maxim. var. <i>japonicum</i> Franch. et Sav.	ママコナ			●	
274 <i>Monochasma sheareri</i> (Moore) Maxim.	クチナシグサ	●	●		茨城: 希少種
275 <i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	オオヒナノウスツボ	●	●		
276 <i>Veronica anagallis-aquatica</i> L.	オオカワヂシヤ	●	●		外来
277 <i>Veronica arvensis</i> L.	タチイヌノフグリ	●	●	●	外来
278 <i>Veronica persica</i> Poir.	オオイヌノフグリ	●	●	●	外来
<b>Acanthaceae</b>	<b>キツネノマゴ科</b>				
279 <i>Justicia procumbens</i> L.	キツネノマゴ	●	●		
<b>Orobanchaceae</b>	<b>ハマウツボ科</b>				
280 <i>Aeginetia indica</i> L.	ナンバンギセル		●		
<b>Phrymaceae</b>	<b>ハエドクソウ科</b>				
281 <i>Phryma leptostachya</i> L. var. <i>asiatica</i> Hara	ハエドクソウ		●	●	
<b>Plantaginaceae</b>	<b>オオバコ科</b>				
282 <i>Plantago asiatica</i> L.	オオバコ	●	●	●	
<b>Caprifoliaceae</b>	<b>スイカズラ科</b>				
283 <i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>gracilipes</i>	ヤマウグイスカグラ	●	●	●	
284 <i>Lonicera gracilipes</i> Miq. var. <i>glabra</i> Miq.	ウグイスカグラ			●	
285 <i>Lonicera japonica</i> Thunb.	スイカズラ	●	●	●	
286 <i>Sambucus chinensis</i> Lindl.	ソクズ	●			
287 <i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara	ニワトコ	●	●	●	
288 <i>Viburnum dilatatum</i> Thunb. ex Murr.	ガマズミ	●	●	●	
<b>Valerianaceae</b>	<b>オミナエシ科</b>				
289 <i>Patrinia scabiosaefolia</i> Fisch.	オミナエシ			●	
<b>Campanulaceae</b>	<b>キキョウ科</b>				
290 <i>Adenophora triphylla</i> (Thunb.) A. DC. var. <i>japonica</i> (Regel) Hara	ツリガネニンジン		●	●	
<b>Compositae</b>	<b>キク科</b>				
291 <i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	ノブキ	●			
292 <i>Ambrosia artemisiifolia</i> L. var. <i>elatiior</i> (L.) Descortiz	ブタクサ	●		●	外来
293 <i>Ambrosia trifida</i> L.	クワモドキ	●	●		外来
294 <i>Artemisia princeps</i> Pamp.	ヨモギ	●	●	●	
295 <i>Aster ageratoides</i> Turcz. subsp. <i>ovatus</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	ノコンギク		●		
296 <i>Aster scaber</i> Thunb.	シラヤマギク		●	●	
297 <i>Bidens frondosa</i> L.	アメリカセンダングサ		●	●	外来
298 <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>minor</i> (Blume) Sherff	コシロノセンダングサ	●			外来
299 <i>Bidens pilosa</i> L. var. <i>pilosa</i>	コセンダングサ	●	●	●	外来
300 <i>Carpesium abrotanoides</i> L.	ヤブタバコ	●		●	
301 <i>Carpesium divaricatum</i> Siebold et Zucc.	ガクンビソウ		●		
302 <i>Carpesium glossophyllum</i> Maxim.	サジガクンビソウ		●	●	
303 <i>Cirsium japonicum</i> DC.	ノアザミ			●	
304 <i>Cirsium nipponicum</i> (Maxim.) Makino var. <i>incomptum</i> (Franch. et Sav.) Kitam.	トネアザミ	●			
305 <i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	ノハラアザミ		●	●	
306 <i>Conyza sumatrensis</i> (Retz.) Walker	オオアレチノギク	●			外来
307 <i>Crassocephalum crepidioides</i> (Bentham) S. Moore	ベニバナボロギク	●	●	●	外来
308 <i>Dendranthema x morifolium</i> Ramat.	イエギク			●	逸出
309 <i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.	アメリカカタカサブロウ	●			外来
310 <i>Erechtites hieracifolia</i> (L.) Raf.	ダンドボロギク	●		●	外来
311 <i>Erigeron canadensis</i> L.	ヒメムカシヨモギ	●		●	外来
312 <i>Erigeron philadelphicus</i> L.	ハルジオン	●	●	●	外来
313 <i>Eupatorium chinense</i> L.	ヒヨドリバナ	●	●	●	
314 <i>Galinsoga ciliata</i> (Raf.) Blake	ハキダメギク	●	●	●	外来
315 <i>Gnaphalium affine</i> D. Don	ハハコグサ	●	●	●	
316 <i>Helianthus strumosus</i> L.	イヌキクイモ	●			外来
317 <i>Hemistepta lyrata</i> Bunge	キツネアザミ	●		●	
318 <i>Hypochoeris radicata</i> L.	ブタン		●		外来
319 <i>Ixeris dentata</i> (Thunb.) Nakai	ニガナ	●	●	●	
320 <i>Kalimeris pinnatifida</i> (Maxim.) Kitam.	ユウガギク		●	●	
321 <i>Kalimeris pseudo-yomena</i> Kitam.	カントウヨメナ	●	●		
322 <i>Lactuca indica</i> L.	アキノノゲシ	●	●		
323 <i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch. Bip.	コウヤボウキ			●	
324 <i>Picris hieracioides</i> L. subsp. <i>japonica</i> (Thunb.) Krylov	コウブリン		●		

結城市、筑西市（旧関城町、旧下館市）の維管束植物

学名	和名	結城市	旧関城町	旧下館市	備考
325 <i>Petasites japonicus</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	フキ		●		
326 <i>Senecio vulgaris</i> L.	ノボロギク	●	●	●	外来
327 <i>Siegesbeckia orientalis</i> L. subsp. <i>glabrescens</i> (Makino) Kitam.	コメナモミ	●	●	●	
328 <i>Solidago altissima</i> L.	セイタカアワダチソウ	●	●	●	外来
329 <i>Solidago virgaurea</i> L. subsp. <i>asiatica</i> Kitam.	アキノリクソウ			●	
330 <i>Sonchus asper</i> (L.) Hill.	オニノゲシ	●	●	●	外来
331 <i>Sonchus oleraceus</i> L.	ノゲシ	●		●	
332 <i>Stenactis annuus</i> (L.) Cass.	ヒメジョオン	●	●	●	外来
333 <i>Taraxacum officinale</i> Weber	セイヨウタンポポ	●	●	●	外来
334 <i>Xanthium occidentale</i> Bertoloni	オオオナモミ	●		●	外来
335 <i>Youngia denticulata</i> (Houtt.) Kitam.	ヤクシソウ		●	●	
336 <i>Youngia japonica</i> (L.) DC.	オニタビラコ	●	●	●	
Alismataceae					
337 <i>Alisma canaliculatum</i> A. Br. et Bouché	ヘラオモダカ			●	
Liliaceae					
338 <i>Allium grayi</i> Regel	ノビル	●			
339 <i>Allium thunbergii</i> G. Don	ヤマラッキョウ			●	
340 <i>Disporum sessile</i> Don	ホウチャクソウ	●	●		
341 <i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	チゴユリ	●	●	●	
342 <i>Erythronium japonicum</i> Decne.	カタクリ		●		
343 <i>Hemerocallis fulva</i> L. var. <i>longituba</i> (Miq.) Maxim.	ノカンゾウ		●	●	
344 <i>Hosta albo-marginata</i> (Hooker) Ohwi	コバギボウシ	●	●	●	
345 <i>Lilium auratum</i> Lindl.	ヤマユリ	●		●	
346 <i>Lilium leichthlinii</i> Hooker fil. var. <i>maximowiczii</i> (Regel) Baker	コオニユリ		●		
347 <i>Liriope minor</i> (Maxim.) Makino	ヒメヤブラン		●	●	
348 <i>Liriope platyphylla</i> Wang et Tang	ヤブラン	●	●	●	
349 <i>Ophiopogon japonicus</i> (L. fil.) Ker-Gawl. var. <i>japonicus</i>	ジャノヒゲ			●	
350 <i>Ophiopogon japonicus</i> (L. fil.) Ker-Gawl. var. <i>umbrosus</i> Maxim.	ナガバシヤノヒゲ	●			
351 <i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	ナルコユリ	●		●	
352 <i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	アマドコロ		●	●	
353 <i>Reineckea carnea</i> (Andr.) Kunth	キチジョウソウ	●			
354 <i>Rohdea japonica</i> (Thunb.) Roth	オモト	●			逸出
355 <i>Scilla scilloides</i> (Lindl.) Druce	ツルボ		●	●	
356 <i>Smilax china</i> L.	サルトリイバラ	●	●	●	
357 <i>Smilax riparia</i> A. DC. var. <i>ussuriensis</i> (Regel) Hara et T. Koyama	シオデ		●	●	
358 <i>Tulipa gesneriana</i> L.	チューリップ	●			逸出
Amaryllidaceae					
359 <i>Lycoris radiata</i> Herb.	ヒガンバナ科				
	ヒガンバナ	●	●		
Dioscoreaceae					
360 <i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	ヤマノイモ	●	●	●	
361 <i>Dioscorea tokoro</i> Makino	オニドコロ	●	●	●	
Juncaceae					
362 <i>Juncus effusus</i> L. var. <i>deciptens</i> Buchen.	イ		●	●	
363 <i>Juncus tenuis</i> Willden.	クサイ		●		
364 <i>Luzula capitata</i> (Miq.) Miq.	スズメノヤリ		●		
Commelinaceae					
365 <i>Commelina communis</i> L.	ツユクサ	●	●	●	
366 <i>Murdannia keisak</i> (Hassk.) Hand.-Mazz.	イボクサ		●		
367 <i>Pollia japonica</i> Thunb.	ヤブミョウガ	●	●	●	
Poaceae					
368 <i>Agropyron tsukushiense</i> (Honda) Ohwi var. <i>transiens</i> (Hack.) Ohwi	カモジグサ	●	●	●	
369 <i>Agrostis clavata</i> Trin. var. <i>nikabo</i> Ohwi	ヌカボ			●	
370 <i>Alopecurus aequalis</i> Sobol.	スズメノテッポウ	●	●		
371 <i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	コブナグサ		●		
372 <i>Avena fatua</i> L.	カラスムギ	●			外来
373 <i>Avena sativa</i> L.	マカラスムギ	●			外来
374 <i>Bromus catharticus</i> Vahl	イヌムギ	●		●	外来
375 <i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth. var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack.	ノガリヤス	●	●	●	
376 <i>Coix lacryma-jobi</i> L.	ジュズダマ	●	●		
377 <i>Dactylis glomerata</i> L.	カモガヤ		●		外来
378 <i>Digitaria ciliaris</i> (Retz.) Koeler	ヒシバ	●			
379 <i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) A. Camus	アブラスキ		●		
380 <i>Echinochloa crus-galli</i> (L.) Beauv. var. <i>caudata</i> (Roshev.) Kitag.	イヌビエ	●		●	
381 <i>Eleusine indica</i> (L.) Gaertner	オヒシバ	●			
382 <i>Eragrostis ferruginea</i> (Thunb.) Beauv.	カゼクサ		●		
383 <i>Festuca elatior</i> L.	ヒロハワシノケグサ	●			外来
384 <i>Festuca parvigluma</i> Steud.	トボシガラ	●	●	●	
385 <i>Isachne globosa</i> (Thunb.) O. Kuntze	チゴザサ			●	
386 <i>Lolium multiflorum</i> Lam.	ネズミムギ	●	●		外来
387 <i>Lophatherum gracile</i> Brongn.	ササクサ			●	茨城: 希少種
388 <i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A. Camus	ヒメアシボソ		●	●	
389 <i>Miscanthus sinensis</i> Anders.	スキ	●	●	●	
390 <i>Muhlenbergia japonica</i> Steud.	ネズミガヤ		●		
391 <i>Oplismenus undulatifolius</i> (Arduino) Roem. et Schult.	チヂミザサ	●	●	●	
392 <i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	ヌカキビ	●	●	●	
393 <i>Pennisetum alopecuroides</i> (L.) Spreng.	チカラシバ		●		
394 <i>Phalaris arundinacea</i> L.	クサヨシ	●			
395 <i>Phragmites communis</i> Trin.	ヨシ			●	
396 <i>Pleioblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	アズマネザサ	●	●	●	
397 <i>Poa annua</i> L.	スズメノカタビラ	●		●	
398 <i>Polygonon fugax</i> Steud.	ヒエガユリ	●			
399 <i>Setaria faberi</i> Herrm.	アキノエノコログサ	●			
400 <i>Setaria glauca</i> (L.) Beauv.	キンエノコロ	●	●	●	
401 <i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv.	エノコログサ	●			
402 <i>Sorghum halepense</i> (L.) Pers. var. <i>propinquum</i> (Hitchc.) Ohwi	セイバンモロコシ	●			外来

学名	和名	結 城 市	旧 関 城 町	旧 下 館 市	備 考
403 <i>Trisetum bifidum</i> (Thunb.) Ohwi	カニツリグサ		●	●	
404 <i>Zizania latifolia</i> Turcz.	マコモ		●		
Palmae					
405 <i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl.	シュロ	●	●	●	
Araceae					
406 <i>Arisaema serratum</i> (Thunb.) Schott	マムシグサ		●		
407 <i>Pinellia ternata</i> (Thunb.) Breit.	カラスビシャク	●		●	
Typhaceae					
408 <i>Typha latifolia</i> L.	ガマ			●	
Cyperaceae					
409 <i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	エナシヒゴクサ	●	●		
410 <i>Carex breviculmis</i> R. Br.	アオスゲ		●	●	
411 <i>Carex dimorpholepis</i> Steud.	アゼナルコ	●	●		
412 <i>Carex doniana</i> Spreng.	シラスゲ	●			
413 <i>Carex incisa</i> Boott	カワラスゲ			●	
414 <i>Carex japonica</i> Thunb.	ヒゴクサ		●	●	
415 <i>Carex maximowiczii</i> Miq.	ゴウソ			●	
416 <i>Carex transversa</i> Boott	ヤワラスゲ			●	
417 <i>Cyperus flaccidus</i> R. Br.	ヒナガヤツリ			●	
418 <i>Cyperus iria</i> L.	コゴメガヤツリ	●			
419 <i>Cyperus microiria</i> Steud.	カヤツリグサ	●			
420 <i>Fimbristylis miliacea</i> (L.) Vahl	ヒデリコ			●	
421 <i>Scirpus juncooides</i> Roxb.	ホタルイ			●	
Orchidaceae					
422 <i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	キンラン		●	●	環境省:絶滅危惧Ⅱ類
423 <i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	ササバギラン		●		
424 <i>Cremastra appendiculata</i> (D.Don) Makino	サイハイラン		●	●	
425 <i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. fil.) Reichb. fil.	シュンラン	●	●		
426 <i>Liparis kumokiri</i> F. Maek.	クモキリソウ	●		●	
427 <i>Platanthera minor</i> (Miq.) Reichb. fil.	オオバノトンボソウ			●	
428 <i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M. Bieberson) Hara	ネジバナ		●		
		274	239	264	

凡例

学名および和名の配列

- ・科の配列順序は、「植物目録」(環境庁自然保護局編, 1987)に従った。
- ・属および種の配列は、学名のアルファベット順とした。
- ・和名と学名は、主としてシダ植物を「日本の野生植物 シダ」(平凡社)に、種子植物を「日本の野生植物 草本編Ⅰ, Ⅱ, Ⅲおよび木本編Ⅰ, Ⅱ」(平凡社)、外来種を「原色日本帰化植物図鑑」(保育社)に従った。一部の種類についてはその他の文献から適切と思われる学名を使用した。

特記した植物

- ・茨城:茨城県版レッドデータブック該当種(1997)
- ・環境省:環境省版レッドデータブック該当種(2007)
- ・植栽:植栽されたと思われる種
- ・逸出:逸出したと思われる種
- ・外来:外来種

## 桜川市の雑管束植物

### はじめに

桜川市は茨城県の中央よりやや西側に位置し、南北に長い地域で今回の調査地域の北東部にあたる。地形的には、北側に高峯、雨引山、富谷山の小高い山があり、東側に雨引山、加波山、南側に筑波山と三方に山が連なっている。一方、西側には桜川を中心にして水田や畑が広がっている。平地や山際の所々には休耕地がみられる。平地林は少なく、わずかに社寺林として残っている。

富谷山は富谷観音の参道の長い階段を登ると、その両側にスダジイを優占種とする見事な常緑樹林が広がる。この調査地域で最も発達した常緑樹林である。

高峰は山桜の咲く山として有名で4月の桜の開花時期には全山桜が咲いて見事である。おもな構成樹種は、コナラ、ヤマザクラなどの落葉樹林である。山頂まで登山道が整備されているが、登山道に沿ってマウンテンバイクのコースが設けられているため、注意が必要である。マウンテンバイクのコースは道が削られて荒れているところもあった。

加波山は採石場所から上部に雑木林、わずかなスダジイなどの常緑樹林、スギ林、加波山神社より上部にブナ・カエデ林が見られた。

筑波山の北側は、アカマツ林はすっかり姿を変え、雑木林になっている。ユースホテル跡地に行く途中にコナラ、カエデ、ヤマザクラを中心とした大きな落葉樹林が見られた。

平地林は、二次林のコナラ・クヌギ林が最も多くみられたが、下草が繁茂し、手入れの行き届いているとは言い難い林が多かった。また、かつてアカマツ林であったところはマツノザイセンチュウによって枯れ、マツの幹が白く棒のように残っている(図1)。現在は、このマツに替わってコナラ、クヌギ、ヤマザクラ、アカシデ、ヤマウルシなどの落葉樹が雑木林を形成しつつ



図1. マツの枯れた様子(羽田山付近)

あり、すでに数mの高さに達している。

休耕地は、平地にも点在していた。放置されてから数年に及ぶものと思われる。場所によっては転作としてダイズが栽培されていた。山際の水田や休耕地は、イノシシの害が及んだところもあり、出没の跡は高峯、雨引山、椎尾の薬王院などにも見られた。

### 調査方法

#### 1. 調査地の選定(図2)

調査地は、山地として高峯、富谷山、雨引山、加波山、筑波山北部の山麓とした。平地林としては社寺林と羽田山公園を調査した。その他に休耕地、溜池などを対象とした。

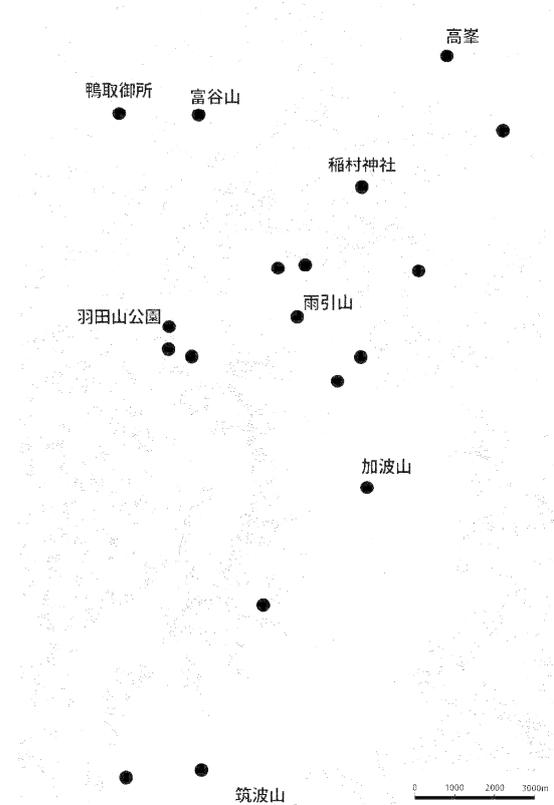


図2. 調査地域

(国土地理院発行1:50,000地形図「真岡」,「真壁」を一部改変)

#### 2. 調査期間

##### (1) 2006年度

3月31日 富谷山, 薬王院

##### (2) 2007年度

4月29日 桜川市上城~雨引山

6月2日 桜川市猿田

6月6日 筑波山

7月28日 加波山

9月17日 筑波山真壁側

(3) 2008 年度

- 4月12日 高峯
- 6月1日 筑波山
- 6月28日 桜川市羽田
- 9月14日 桜川神社, 磯部稲村神社, 鴨取御所
- 9月23日 鴨大社, 薬王院, 羽田山公園
- 10月12日 桜川市山口, 富谷山

3. 調査項目

維管束植物(シダ植物, 種子植物)を対象として, 植物相と植生の調査を行った。調査項目は次のとおりである。

- (1) 調査地に生育する全植物の確認と記録
- (2) 調査地の植生の概要
- (3) 生育する植物の採集と標本の作成(原則として花・実がついている個体を採集, 1種あたり2-4点作製)
  - ・確認種 390種
- (4) 生態写真の撮影

結果

確認目録を付表4に示した。

1. 植生の概要

(1) シイ・カシ林

今回の調査で観察した常緑樹林は, 富谷山のスダジイ林(図3)と桜川市水戸の採石場に向かう途中のシラカシ林, 加波山のスダジイ林である。



図3. 富谷山のスダジイ

特に富谷山のスダジイ林は大木が数多く見られ, 林の大きさも今回の調査地域では最も大きかった。優占種のスダジイの中にモミやアラカシが混在していて鬱蒼とした森を形成している。富谷山のスダジイ林の構成種は次のようである。

高木層: スダジイ, アラカシ, モミ, イヌシデ, ヒノキ, 亜高木層: スダジイ, シロダモ, ウリカエデ, 低木層: アラカシ, ナツハゼ, アオハダ, ヤツデ, ヤ

マツツジ, 草本層: ベニシダ, ゴンズイ, ヤブラン, テイカズラ, ツタウルシ, チゴユリ, ミズヒキ, アズマネザサ, コウヤボウキ, サネカズラ, ヤマウルシ。

桜川市水戸の採石場に向かう道路の両側にシラカシ林が広がっている。シラカシがほとんどであるが所々に大きなスダジイが点在する。下草がきわめて貧弱であった。

高木層: シラカシ, スダジイ, ヤマザクラ, コナラ, イヌシデ, クヌギ, 亜高木層: アブラチャン, ホオノキ, ヒサカキ, ムラサキシキブ, 低木層: アズマネザサ, シラカシ, アオキ, ヤマツツジ, コアジサイ, ガマズミ, コバノガマズミ, 草本層: ヤブコウジ, アズマネザサ, ヒサカキ。

(2) ブナ・ミズナラ林

加波山山頂付近に見られ, 加波山神社より上部で岩場を登っていくとブナ・ミズナラ林が見られる。今回の桜川市の中では, ブナが見られたのはこの加波山と筑波山のみである。

加波山のブナ林の主な構成種は, 次のようである。

高木層: ブナ, ミズナラ, ヒトツバカエデ, リョウブ, ウラジロノキ, ウリハダカエデ, ヤマザクラなど, 亜高木層: ネジキ, トウゴクミツバツツジ, ノリウツギ, ヤマツツジ, クロモジ, 低木層: スズタケ, ツクバネウツギ, ミヤマシキミなど, 草本層: ヤマジノホトトギス, フクオウソウ, ノガリヤス, ヤマユリ, チゴユリ, カシワバハグマ。

(3) コナラ・クヌギ林

今回の調査した山地の中では最も多い林で, 人里に近く見慣れた林である。しかし, 手入れのされていない林が多く, 藪が発達しており, 林の中に入ることが困難な場所もあった。ほとんどの雑木林は, その地域の人に利用されていないと思われる。コナラ・クヌギ林がみられたのは, 高峯, 桜川市水戸の採石場付近, 雨引山, 加波山, 羽田山などである。

桜川市羽田の羽田山公園は, もともとあった林をそのまま取り入れている自然公園である。歩きやすいように道路が整備されている。二次林の観察を行うには観察しやすい場所である。公園内及び羽田山山頂付近のコナラ林や桜川市水戸のコナラ林はおおよそ次のような構成種であった。高木層: コナラ, ヤマザクラ, ホオノキ, リョウブ, ヤマボウシ, イヌシデ, クヌギ, 亜高木層: ゴンズイ, アカメガシワ, イヌザンショウ, クリ, ヤマウルシ, 低木層: ムラサキシキブ, ガマズ

ミ、ヤマツツジ、草本層：ケチヂミザサ、チゴユリ、ヤマノイモ、アズマネザサ、ヘクソカズラ、モミジイチゴ、ヒサカキ、ヤマツツジ、イヌザンショウ、アオハダ、アワブキ、サルナシ、タラノキ、ヤブムラサキ、オオバノトンボソウ、ミヤマウズラ。

#### (4) スギ・ヒノキ林

スギ・ヒノキ林は、加波山、雨引山などの一部に植栽されていた。その他、平地では数か所の社寺林が見られた。

桜川市加茂にある鴨神社のヒノキ林で見られたのは次のようであった。高木層：ヒノキ、亜高木層：ヒノキ、サザンカ、サカキ、低木層：シラカシ、ホオノキ、ヤダケ、草本層：カラタチバナ、ミズヒキ、テイカカズラ、クサギ、ベニシダ、ヒカゲイノコズチ、アマチャヅル、ニワトコ、ツユクサ、ミツバアケビ、ササクサ、ドクダミ、シュロ、マンリョウ、ヘクソカズラ、ノブドウ。

桜川市磯部の稲村神社のスギ林は比較的林床が明るい林で次のような構成であった。高木層：スギ(高さ約15m)、草本層：ヌスビトハギ、ドクダミ、ホウチャクソウ、アマチャヅル、シンミズヒキ、アオキ、オニドコロ、アキノタムラソウ、ヒヨドリバナ、ウド、ススキ、ユウガギク、シヤガ、ウバユリ、ヤブラン、アカネ、ツユクサ、キツネノマゴ、ミズタマソウ、ヤエムグラ。

#### (5) 休耕田

今回調査した休耕田は、桜川市山口と桜川市五味田の2か所である。

桜川市山口の休耕田は、比較的山際にあり稲作を止めて数年たち、所有者が毎年1回の草刈りを行っている。この休耕田には水たまりが残っており、水中にシヤクモも見られた。その中には以下のような植物が見られた。ホタルイ、ミゾソバ、コナギ、ヤハズソウ、イボクサ、サクラタデ、アブラガヤ、コケオトギリ、コブナグサ、ミツバ、ノアザミ、ツリフネソウ、トダシバ、ヒヨドリバナ、アゼガヤツリ、ヒメジソ。

桜川市五味田の休耕田は小川のそばにあり、乾燥が進んでいるところと一面に水をためているところがあった。乾燥が進んでいるところでは、トダシバ、スギナ、クサネム、アカバナ、ヌカキビなどが多く、水のあるところでは、ヨシ、イボクサ、ヤノネグサ、サヤヌカグサ、コシロネ、マツカサススキなどが観察された。

## 2. 注目すべき植物

### (1) ナガハシスミレ (スミレ科)

タチツボスミレに似るが、細く長い距が著しく斜上するのが特徴。本州北部～鳥取県の日本海側の山地に生育する。茨城県では、栃木県との県境近くの山地に産するが、今回の調査で高峯の山頂付近の登山道に沿って点在して咲いていたのを確認した。

### (2) カゴノキ (クスノキ科) (図4)

常緑高木で大木になる。樹皮がはげ落ち鹿の子まだら模様になる。本州(関東・福井県以南)、四国、九州、琉球に分布する。

桜川市大泉にある鴨取御所には、参道入り口の両側に2本、境内の林に1本、境内裏の林に1本が観察された。境内の林のものは、大木であるが、他の樹木の陰になり、大きな枝が枯れるなど、生育状態はあまり良くない。境内裏のものは、胸高直径が約50cmで、生育も良くたくさんの花をつけていた。

桜川市磯部にある稲村神社の境内には植栽された大きなカゴノキがある。茨城県希少種。



図4. カゴノキ

### (3) コウホネ (スイレン科) (図5)

池や沼に生える多年草。葉は大型で基部が矢じり形にへこむ。花柄は水上に出て1個の花をつける。花は黄色で直径4～5cmになる。地下茎が白いことから「川骨」の名前がついた。調査地では桜川市山口の鏡が池に、2か所の群落が観察された。



図5. コウホネ

(4) ササクサ (イネ科)

全体にやや硬い多年草。葉が笹のような広披針形をしている。本州（関東以西）～琉球に分布する。今回の調査では、桜川市加茂の鴨神社にあるヒノキ林の林床に確認された。茨城県希少種。

(5) レンゲツツジ (ツツジ科)

湿原や日当たりのよい草原にはえる落葉低木。今回の調査では、羽田山公園の林縁にみられた。個体数はわずかであった。

(6) マルバノホロシ (ナス科)

山地の林縁に生える多年草。茎は蔓状で無毛。大きいもので1mにもなる。葉は、長楕円形または狭卵形で細く尖り、先端はやや鈍頭、基部はくさび形に挟まって翼の柄につながる。両面無毛で鋸歯はない。葉は冬でも落ちずに残る。葉は8～9月に咲き、淡紫色で深く5裂する。液果は球形で赤く熟す。本州（関東以西）～九州に分布する。今回の調査では、桜川市水戸の石切場付近の林縁に複数の個体が確認された。

参考文献

- 茨城県環境保全課. 1997. 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 (植物編). 253 pp., 茨城県環境保全課.
- 北村四郎・村田 源. 1961. 原色日本植物図鑑 草本編 [II] 離弁花類. 390 pp., 保育社.
- 北村四郎・村田 源・小山徹夫. 1964. 原色日本植物図鑑 草本編 [III] 単子葉類. 464 pp., 保育社.
- 北村四郎・村田 源・堀 勝. 1957. 原色日本植物図鑑 草本編 [I] 合弁花類. 297 pp., 保育社.
- 佐竹義輔・原 寛・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物 木本 I. 321 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・原 寛・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物 木本 II. 305 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1981. 日本の野生植物 草本 III. 259 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物 草本 I. 305 pp., 平凡社.
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物 草本 II. 318 pp., 平凡社.
- 鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也. 1981. 茨城県植物誌. 339 pp., 茨城県植物誌刊行会.

調査研究および執筆

鈴木昌友 (茨城大学名誉教授)

茂垣はるえ (茨城県立那珂高等学校)

桜川市の維管束植物

付表4. 桜川市の維管束植物

学名	和名	備考
<b>Lycopodiaceae</b>		
1 <i>Lycopodium serratum</i> Thunb.	ヒカゲノカズラ科 トウゲシバ	
<b>Selaginellaceae</b>		
2 <i>Selaginella remotifolia</i> Spring	イワヒバ科 クラマゴケ	
<b>Equisetaceae</b>		
3 <i>Equisetum arvense</i> L.	トクサ科 スギナ	
<b>Ophioglossaceae</b>		
4 <i>Botrychium japonicum</i> (Prantl) Underw.	ハナヤスリ科 オオハナワラビ	
<b>Osmundaceae</b>		
5 <i>Osmunda japonica</i> Thunb.	ゼンマイ科 ゼンマイ	
<b>Gleicheniaceae</b>		
6 <i>Gleichenia japonica</i> Spr.	ウラジロ科 ウラジロ	
<b>Schizaceae</b>		
7 <i>Lygodium japonicum</i> (Thunb. ex Murray) Sw.	フサンダ科 カニクサ	
<b>Hymenophyllaceae</b>		
8 <i>Hymenophyllum polyanthos</i> (Sw.) Sw.	コケシノブ科 ホソバコケシノブ	
<b>Dennstaedtiaceae</b>		
9 <i>Prepidium aquilinum</i> (L.) Kuhn var. <i>latiusculum</i> (Desv.) Underw. ex Hell.	コバノイシカグマ科 ワラビ	
<b>Lindsaeaceae</b>		
10 <i>Sphenomeris chinensis</i> (L.) Maxon	ホングウシダ科 ホラシノブ	
<b>Parkeriaceae</b>		
11 <i>Coniogramme japonica</i> (Thunb.) Diels	ミズワラビ科 イワガネソウ	
<b>Pteridaceae</b>		
12 <i>Pteris cretica</i> L.	イノモトソウ科 オオバノイノモトソウ	
<b>Dryopteridaceae</b>		
13 <i>Cyrtomium caryotidem</i> (Wall. ex Hook. et Grev.) Presl	メヤブソテツ	
14 <i>Cyrtomium laetevirens</i> (Hiyama) Nakaike	テリハヤブソテツ	
15 <i>Dryopteris erythrosora</i> (Eaton) O. Kuntze	ベニシダ	
16 <i>Dryopteris gymnohylla</i> (Baker.) C. Chr.	サクライカグマ	茨城: 希少種
17 <i>Dryopteris hondoensis</i> Koidz.	オオベニシダ	
18 <i>Dryopteris pacifica</i> (Nakai) Tagawa	オオイタチシダ	
19 <i>Dryopteris polylepis</i> (Franch. et Sav.) C. Chr.	ミヤマクマワラビ	
20 <i>Dryopteris saxifraga</i> H. Ito	イワイタチシダ	
21 <i>Polystichum longifrons</i> Kurata	アイアスカイノデ	
22 <i>Polystichum ovato-paleaceum</i> (Kodama) Kurata var. <i>coraiense</i> (Christ) Kurata	イワシロイノデ	
23 <i>Polystichum polyblepharum</i> (Roem. ex Kunze) Presl	イノデ	
24 <i>Polystichum tripterum</i> (Kunze) Presl	ジュウモンジシダ	
<b>Thelypteridaceae</b>		
25 <i>Thelypteris japonica</i> (Baker) Ching	ヒメシダ科 ハリガネワラビ	
26 <i>Thelypteris torresiana</i> (Gaud.) Alston var. <i>calvata</i> (Bak.) K. Iwats.	ヒメワラビ	
27 <i>Thelypteris viridifrons</i> Tagawa	ミドリヒメワラビ	
<b>Athyriaceae</b>		
28 <i>Athyrium niponicum</i> (Mett.) Hance	メシダ科 イヌワラビ	
29 <i>Matteuccia struthiopteris</i> (L.) Todaro	クサソテツ	
30 <i>Woodsia manchuriensis</i> Hook.	フクロシダ	
<b>Polypodiaceae</b>		
31 <i>Crypsinus hastatus</i> (Thunb.) Copel.	ウラボシ科 ミンデウラボシ	
32 <i>Lepisorus thunbergianus</i> (Kaulf.) Ching	ノキシノブ	
<b>Aspleniaceae</b>		
33 <i>Asplenium incisum</i> Thunb.	チャセンシダ科 トラノオシダ	
34 <i>Asplenium sarelii</i> Hook.	コバノヒノキシダ	
<b>Pinaceae</b>		
35 <i>Abies firma</i> Siebold et Zucc.	マツ科 モミ	
<b>Taxodiaceae</b>		
36 <i>Cryptomeria japonica</i> (L. fil.) D. Don	スギ科 スギ	植栽
<b>Cupressaceae</b>		
37 <i>Chamaecyparis obtusa</i> (Siebold et Zucc.) Siebold et Zucc.	ヒノキ科 ヒノキ	植栽
<b>Taxaceae</b>		
38 <i>Torreya nucifera</i> (L.) Siebold et Zucc.	イチイ科 カヤ	
<b>Juglandaceae</b>		
39 <i>Juglans ailanthifolia</i> Carr.	クルミ科 オニグルミ	
<b>Salicaceae</b>		
40 <i>Populus sieboldii</i> Miq.	ヤナギ科 ヤマナラシ	
41 <i>Salix bakko</i> Kimura	ハッコヤナギ	
<b>Betulaceae</b>		
42 <i>Alnus hirsuta</i> Turcz. var. <i>sibirica</i> (Fischer) C. K. Schn.	カバノキ科 ヤマハンノキ	
43 <i>Carpinus cordata</i> Blume	サワシバ	
44 <i>Carpinus japonica</i> Blume	クマシデ	
45 <i>Carpinus laxiflora</i> (Siebold et Zucc.) Blume	アカシデ	
46 <i>Carpinus tschonoskii</i> Maxim.	イヌシデ	
47 <i>Corylus sieboldiana</i> Blume	ツノハシバミ	
<b>Fagaceae</b>		
48 <i>Castanea crenata</i> Siebold et Zucc.	ブナ科 クワ	
49 <i>Castanopsis cuspidata</i> (Thunb.) Schottky var. <i>sieboldii</i> (Makino) Nakai	スダジイ	
50 <i>Fagus crenata</i> Blume	ブナ	
51 <i>Fagus japonica</i> Maxim.	イヌブナ	

	学名	和名	備考
52	<i>Quercus acutissima</i> Carr.	クヌギ	
53	<i>Quercus crispula</i> Blume	ミズナラ	
54	<i>Quercus glauca</i> Thunb.	アラカン	
55	<i>Quercus myrsinaefolia</i> Blume	シラカン	
56	<i>Quercus salicina</i> Blume	ウラジロガシ	
57	<i>Quercus serrata</i> Thunb.	コナラ	
Ulmaceae		ニレ科	
58	<i>Zelkova serrata</i> (Thunb.) Makino	ケヤキ	
59	<i>Ficus sarmentosa</i> Roxb. var. <i>nipponica</i> (Franch. et Sav.) Corner	イタビカズラ	
Urticaceae		イラクサ科	
60	<i>Boehmeria nipponivea</i> Koidz.	カラムシ	
61	<i>Boehmeria platanifolia</i> Franch. et Sav. ex C. H. Wright	メヤブマオ	
62	<i>Elatostema umbellatum</i> Blume var. <i>majus</i> Maxim.	ウワバミソウ	
Santalaceae		ビャクダン科	
63	<i>Buckleya lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Miq.	ツクバネ	
Polygonaceae		タデ科	
64	<i>Antenoron filiforme</i> Thunb.	ミズヒキ	
65	<i>Antenoron neo-filiforme</i> (Nakai) Hara	シンミズヒキ	
66	<i>Bistorta tenuicaulis</i> (Bisset et Moore) Nakai	ハルトラノオ	
67	<i>Persicaria conspicua</i> (Nakai) Nakai	サクラタデ	
68	<i>Persicaria nipponensis</i> (Makino) H. Gross	ヤノネグサ	
69	<i>Persicaria pubescens</i> (Blume) Hara	ボントクタデ	
70	<i>Persicaria scabra</i> (Moench) Mold.	サナエタデ	
71	<i>Persicaria sieboldii</i> (Meisn.) Ohki	アキノウナギツカミ	
72	<i>Persicaria thunbergii</i> (Siebold et Zucc.) H. Gross	ミノソバ	
73	<i>Persicaria vulgaris</i> Webb et Moq.	ハルタデ	
74	<i>Persicaria yokusaiana</i> (Makino) Nakai	ハナタデ	
75	<i>Reynoutria japonica</i> Houtt.	イタドリ	
Caryophyllaceae		ナデシコ科	
76	<i>Pseudostellaria heterantha</i> (Maxim.) Pax	ワチガイソウ	茨城: 危急種
Amaranthaceae		ヒユ科	
77	<i>Achyranthes japonica</i> (Miq.) Nakai	ヒカゲイノコズチ	
Magnoliaceae		モクレン科	
78	<i>Illicium religiosum</i> Siebold et Zucc.	シキミ	
79	<i>Magnolia hypoleuca</i> Siebold et Zucc.	ホオノキ	
80	<i>Magnolia praecocissima</i> Koidz.	コブシ	
Schisandraceae		マツブサ科	
81	<i>Kadsura japonica</i> (Thunb.) Dunal	サネカズラ	
Lauraceae		クスノキ科	
82	<i>Actinodaphne lancifolia</i> (Siebold et Zucc.) Meisn.	カゴノキ	茨城: 希少種
83	<i>Lindera glauca</i> (Siebold et Zucc.) Blume	ヤマコウバン	
84	<i>Lindera praecox</i> (Siebold et Zucc.) Blume	アブラチャン	
85	<i>Lindera umbellata</i> Thunb.	クロモジ	
86	<i>Neolitsea sericea</i> (Blume) Koidz.	シロダモ	
Ranunculaceae		キンポウゲ科	
87	<i>Aconitum tsukubense</i> Nakai	ツクバトリカブト	
88	<i>Anemone pseudo-altaica</i> Hara	キクザキイチゲ	
89	<i>Cimicifuga japonica</i> (Thunb.) Spreng.	イヌシヨウマ	茨城: 希少種
90	<i>Cimicifuga simplex</i> Wormsk.	サラシナシヨウマ	
91	<i>Clematis apiifolia</i> DC. var. <i>bitemata</i> Makino	コボタンヅル	
92	<i>Isopyrum trachyspermum</i> Maxim.	トウゴクサバノオ	
93	<i>Ranunculus japonicus</i> Thunb.	ウマノアシガタ	
94	<i>Ranunculus quelpaertensis</i> Nakai	ヤマキツネノボタン	
Lardizabalaceae		アケビ科	
95	<i>Akebia trifoliata</i> (Thunb.) Koidz.	ミツバアケビ	
Menispermaceae		ツツラフジ科	
96	<i>Cocculus orbiculatus</i> (Thunb.) DC.	アオツツラフジ	
97	<i>Sinomenium acutum</i> (Thunb.) Rehd. et Wils.	ツツラフジ	
Nymphaeaceae		スイレン科	
98	<i>Nuphar japonicum</i> DC.	コウホネ	
Saururaceae		ドクダミ科	
99	<i>Houttuynia cordata</i> Thunb.	ドクダミ	
Chloranthaceae		センリョウ科	
100	<i>Chloranthus japonicus</i> Siebold	ヒトリシズカ	
Aristolochiaceae		ウマノスズクサ科	
101	<i>Asarum caulescens</i> Maxim.	フタバアオイ	
Actinidiaceae		マタタビ科	
102	<i>Actinidia arguta</i> (Siebold et Zucc.) Planch. ex Miq.	サルナシ	
Theaceae		ツバキ科	
103	<i>Camellia japonica</i> L.	ヤブツバキ	
104	<i>Cleyera japonica</i> Thunb.	サカキ	
105	<i>Eurya japonica</i> Thunb.	ヒサカキ	
Guttiferae		オトギリソウ科	
106	<i>Hypericum erectum</i> Thunb.	オトギリソウ	
107	<i>Sarothra laxum</i> (Blume) Y. Kimura	コケオトギリ	
Papaveraceae		ケシ科	
108	<i>Corydalis incisa</i> (Thunb.) Pers.	ムラサキケマン	
109	<i>Corydalis lineariloba</i> Siebold et Zucc.	ヤマエンゴサク	

桜川市の維管束植物

	学名	和名	備考
110	<i>Corydalis pallida</i> (Thunb.) Pers. var. <i>tenuis</i> Yatabe	ミヤマキケマン	
Cruciferae		アブラナ科	
111	<i>Cardamine scutata</i> Thunb.	オオバタネツケバナ	
112	<i>Cardamine tanakae</i> Franch. et Sav.	マルバコンロンソウ	
113	<i>Wasabia tenuis</i> (Miq.) Matsum.	ユリワサビ	
Saxifragaceae		ユキノシタ科	
114	<i>Chrysosplenium album</i> Maxim. var. <i>stamineum</i> (Franch. et Sav.) Hara	ハナネコノメ	
115	<i>Chrysosplenium flagelliferum</i> Fr. Schm.	ツルネコノメソウ	
116	<i>Chrysosplenium japonicum</i> (Maxim.) Makino	ヤマネコノメソウ	
117	<i>Chrysosplenium macrostemon</i> Maxim. var. <i>atrandrum</i> Hara	ヨゴレネコノメ	
118	<i>Chrysosplenium maximowiczii</i> Franch. et Sav.	ムカゴネコノメ	環境省:準絶滅危惧
119	<i>Hydrangea hirta</i> (Thunb. ex Murray) Siebold	コアジサイ	
120	<i>Hydrangea involucrata</i> Siebold	タマアジサイ	
121	<i>Hydrangea macrorrhynlla</i> (Thunb.) Ser. var. <i>acuminata</i> (Siebold et Zucc.) Makino	ヤマアジサイ	
122	<i>Hydrangea paniculata</i> Siebold	ノリウツギ	
123	<i>Hydrangea petiolaris</i> Siebold et Zucc.	ツルアジサイ	
Rosaceae		バラ科	
124	<i>Agrimonia japonica</i> (Miq.) Koidz.	キンミズヒキ	
125	<i>Chaenomeles japonica</i> (Thunb.) Lindl. ex Spach	クサボケ	
126	<i>Duchesnea chrysantha</i> (Zoll. et Mor.) Miq.	ヘビイチゴ	
127	<i>Kerria japonica</i> (L.) DC.	ヤマブキ	
128	<i>Malus toringo</i> (Siebold) Siebold ex Vriese var. <i>zumi</i> (Matsum.) Hara	オオズミ	
129	<i>Potentilla centigrana</i> Maxim. f. <i>patens</i> Hiyama	タチガヒメヘビイチゴ	
130	<i>Potentilla fragarioides</i> L. var. <i>major</i> Maxim.	キジムシロ	
131	<i>Potentilla freyniana</i> Bornm.	ミツバツチグリ	
132	<i>Potentilla yokusaiana</i> Makino	ツルキンバイ	
133	<i>Prunus buergeriana</i> Miq.	イヌザクラ	
134	<i>Prunus grayana</i> Maxim.	ウワミズザクラ	
135	<i>Prunus jamasakura</i> Siebold ex Koidz.	ヤマザクラ	
136	<i>Prunus verecunda</i> (Koidz.) Koehne	カスミザクラ	
137	<i>Rosa jasminoides</i> Koidz.	モリイバラ	茨城:希少種
138	<i>Rubus buergeri</i> Miq.	フユイチゴ	
139	<i>Rubus crataegifolius</i> Bunge	クマイチゴ	
140	<i>Rubus hakonensis</i> Franch. et Sav.	ミヤマフユイチゴ	
141	<i>Rubus hirsutus</i> Thunb.	クサイチゴ	
142	<i>Rubus microphyllus</i> L. fil.	ニガイチゴ	
143	<i>Rubus palmatus</i> Thunb. var. <i>coptophyllus</i> (A. Gray) O. Kuntze	モミジイチゴ	
144	<i>Rubus phoenicolasius</i> Maxim.	エビガライチゴ	
145	<i>Sorbus japonica</i> (Decne.) Hedlund	ウラジロノキ	
146	<i>Stephanandra incisa</i> (Thunb.) Zabel	コゴメウツギ	
Leguminosae		マメ科	
147	<i>Aeschynomene indica</i> L.	クサネム	
148	<i>Amphicarpaea bracteata</i> (L.) Fernald subsp. <i>edgeworthii</i> (Benth.) Ohashi var. <i>japonica</i> (Oliver) Ohashi	ヤブマメ	
149	<i>Desmodium oxyphyllum</i> DC.	ヌスビトハギ	
150	<i>Desmodium paniculatum</i> (L.) DC.	アレチヌスビトハギ	外来
151	<i>Dumasia truncata</i> Siebold et Zucc.	ノササゲ	
152	<i>Indigofera pseudotinctoria</i> Matsumura	コマツナギ	
153	<i>Kummerowia striata</i> (Thunb.) Hook. et Arn.	ヤハズソウ	
154	<i>Lespedeza bicolor</i> Turcz. f. <i>acifolia</i> Matsum.	ヤマハギ	
155	<i>Lespedeza cuneata</i> (Du Mont. d. Cours.) G. Don	メドハギ	
156	<i>Pueraria lobata</i> (Willd.) Ohwi	クズ	
157	<i>Vicia angustifolia</i> L.	ヤハズエンドウ	
158	<i>Wisteria floribunda</i> (Willd.) DC.	フジ	
Oxalidaceae		カタバミ科	
159	<i>Oxalis griffithii</i> Edgew. et Hook. fil.	ミヤマカタバミ	
Geraniaceae		フウロソウ科	
160	<i>Geranium thunbergii</i> Siebold et Zucc.	ゲンノショウコ	
Euphorbiaceae		トウダイグサ科	
161	<i>Mallotus japonicus</i> (Thunb. ex Murray) Muell. -Arg.	アカメガシワ	
162	<i>Sapium japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Pax et Hoffm.	シラキ	
Rutaceae		ミカン科	
163	<i>Orixa japonica</i> Thunb.	コクサギ	
164	<i>Skimmia japonica</i> Thunb.	ミヤマシキミ	
165	<i>Zanthoxylum piperitum</i> (L.) DC.	サンショウ	
166	<i>Zanthoxylum schinifolium</i> Siebold et Zucc.	イヌザンショウ	
Anacardiaceae		ウルシ科	
167	<i>Rhus ambigua</i> Lavalleye ex Dippel	ツタウルシ	
168	<i>Rhus trichocarpa</i> Miq.	ヤマウルシ	
Aceraceae		カエデ科	
169	<i>Acer carpiniifolium</i> Siebold et Zucc.	チドリノキ	
170	<i>Acer crataegifolium</i> Siebold et Zucc.	ウリカエデ	
171	<i>Acer diabolicum</i> Blume ex Koch	カジカエデ	
172	<i>Acer distylum</i> Siebold et Zucc.	ヒトツバカエデ	
173	<i>Acer mono</i> Maxim. var. <i>marmoratum</i> (Nichols.) Hara f. <i>dissectum</i> (Wesmae) Rehder	イタヤカエデ	
174	<i>Acer rufinerve</i> Siebold et Zucc.	ウリハダカエデ	
Sabiaceae		アワブキ科	
175	<i>Meliosma myriantha</i> Siebold et Zucc.	アワブキ	
Balsaminaceae		ツリフネソウ科	

	学名	和名	備考
176	<i>Impatiens textori</i> Miq.	ツリバナソウ	
Aquifoliaceae		モチノキ科	
177	<i>Ilex integra</i> Thunb.	モチノキ	
178	<i>Ilex macropoda</i> Miq.	アオハダ	
Celastraceae		ニシキギ科	
179	<i>Euonymus alatus</i> (Thunb.) Siebold f. <i>ciliato-dentatus</i> Hiyama	コマユミ	
180	<i>Euonymus oxyphyllus</i> Miq.	ツリバナ	
181	<i>Euonymus sieboldianus</i> Blume	マユミ	
Staphyleaceae		ミツバウツギ科	
182	<i>Euscaphis japonica</i> (Thunb.) Kanitz	ゴズイ	
Rhamnaceae		クロウメモドキ科	
183	<i>Berchemia racemosa</i> Siebold et Zucc.	クマヤナギ	
Vitaceae		ブドウ科	
184	<i>Ampelopsis brevipedunculata</i> (Maxim.) Trautv. var. <i>heterophylla</i> (Thunb.) Hara	ノブドウ	
185	<i>Vitis flexuosa</i> Thunb.	サンカクヅル	
Elaeagnaceae		グミ科	
186	<i>Elaeagnus glabra</i> Thunb.	ツルグミ	
187	<i>Elaeagnus umbellata</i> Thunb.	アキグミ	
Violaceae		スミレ科	
188	<i>Viola bissetii</i> Maxim.	ナガバノスミレサイシン	
189	<i>Viola confusa</i> Champ. ex Benth. subsp. <i>nagasakiensis</i> (W. Wecker) F. Maekawa et Hashimoto	ヒメスミレ	茨城: 危急種
190	<i>Viola etzanensis</i> Makino	エイザンスミレ	
191	<i>Viola grypoceras</i> A. Gray	タチツボスミレ	
192	<i>Viola hondoensis</i> W. Becker et H. Boiss.	アオイスマレ	
193	<i>Viola keiskei</i> Miq. f. <i>okuboii</i> (Makino) F. Maekawa	ケマルバスマレ	
194	<i>Viola mandshurica</i> W. Becker	スミレ	
195	<i>Viola obtusa</i> (Makino) Makino	ニオイタチツボスミレ	
196	<i>Viola phalacrocarpa</i> Maxim.	アカネスミレ	
197	<i>Viola rostrata</i> Muhl. var. <i>japonica</i> (W. Becker et H. Boiss.) Ohwi	ナガハンスミレ	
198	<i>Viola sieboldi</i> Maxim.	フモトスミレ	
199	<i>Viola takedana</i> Makino	ヒナスミレ	
200	<i>Viola verecunda</i> A. Gray	ツボスミレ	
Stachyuraceae		キブシ科	
201	<i>Stachyurus praecox</i> Siebold et Zucc.	キブシ	
Cucurbitaceae		ウリ科	
202	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> (Thunb.) Makino	アマチャヅル	
203	<i>Melothria japonica</i> (Thunb.) Maxim.	スズメウリ	
Onagraceae		アカバナ科	
204	<i>Circaea mollis</i> Siebold et Zucc.	ミズタマソウ	
Onagraceae		アカバナ科	
205	<i>Epilobium pyrricholophum</i> Franch. et Sav.	アカバナ	
Haloragidaceae		アリトウグサ科	
206	<i>Haloragis micrantha</i> (Thunb.) R. Br.	アリトウグサ	
Cornaceae		ミズキ科	
207	<i>Aucuba japonica</i> Thunb.	アオキ	
208	<i>Benthamidia japonica</i> (Siebold et Zucc.) Hara	ヤマボウシ	
209	<i>Helwingia japonica</i> (Thunb.) F. G. Diétr.	ハナイカダ	
210	<i>Swida controversa</i> (Hemsley ex Prain) Soják	ミズキ	
211	<i>Swida macrophylla</i> (Wall.) Soják	クマノミズキ	
Araliaceae		ウコギ科	
212	<i>Aralia cordata</i> Thunb.	ウド	
Araliaceae		ウコギ科	
213	<i>Aralia elata</i> (Miq.) Seemann	タラノキ	
214	<i>Fatsia japonica</i> (Thunb.) Decne. et Planch.	ヤツデ	
215	<i>Hedera rhombea</i> (Miq.) Bean	キヅタ	
216	<i>Kalopanax pictum</i> (Thunb.) Nakai	ハリギリ	
Umbelliferae		セリ科	
217	<i>Chamaele decumbens</i> (Thunb.) Makino	セントウソウ	
218	<i>Cryptotaenia japonica</i> Hassk.	ミツバ	
219	<i>Spuriopimpinella calycina</i> (Maxim.) Kitagawa	カノツメソウ	
Clethraceae		リョウブ科	
220	<i>Clethra barbinervis</i> Siebold et Zucc.	リョウブ	
Pyrolaceae		イチヤクソウ科	
221	<i>Chimaphila japonica</i> Miq.	ウメガサソウ	
222	<i>Pylora japonica</i> Klenze	イチヤクソウ	
Ericaceae		ツツジ科	
223	<i>Lyonia ovalifolia</i> (Wall.) Drude var. <i>elliptica</i> (Siebold et Zucc.) Hand.-Mazz.	ネジキ	
224	<i>Pieris japonica</i> (Thunb.) D. Don	アセビ	
225	<i>Rhododendron japonicum</i> (A. Gray) Suringer	レンゲツツジ	
226	<i>Rhododendron obtusum</i> (Lindl.) Planch. var. <i>kaempferi</i> (Planchon) Wilson	ヤマツツジ	
227	<i>Rhododendron semibarbatum</i> Maxim.	バイカツツジ	
228	<i>Rhododendron wadanum</i> Makino	トウゴクミツバツツジ	
229	<i>Vaccinium oldhami</i> Miq.	ナツハゼ	
Myrsinaceae		ヤブコウジ科	
230	<i>Ardisia crenata</i> Sims	マンリョウ	
231	<i>Ardisia crispa</i> (Thunb.) DC.	カラタチバナ	
232	<i>Ardisia japonica</i> (Thunb.) Blume	ヤブコウジ	
Styracaceae		エゴノキ科	

桜川市の維管束植物

学名	和名	備考
233	<i>Styrax japonica</i> Siebold et Zucc.	エゴノキ
Oleaceae		
234	<i>Fraxinus lanuginosa</i> Koidz. f. <i>serrata</i> (Nakai) Hara	アオダモ
Gentianaceae		
235	<i>Gentiana zollingeri</i> Fawcett	フデリンドウ
236	<i>Swertia japonica</i> (Schult.) Makino	センブリ
237	<i>Tripterospermum japonicum</i> (Siebold et Zucc.) Maxim.	ツルリンドウ
Apocynaceae		
238	<i>Trachelospermum asiaticum</i> (Siebold et Zucc.) Nakai	テイカカズラ
Asclepiadaceae		
239	<i>Tylophora aristolochioides</i> Miq.	オオカモメヅル
240	<i>Tylophora nikoensis</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	コカモメヅル
Rubiaceae		
241	<i>Galium gracilens</i> (A. Gray) Makino	ヒメヨツバムグラ
242	<i>Galium spurium</i> L. var. <i>echinospermon</i> (Wallr.) Hayek	ヤエムグラ
243	<i>Paederia scandens</i> (Lour.) Merrill var. <i>mairei</i> (H.Lév.) Hara	ヘクソカズラ
244	<i>Rubia argyi</i> (Lév. et Vaniot) Hara	アカネ
Convolvulaceae		
245	<i>Cuscuta japonica</i> Choisy	ネナシカズラ
246	<i>Cuscuta pentagona</i> Engelm.	アメリカネナシカズラ
Boraginaceae		
247	<i>Bohriospermum tenellum</i> (Hornem.) Fisch. et C. A. Mey.	ハナイバナ
248	<i>Trigonotis peduncularis</i> (Trevir.) Benth.	キュウリグサ
Verbenaceae		
249	<i>Callicarpa japonica</i> Thunb.	ムラサキシキブ
250	<i>Callicarpa mollis</i> Siebold et Zucc.	ヤブムラサキ
251	<i>Clerodendrum trichotomum</i> Thunb.	クサギ
Labiatae		
252	<i>Ajuga decumbens</i> Thunb.	キランソウ
253	<i>Ajuga yezoensis</i> Maxim. var. <i>tsukubana</i> Nakai	ツクバキンモンソウ
254	<i>Clinopodium micranthum</i> (Regel) Hara	イヌトウバナ
255	<i>Glechoma hederacea</i> L. var. <i>grandis</i> (A. Gray) Kudo	カキドオシ
256	<i>Lycopus ramosissimus</i> (Makino) Makino var. <i>japonicus</i> (Matsumura et Kudo) Kitam	コシロネ
257	<i>Mosla dianthera</i> (Hamilt.) Maxim. var. <i>dianthera</i>	ヒメジソ
258	<i>Mosla dianthera</i> (Hamilt.) Maxim. var. <i>nana</i> (Hara) Ohwi	ヒカゲヒメジソ
259	<i>Salvia japonica</i> Thunb.	アキノタムラソウ
260	<i>Salvia nipponica</i> Miq.	キバナアキギリ
261	<i>Scutellaria brachyspica</i> Nakai et Hara	オカタツナミソウ
262	<i>Scutellaria laeteviolacea</i> Koidz.	シソバタツナミ
263	<i>Teucrium viscidum</i> Blume var. <i>miquelianum</i> (Maxim.) Hara	ツルニガクサ
264	<i>Scopolia japonica</i> Maxim.	ハシリドコロ
265	<i>Solanum lyratum</i> Thunb.	ヒヨドリジョウゴ
266	<i>Solanum megacarpum</i> Koidz.	マルバノホロシ
Scrophulariaceae		
267	<i>Mazus miquelii</i> Makino f. <i>rotundifolius</i> Yamazaki	ヤマサギゴケ
268	<i>Scrophularia kakudensis</i> Franch.	オオヒナノウスツボ
269	<i>Siphonostegia chinensis</i> Benth.	ヒキヨモギ
Acanthaceae		
270	<i>Justicia procumbens</i> L. var. <i>leucantha</i> Honda	キツネノマゴ
Caprifoliaceae		
271	<i>Abelia spathulata</i> Siebold et Zucc.	ツクバネウツギ
272	<i>Lonicera gracilipes</i> Miq.	ヤマウグイスカグラ
273	<i>Lonicera japonica</i> Thunb.	スイカズラ
274	<i>Sambucus racemosa</i> L. subsp. <i>sieboldiana</i> (Miq.) Hara	ニワトコ
275	<i>Viburnum dilatatum</i> Thunb.	ガマズミ
276	<i>Viburnum erosum</i> Thunb.	コバノガマズミ
277	<i>Viburnum phlebotrichum</i> Siebold et Zucc.	オトコヨウゾメ
278	<i>Viburnum wrightii</i> Miq.	ミヤマガマズミ
279	<i>Viburnum wrightii</i> Miq. var. <i>stipellatum</i> Nakai	オオミヤマガマズミ
Valerianaceae		
280	<i>Patrinia villosa</i> (Thunb.) Juss.	オトコエシ
Campanulaceae		
281	<i>Codonopsis lanceolata</i> (Siebold et Zucc.) Trautv.	ツルニンジン
Compositae		
282	<i>Adenocaulon himalaicum</i> Edgew.	ノブキ
283	<i>Ainsliaea acerifolia</i> Sch.-Bip.	モミジハグマ
284	<i>Artemisia princeps</i> Pamp.	ヨモギ
285	<i>Aster scaber</i> Thunb.	シラヤマギク
286	<i>Cacalia farfaraefolia</i> Siebold et Zucc. var. <i>bulbifera</i> (Maxim.) Kitam.	タマブキ
287	<i>Cirsium japonicum</i> DC.	ノアザミ
288	<i>Cirsium oligophyllum</i> (Franch. et Sav.) Matsum.	ノハラアザミ
289	<i>Erigeron canadensis</i> L.	ヒメムカシヨモギ
290	<i>Erigeron philadelphicus</i> L.	ハルジオン
291	<i>Eupatorium chinense</i> L. var. <i>oppositifolium</i> (Koidz.) Murata et H. Koyama	ヒヨドリバナ
292	<i>Kalimeris pinnatifida</i> (Maxim.) Kitam.	ユウガギク
293	<i>Lactuca indica</i> L. var. <i>laciniata</i> (O. Kuntze) Hara	アキノナゲシ
294	<i>Lactuca raddeana</i> Maxim. var. <i>elata</i> (Hemsl.) Kitam.	ヤマニガナ
295	<i>Lapsana humilis</i> (Thunb.) Makino	ヤブタバコ

	学名	和名	備考
296	<i>Pertya glabrescens</i> Sch.-Bip.	ナガバノコウヤボウキ	
297	<i>Pertya robusta</i> (Maxim.) Beauv.	カンシワバハグマ	
298	<i>Pertya scandens</i> (Thunb.) Sch.-Bip.	コウヤボウキ	
299	<i>Picris hieracioides</i> L. var. <i>glabrescens</i> (Regel) Ohwi	コウリナ	
300	<i>Prenanthes acerifolia</i> (Maxim.) Matsum.	フクオウソウ	
301	<i>Rhynchospermum verticillatum</i> Reinw. ex Blume	シュウブンソウ	
302	<i>Solidago virgaurea</i> L. var. <i>asiatica</i> Nakai	アキノキリンソウ	
303	<i>Taraxacum officinale</i> Weber	セイヨウタンポポ	外来
<b>Liliaceae</b>			
<b>ユリ科</b>			
304	<i>Allium monanthum</i> Maxim.	ヒメニラ	
305	<i>Disporum sessile</i> D. Don	ホウチャクソウ	
306	<i>Disporum smilacinum</i> A. Gray	チゴユリ	
307	<i>Erythronium japonicum</i> Decne.	カタクリ	
308	<i>Lilium auratum</i> Lindl.	ヤマユリ	
309	<i>Lilium cordatum</i> (Thunb.) Koidz.	ウバユリ	
310	<i>Liriope platyphylla</i> Wang et Tang	ヤブラン	
311	<i>Ophiopogon ohwii</i> Okuyama	ナガバジャノヒゲ	
312	<i>Ophiopogon planiscapus</i> Nakai	オオバジャノヒゲ	
313	<i>Paris tetrphylla</i> A. Gray	ツクバネソウ	
314	<i>Polygonatum falcatum</i> A. Gray	ナルコユリ	
315	<i>Polygonatum lasianthum</i> Maxim.	ミヤマナルコユリ	
316	<i>Polygonatum odoratum</i> (Mill.) Druce var. <i>pluriflorum</i> (Miq.) Ohwi	アマドコロ	
317	<i>Smilacina japonica</i> A. Gray	ユキザサ	
318	<i>Smilax china</i> L.	サルトリイバラ	
319	<i>Smilax nipponica</i> Miq.	タチシオデ	
320	<i>Tricyrtis affinis</i> (Thunb.) Hook.	ヤマジノホトギス	
321	<i>Trillium smallii</i> Maxim.	エンレイソウ	
<b>Dioscoreaceae</b>			
<b>ヤマノイモ科</b>			
322	<i>Dioscorea japonica</i> Thunb.	ヤマノイモ	
323	<i>Dioscorea septemloba</i> Thunb.	キクバドコロ	
324	<i>Dioscorea tokoro</i> Makino	オニドコロ	
<b>Pontederiaceae</b>			
<b>ミズアオイ科</b>			
325	<i>Monochoria vaginalis</i> (Burm. fil.) Presl var. <i>plantaginea</i> (Roxb.) Solms-Laub.	コナギ	
<b>Iridaceae</b>			
<b>アヤメ科</b>			
326	<i>Iris japonica</i> Thunb.	シヤガ	
<b>Juncaceae</b>			
<b>イグサ科</b>			
327	<i>Juncus diastrophanthus</i> Buchen.	ヒロハノコウガイゼキショウ	
<b>Commelinaceae</b>			
<b>ツユクサ科</b>			
328	<i>Commelina communis</i> L.	ツユクサ	
329	<i>Murdannia keisak</i> Hassk.	イボクサ	
<b>Poaceae</b>			
<b>イネ科</b>			
330	<i>Arthraxon hispidus</i> (Thunb.) Makino	コブナグサ	
331	<i>Arundinella hirta</i> (Thunb.) C. Tanaka	トダシバ	
332	<i>Bromus catharticus</i> Vahl	イヌムギ	外来
333	<i>Calamagrostis arundinacea</i> (L.) Roth var. <i>brachytricha</i> (Steud.) Hack.	ノガリヤス	
334	<i>Calamagrostis hakonensis</i> Franch. et Sav.	ヒメノガリヤス	
335	<i>Digitaria violascens</i> Link	アキメヒシバ	
336	<i>Eccoilopus cotulifer</i> (Thunb.) A. Camus	アブラススキ	
337	<i>Eriochloa villosa</i> (Thunb.) Kunth	ナルコビエ	
338	<i>Isachne globosa</i> (Thunb.) O. Kuntze	チゴザサ	
339	<i>Leersia sayanuka</i> Ohwi	サヤヌカグサ	
340	<i>Lophatherum gracile</i> Brongn.	ササクサ	茨城・希少種
341	<i>Microstegium japonicum</i> (Miq.) Koidz.	ササガヤ	
342	<i>Microstegium vimineum</i> (Trin.) A. Camus var. <i>polystachyum</i> (Franch. et Sav.) Ohwi	アシボソ	
343	<i>Miscanthus sinensis</i> Anders.	ススキ	
344	<i>Oplismenus japonicus</i> Honda	コチヂミザサ	
345	<i>Oplismenus undulatifolius</i> (Ard.) Roem. et Schult.	ケチヂミザサ	
346	<i>Panicum bisulcatum</i> Thunb.	スカキビ	
347	<i>Panicum dichotomiflorum</i> Michx.	オオクサキビ	外来
348	<i>Phragmites australis</i> (Cav.) Trin. ex Steud.	ヨシ	
349	<i>Pleiblastus chino</i> (Franch. et Sav.) Makino	アズマネザサ	
350	<i>Poa pratensis</i> L.	ナガハグサ	外来
351	<i>Poa trivialis</i> L.	オオスズメノカタビラ	外来
352	<i>Pseudosasa japonica</i> (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino	ヤダケ	
353	<i>Sacciolepis indica</i> (L.) Chase var. <i>oryztorum</i> (Makino) Ohwi	スミグサ	
354	<i>Sasa veitchii</i> (Carr.) Rehd.	クマザサ	
355	<i>Sasamorpha borealis</i> (Hack.) Nakai	スズダケ	
356	<i>Setaria faberi</i> Herm.	アキノエノコログサ	
357	<i>Setaria glauca</i> (L.) Beauv.	キンエノコロ	
358	<i>Setaria viridis</i> (L.) Beauv. var. <i>pachystachys</i> (Franch. et Sav.) Makino et Nemoto	ハマエノコロ	
359	<i>Shibataea kumasasa</i> (Zoll.) Nakai	オカメザサ	
<b>Palmae</b>			
<b>ヤシ科</b>			
360	<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H. Wendl.	シュロ	逸出
<b>Araceae</b>			
<b>サトイモ科</b>			
361	<i>Arisaema limbatum</i> Nakai et F. Maekawa	ミミガタテンナンショウ	
<b>Typhaceae</b>			
<b>ガマ科</b>			
362	<i>Typha orientalis</i> Presl	コガマ	
<b>Cyperaceae</b>			
<b>カヤツリグサ科</b>			

桜川市の維管束植物

	学名	和名	備考
363	<i>Carex alterniflora</i> Franch.	シロイトスゲ	
364	<i>Carex aphanolepis</i> Franch. et Sav.	エナシヒゴクサ	
365	<i>Carex conica</i> Boott	ヒメカンスゲ	
366	<i>Carex fernaldiana</i> Lévl. et Van.	イトスゲ	
367	<i>Carex gibba</i> Wahlenb.	マスクサ	
368	<i>Carex incisa</i> Boott	カワラスゲ	
369	<i>Carex lanceolata</i> Boott	ヒカゲスゲ	
370	<i>Carex lasiolepis</i> Franch.	アズマスゲ	
371	<i>Carex lenta</i> D. Don	ナキリスゲ	
372	<i>Carex leucochlora</i> Bunge	アオスゲ	
373	<i>Carex macroglossa</i> Franch. et Sav.	コジュズスゲ	
374	<i>Carex multifolia</i> Ohwi	ミヤマカンスゲ	
375	<i>Carex rhizopoda</i> Maxim.	シラコスゲ	
376	<i>Carex rugata</i> Ohwi	クサスゲ	
377	<i>Carex siderosticta</i> Hance	タガネソウ	
378	<i>Cyperus flavidus</i> Retz.	アゼガヤツリ	
379	<i>Cyperus sanguinolentus</i> Vahl	カワラスガナ	
380	<i>Scirpus concolor</i> Maxim.	アブラガヤ	
381	<i>Scirpus hotaruī</i> Ohwi	ホタルイ	
382	<i>Scirpus juncooides</i> Roxb.	イヌホタルイ	
383	<i>Scirpus mitsukurianus</i> Makino	マツカサスキ	
	<b>Orehidaceae</b>	<b>ラン科</b>	
384	<i>Cephalanthera falcata</i> (Thunb.) Blume	キンラン	環境省:絶滅危惧Ⅱ類
385	<i>Cephalanthera longibracteata</i> Blume	ササバギンラン	
386	<i>Cymbidium goeringii</i> (Reichb. fil.) Reichb. fil.	シュンラン	
387	<i>Galeola septentrionalis</i> Reichb. fil.	ツチアケビ	
388	<i>Goodyera schlechtendaliana</i> Reichb. fil.	ミヤマウズラ	
389	<i>Platanthera minor</i> (Miq.) Reichb. fil.	オオバトンボソウ	
390	<i>Spiranthes sinensis</i> (Pers.) Ames var. <i>amoena</i> (M. Bieberson) Hara	ネジバナ	

凡例

学名および和名の配列

- ・科の配列順序は、「植物目録」(環境庁自然保護局編, 1987)に従った。
- ・属および種の配列は、学名のアルファベット順とした。
- ・和名と学名は、主としてシダ植物を「日本の野生植物 シダ」(平凡社)に、種子植物を「日本の野生植物 草本編Ⅰ、Ⅱ、Ⅲおよび木本編Ⅰ、Ⅱ」(平凡社)、外来種を「原色日本帰化植物図鑑」(保育社)に従った。一部の種類についてはその他の文献から適切と思われる学名を使用した。

特記した植物

- ・茨城:茨城県版レッドデータブック該当種(1997)
- ・環境省:環境省版レッドデータブック該当種(2007)
- ・植栽:植栽されたと思われる種
- ・逸出:逸出したと思われる種
- ・外来:外来種



## 筑波山の維管束植物 第 I 期総合調査地域 補完調査

### はじめに

茨城県自然博物館第 1 次総合調査報告書 (1998) の付表 2. には筑波山維管束植物目録 (P146~159) が掲載されている。この目録は茨城大学教育学部生物学教室 (1976) や茨城県植物誌 (鈴木ほか, 1981) を基本として、1995, 1996 年の調査で確認された種類をまとめたものである。

今回は 2007~2008 年の追加調査で生育地が明らかになった植物および文献上の記録種で再確認できた植物を報告する。



図 1. 麓より臨む筑波山

### 結果

今回の調査により、新たにシダ植物 14 種、種子植物 43 種、計 57 種を確認した。また、文献上の記録種についてはシダ植物 6 種、種子植物 54 種、合計 60 種を再確認した。

#### 1. 本調査域で生育地が明らかになった種類

カタヒバ (イワヒバ科)

*Selaginella involvens* (Sw.) Spring

2008.6.9. つくば市筑波

キジノオシダ (キジノオシダ科)

*Plagiogyria japonica* Nakai

2008.11.2 石岡市小幡

アオホラゴケ (コケシノブ科)

*Crepidomanes latealatum* (v. d. B.) Copel.

2008.11.2 石岡市小幡

コバノイシカグマ (コバノイシカグマ科)

*Demstaedtia scabra* (Wall. ex Hook.) Moore

2008.4.14 つくば市白井, 2008.11.23 石岡市小幡

コモチシダ (シシガシラ科)

*Woodwardia orientalis* Sw.

2008.6.15 つくば市平沢, 2008.11.2 石岡市小幡

ナンゴクナライシダ (オシダ科)

*Arachniodes miqueliana* (Maxim.) Ohwi

2008.5.24 桜川市真壁町羽鳥, 2009.7.19 石岡市小幡

キヨシミヒメワラビ (オシダ科)

*Ctenitis maximowicziana* (Miq.) Ching

2008.8.23 つくば市筑波

アイノコクマワラビ (オシダ科)

*Dryopteris x mituii* Seriz.

2008.6.9 つくば市筑波

ミヤマクマワラビ (オシダ科)

*Dryopteris polylepis* (Franch. et Sav.) C. Chr.

2008.5.7 桜川市真壁町羽鳥

イワヘゴ (オシダ科)

*Dryopteris atrata* (Wall. ex Kunze) Ching

2008.11.23 石岡市小幡

テリハヤブソテツ (オシダ科)

*Cyrtomium laetevirens* (Hiyama) Nakaike

2008.4.14 つくば市白井, 2008.4.27 桜川市真壁町椎尾

2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥, 2008.10.19 石岡市小幡

ヘラシダ (メシダ科) (ヘラシダ) (図 2)

*Diplazium subsinuatum* (Wall. ex Hook. et Grev.) Tagawa

2008.10.19, 2008.11.2 石岡市小幡



図 2. ヘラシダ

タカオシケチシダ (メシダ科)

*Comopteris decurrenti-alata* (Hook.) Nakai var. *pilosella*

H. Ito

2008.11.23 石岡市小幡

ハクモウイノデ (メシダ科)

*Deparia pycnosoia* (Christ) M.kato var. *albosquamata*

M.Kato

2008.8.2 桜川市真壁町羽鳥

オオバヤシャブシ (カバノキ科)

*Alnus sieboldiana* Matsum.

2008.6.15 つくば市国松

- アオカラムシ (イラクサ科) 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥  
*Boehmeria nipononivea* Koidz. var. *concolor* (Makino)  
 Ohwi  
 2008.9.23 つくば市筑波
- コケミズ (イラクサ科) 2008.7.21 つくば市筑波  
*Pilea peplodes* (Gaud.) Hook. et Arm.  
 2008.7.21 つくば市筑波
- ギンミズヒキ (タデ科) 2008.9.23 つくば市筑波  
*Polygonum filiforme* (Thunb.) Roberty & Vautier f. *albiflorum* H.Hara  
 2008.9.23 つくば市筑波
- ヤマキツネノボタン (キンポウゲ科) 2007.10.10 つくば市筑波  
*Ranunculus quelpaertensis* Nakai  
 2007.10.10 つくば市筑波
- ツヅラフジ (ツヅラフジ科) 2008.10.19 石岡市小幡  
*Sinomenium acutum* (Thunb.) Rehd. et Wils.  
 2008.10.19 石岡市小幡
- カキネガラシ (アブラナ科) 外来 2008.5.17 つくば市国松  
*Sisymbrium officinale* (L.) Scop.  
 2008.5.17 つくば市国松
- ハルザキヤマガラシ (アブラナ科) 外来 2008.5.17 つくば市国松  
*Barbarea vulgaris* R. Br.  
 2008.5.17 つくば市国松
- タチゲヒメヘビイチゴ (バラ科) 2008.6.9 石岡市小幡  
*Potentilla centigrana* Maxim. f. *patens* Hiyama  
 2008.6.9 石岡市小幡
- アズマイバラ (バラ科) 2008.6.15 つくば市平沢, 2008.9.27 石岡市小幡  
*Rosa luciae* Franch. et Rochebr  
 2008.6.15 つくば市平沢, 2008.9.27 石岡市小幡
- オクシモアズキナシ (バラ科) 2008.7.22 つくば市筑波  
*Sorbus alnifolia* (Siebold et Zucc.) C. Koch var. *submollis*  
 Rehder  
 2008.7.22 つくば市筑波
- オニイタヤ (カエデ科) 2008.6.9 つくば市筑波, 2008.10.9 つくば市筑波  
*Acer mono* Maxim. var. *ambiguum* (Pax) Rehd.  
 2008.6.9 つくば市筑波, 2008.10.9 つくば市筑波
- オニツルウメモドキ (ニシキギ科) 2008.7.22 つくば市筑波  
*Celastrus orbiculatus* Thunb. var. *papillosus* (Nakai ex Hara) Ohwi  
 2008.7.22 つくば市筑波
- オオツルウメモドキ (ニシキギ科) 2008.6.9 石岡市小幡  
*Celastrus stephanotifolius* (Makino) Makino  
 2008.6.9 石岡市小幡
- ユモトマユミ (ニシキギ科) 2008.7.5 桜川市真壁町椎尾  
*Euonymus sieboldianus* Blume var. *sanguineus* Nakai
- 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥  
 ナワシログミ (グミ科) 2008.4.27 桜川市真壁町椎尾  
*Elaeagnus pungens* Thunb.  
 2008.4.27 桜川市真壁町椎尾
- アギスミレ (スミレ科) 2008.10.9 石岡市小幡  
*Viola verecunda* A. Gray var. *semilunaris* Maxim.  
 2008.10.9 石岡市小幡
- イズセンリョウ (ヤブコウジ科) 2008.10.19 石岡市小幡  
*Maesa japonica* (Thunb.) Moritzi  
 2008.10.19 石岡市小幡
- マメガキ (カキノキ科) 逸出 2008.9.27 石岡市小幡  
*Diospyros lotus* L.  
 2008.9.27 石岡市小幡
- シロバナカメバヒキオコシ (シソ科) 2008.9.23 つくば市筑波  
*Rabdosia umbrosa* Hara var. *leucantha* Hara f. *leucantha*  
 2008.9.23 つくば市筑波
- ミヤマナミキ (シソ科) 2008.8.2 桜川市真壁町羽鳥, 2008.9.27 つくば市筑波  
*Scutellaria shikokiana* Makino  
 2008.8.2 桜川市真壁町羽鳥, 2008.9.27 つくば市筑波
- シソバタツナミ (シソ科) 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥  
*Scutellaria laeteviolacea* Koidz.  
 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥
- ジュウニヒトエ (シソ科) 2008.4.27 桜川市真壁町椎尾  
*Ajuga nipponensis* Makino  
 2008.4.27 桜川市真壁町椎尾
- マルバノホロシ (ナス科) 2008.10.19 石岡市小幡  
*Solanum maximowiczii* Koidz.  
 2008.10.19 石岡市小幡
- エダウチスズメノトウガラシ (ゴマノハグサ科) 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9 石岡市小幡  
*Lindernia antipoda* (L.) Alston var. *grandiflora* (Hook.fil.)  
 Tuyama  
 2008.10.19 石岡市小幡
- ヤマサギゴケ (ゴマノハグサ科) 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9 石岡市小幡  
*Mazus miquelii* Makino f. *rotundifolius* (Franch. et Sav.)  
 T.Yamaz.  
 2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9 石岡市小幡
- ケヤマウツボ (ハマウツボ科) 2007.6.6 つくば市筑波  
*Lathraea japonica* Miq. var. *miqueliana* (Franch. et Sav.)  
 Ohwi  
 2007.6.6 つくば市筑波
- ナガバハエドクソウ (ハエドクソウ科) 2008.7.5 桜川市真壁町椎尾  
*Phyrma leptostachya* L. var. *asiatica* Hara f. *oblongifolia*  
 (Koidz.) Ohwi  
 2008.7.5 桜川市真壁町椎尾
- オオミヤマガマズミ (スイカズラ科)

*Viburnum wrightii* Miq. var. *stipellatum* Nakai

2008.6.5 桜川市真壁町酒寄, 2008.10.19 つくば市筑波  
キツネアザミ (キク科)

*Hemistepa lyrata* Bunge

2008.6.15 つくば市国松  
ホソバナアマナ (ユリ科) (図3)

*Lloydia triflora* (Ledeb.) Baker

2008.5.5 桜川市酒寄



図3. ホソバナアマナ

ヒロハイヌノヒゲ (ホシクサ科)

*Eriocaulon robustius* (Maxim.) Makino

2008.10.29 石岡市小幡

ホシクサ (ホシクサ科)

*Eriocaulon sieboldianum* Siebold et Zucc. ex Steud.

2008.10.19 石岡市小幡

ツルスズメノカタビラ (イネ科)

*Poa annua* L. var. *reptans* Hausskn.

2008.7.22 つくば市筑波

コイチゴツナギ (イネ科)

*Poa compressa* L.

2008.6.9 石岡市小幡

ナガハグサ (イネ科)

*Poa pratensis* L.

2008.6.9 石岡市小幡

オオスズメノカタビラ (イネ科)

*Poa trivialis* L.

2008.6.5 桜川市真壁町羽鳥

アイノコシラスゲ (カヤツリグサ科)

*Carex pseudo-aphanolepis* Ohwi

2008.6.15 つくば市国松, 2009.4.26 つくば市筑波

アワボスゲ (カヤツリグサ科)

*Carex brownii* Tuckerm.

2008.5.17 つくば市沼田, 2008.6.15 つくば市国松

イトアオスゲ (カヤツリグサ科)

*Carex breviculmis* R.Br. f. *aphanandra* Kiukenth.

2008.4.27 桜川市真壁町椎尾

エナシヒゴクサ (カヤツリグサ科)

*Carex aphanolepis* Fr. et Sav.

2008.5.24 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9 石岡市小幡

メアオスゲ (カヤツリグサ科)

*Carex breviculmis* R.Br. f. *aphanandra* Kiukenth.

2008.4.27 桜川市真壁町椎尾, 2008.5.17 つくば市国松

イヌホタルイ (カヤツリグサ科)

*Scirpus juncooides* Roxb.

2008.10.19 石岡市小幡

## 2. 文献上の記録があり前回調査では未確認であったが、今回の調査で確認した種類。

(付表2の種No., 和名(科名), 確認年月日, 確認場所)

No.9 フユノハナワラビ (ハナヤスリ科) 2008.10.9. 石岡市小幡

No.15 ハイホラゴケ (コケシノブ科) 2008.10.29. 石岡市小幡

No.16 ウチワゴケ (コケシノブ科) 2008.4.27. 桜川市真壁町椎尾, 2008.6.9. 石岡市小幡

No.39 ホソバカナワラビ (オシダ科) 2008.8.9. つくば市筑波

No.41 ハカタシダ (オシダ科) 2008.8.9. つくば市筑波

No.88 イッポンワラビ (メシダ科) 2008.5.24. つくば市筑波

No.110 サワラ (ヒノキ科) 植栽 2008.7.5. つくば市筑波

No.153 ヒメイタビ (クワ科) 植栽 2009.6.27. つくば市筑波

No.187 ヒメスイバ (タデ科) 2008.7.5. つくば市筑波

No.190 エゾノギシギシ (タデ科) 2008.7.5. つくば市筑波

No.193 ノミノツヅリ (ナデシコ科) 2008.7.5. つくば市筑波

No.219 カゴノキ (クスノキ科) 2008.7.21. つくば市筑波

No.221 マルバクス (クスノキ科) 2006.5.22. つくば市筑波

No.248 ケキツネノボタン (キンポウゲ科) 2008.5.17. つくば市国松

No.252 ミヤマカラマツ (キンポウゲ科) 2008.8.23. つくば市筑波

No.259 ムベ (アケビ科) 2008.9.23. つくば市筑波

No.268 ヤマシヤクヤク (ボタン科) 2008.5.17. つくば市筑波

- No.282 セリバヤマブキソウ (ケシ科) 2007.5.19. つくば市筑波  
 No.339 オオズミ (バラ科) 2008.5.7. 桜川市真壁町羽鳥  
 No.346 カマツカ (バラ科) 2008.6.5. 桜川市真壁町羽鳥  
 No.357 モリイバラ (バラ科) 2008.5.24. 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9. 石岡市小幡  
 No.535 クマノミズキ (ミズキ科) 2008.6.15. つくば市国松, 2008.5.7. 桜川市羽鳥  
 No.551 シラネセンキュウ (セリ科) 2008.11.2. 石岡市小幡  
 No.554 ツボクサ (セリ科) 2008.6.20. つくば市筑波  
 No.572 ギンリョウソウモドキ (イチヤクソウ科) 2008.10.29. 石岡市小幡  
 No.612 イケマ (ガガイモ科) 2008.10.9. 石岡市小幡  
 No.636 ホタルカズラ (ムラサキ科) 2008.7.5. 桜川市真壁町椎尾  
 No.667 トウゴクシソバタツナミ (シソ科) 2008.5.14. 桜川市真壁町羽鳥, 2008.6.9. 石岡市小幡  
 No.670 ヤマトツナミソウ 2008.6.9. 石岡市小幡  
 No.683 アゼナ (ゴマノハグサ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.684 ムラサキサギゴケ (ゴマノハグサ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.739 ツルギキョウ (キキョウ科) 2008.10.19. 石岡市小幡 (図4)



図4. ツルギキョウ

- No.780 タカサブロウ (キク科) 2008.10.19. 石岡市小幡  
 No.781 ダンドボロギク (キク科) 2008.9.23. つくば市筑波  
 No.790 チチコグサ (キク科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.791 チチコグサモドキ (キク科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.827 ノボロギク (キク科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.845 オモダカ (オモダカ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.847 ノビル (ユリ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.849 ヤマラッキョウ (ユリ科) 2008.11.2. 石岡市小幡

- No.857 シロバナコバギボウシ (ユリ科) 2009.8.9. 石岡市小幡  
 No.892 コナギ (ミズアオイ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.913 スズメノテッポウ (イネ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.931 メヒシバ (イネ科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.947 ハイチゴザサ (イネ科) 2008.10.19. 石岡市小幡  
 No.950 ササクサ (イネ科) 2008.10.19. 石岡市小幡  
 No.976 ツクバナンブスズ (イネ科) 2007.10.10. つくば市上大島  
 No.977 アズマザサ (イネ科) 2007.10.10. つくば市上大島  
 No.979 アキノエノコログサ (イネ科) 2008.7.22. つくば市筑波  
 No.1002 マツバスゲ 2008.6.9. 石岡市小幡  
 No.1005 アオスゲ (カヤツリグサ科) 2008.5.17. つくば市国松  
 No.1012 イトスゲ (カヤツリグサ科) 2008.4.27. 桜川市真壁町椎尾, 2008.5.7. 桜川市真壁町羽鳥  
 No.1015 ヒナスゲ (カヤツリグサ科) 2008.5.5. つくば市筑波  
 No.1061 エビネ (ラン科) 2008.8.23. つくば市筑波  
 No.1080 ムヨウラン (ラン科) 2008.7.21. つくば市筑波  
 No.1083 コ克蘭 (ラン科) 2008.10.19. 石岡市小幡  
 No.1085 アオフタバラン (ラン科) 2008.4.27. 桜川市真壁町椎尾  
 No.1087 ウチョウラン (ラン科) 2008.7.5. つくば市筑波  
 No.1088 ジンバイソウ (ラン科) 2008.7.5. つくば市筑波

### 3. 参考文献

- 岩槻邦男 (編). 1992. 日本の野生植物シダ. 311 pp., 平凡社  
 角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 178 pp., 文一総合出版  
 勝山輝男. 2005. ネイチャーガイド 日本のスゲ. 375., 文一総合出版  
 北村四郎・村田 源. 1961. 原色日本植物図鑑草本編 [II] 離弁花類. 390 pp., 保育社  
 北村四郎・村田 源・小山鐵夫. 1964. 原色日本植物図鑑草本編 [III] 単子葉類. 464 pp., 保育社  
 北村四郎・村田 源・堀 勝. 1957. 原色日本植物図鑑草本編 [I] 合弁花類. 297 pp., 保育社  
 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠夫 (編). 1981. 日本の野生植物草本編III. 259 pp., 平凡社  
 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亙理俊次・富成忠

- 夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編II. 318 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1982. 日本の野生植物草本編I. 305 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編I. 321 pp., 平凡社
- 佐竹義輔・原 寛・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 (編). 1989. 日本の野生植物木本編II. 305 pp., 平凡社
- 清水建美編. 2003. 日本の帰化植物図鑑. 337 pp., 平凡社
- 鈴木昌友・清水 修・安見珠子・安 昌美・藤田弘道・中崎保洋・和田尚幸・野口達也. 1981. 茨城県植物誌. 339 pp., 茨城県植物誌刊行会.
- 田川基二. 1959. 原色日本羊歯植物図鑑. 270 pp., 保育社
- 長田武正. 1989. 日本イネ科植物図譜. 759 pp., 平凡社
- 長田武正. 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 425 pp., 保育社
- 谷城勝弘. 2007. カヤツリグサ科入門図鑑. 247 pp., 全国農村教育協会.
- 吉川純幹. 1957・1958・1960. 日本スゲ属植物図譜 第壹巻 第貳巻 第参巻 421 pp., 北陸の植物の会.

#### 調査研究および執筆

- 安 昌美 (元茨城県立水戸南高等学校, 元茨城県高等学校教育研究会生物部長)
- 内山治男 (大成女子高等学校)
- 安嶋 隆 (茨城県立日立第二高等学校)



## 調査研究および執筆

茨城維管束植物調査会

代表	鈴木 昌友	茨城大学名誉教授
	安嶋 隆	茨城県立日立第二高等学校教諭
	岩浪 順子	小美玉市立堅倉小学校教諭
	内山 治男	大成女子高等学校教頭
	太田 俊彦	筑西市立関城西小学校教諭
	滑川 敏行	元北茨城市立精華小学校長
	成島 明	ミュージアムパーク茨城県自然博物館学芸嘱託員
		元茨城県立土浦第三高等学校教諭
	丸山 友一	元茨城町立駒場小学校長
	茂垣はるえ	茨城県立那珂高等学校教諭
	安 昌美	元茨城県立水戸南高等学校長
		元茨城県高等学校教育研究会生物部長

## 協力

筑波山神社（つくば市）

関東森林管理局 茨城森林管理署（水戸市）

Report of Comprehensive Surveys of Plants, Animals and Geology  
in Ibaraki Prefecture by the Ibaraki Nature Museum  
Tracheophyta from the West District and Mt. Tsukuba, Ibaraki Prefecture (2006-2008)

Edited by Ibaraki Nature Museum

March 2011

茨城県自然博物館総合調査報告書  
茨城県西部および筑波山の維管束植物(2006-2008)  
平成23年3月31日発行

編集 ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
国府田誠一

発行 ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
館長 菅谷 博

〒306-0622 茨城県坂東市大崎700

TEL0297-38-2000

印刷 株式会社 イセブ

©2011 Ibaraki Nature Museum

(本誌掲載事項および写真の無断転載を禁じます。)

